

# <sup>デジタルカメラ</sup> COOLPIX B700 活用ガイド







- 製品をお使いになる前に本書をよくお読みください。
- 「安全上のご注意」(viページ)も必ずお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

Jp

# 肻 見たいページを探す

閲覧中のページで右下の 🚺 をタッチまたはクリックすると、いつでもこのページ に戻れます。

# 目次項目から探す

はじめに	iii
目次	x
各部の名称	1
撮影の準備	
撮影と再生の基本操作	20
スマートフォンとの接続(SnapBridge)	
いろいろな撮影	
いろいろな再生	84
動画	
テレビ、プリンター、パソコンとの接続	
メニューを使う	
資料	

### 目的から探す







スマートフォン との接続











# はじめにお読みください

このたびは、COOLPIX B700をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

# 本書の記載について

- ページ右下の るをタッチまたはクリックすると「見たいページを探す」(口ii) を表示します。
- 本文中のマークについて

マーク	意味
V	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただき たいことを記載しています。
Ø	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
ш	関連情報が記載されているページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記することがあります。
- スマートフォンおよびタブレットを「スマートフォン」と表記することがあります。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- カメラの画面に表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、 メッセージなどは、[]で囲って表記しています。
- 本書では、画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

### カスタマー登録のお願い

下記のウェブサイトから登録をお願いします。

https://reg.nikon-image.com/



はじめにお読みください



## ご確認ください

#### ●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

#### ●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影(結婚式や海外旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正 常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損 害(撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等)についての補償はご 容赦願います。

#### ●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー(電池、バッテリーチャージャー、ACアダプ ター、USBケーブル)に適合するように作られていますので、当社製品との組み 合わせでお使いください。

- 専用Li-ionリチャージャブルバッテリーには、ニコン純正品を 示すホログラムシールが貼られています。
- ・ 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになる と、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱 や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。



他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能
 性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

#### ●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、PDFファイルを下記の ウェブサイトからダウンロードできます。 http://downloadcenter.nikonimglib.com
   ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。
- 印刷した「活用ガイド」をご注文いただけます(有料)。詳細はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。



はじめにお読みください

#### ●著作権について

カメラで著作物を撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著 作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、個人として楽しむなどの目的 であっても、実演や興行、展示物などは、撮影や録音が制限されている場合があ りますのでご注意ください。

#### ●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全 には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを 使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メ モリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

譲渡/廃棄前に、必ず、セットアップメニュー(□116)の[設定クリアー]でカ メラの各種設定を初期化してください。初期化後、市販のデータ削除専用ソフト ウェアなどを使ってメモリー内のデータを完全に削除するか、セットアップメ ニュー(□116)の[メモリーの初期化]または[カードの初期化]でメモリー を初期化後、メモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをお すすめします。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況 やけがなどに十分ご注意ください。

#### ●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用 されると、受信障害を引き起こすことがあります。 説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B



🕤 はじめに

はじめにお読みください

# 安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前に 「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。 この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。

<u> </u> 危険	「死亡または重傷を負うおそれが大きい内 容」です。
▲ 警告	「死亡または重傷を負うおそれがある内 容」です。
1 注意	「軽傷を負うことや財産の損害が発生する おそれがある内容」です。
お守りいただく内容	ー 容を、以下の図記号で区分しています。



は、実行しなければならない内容です。



$\bigcirc$	禁止	<b>歩きながらや運転しながらの操作はしない</b> 事故やけがの原因になります。
	分解 禁止	<b>分解、修理または改造をしない</b> 落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない 感電やけがの原因になります。
0	実行	<b>熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちに電池や電 源を取り外す</b> 放置すると、発火、やけどの原因になります。
$\bigcirc$	禁止	水でぬらさない ぬれた手で触らない ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電や発火の原因になります。



安全上のご注意



○ 禁止	<b>電源を入れたまま長時間直接触らない</b> 低温やけどの原因になります。
◎ 禁止	<b>引火、爆発のおそれのある場所では使わない</b> プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉 塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。
○ 禁止	<b>フラッシュを運転者にむけて発光しない</b> 事故の誘発につながります。
◇ 禁止	<b>幼児の手の届くところに置かない</b> 故障やけがの原因になります。 小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。
│ 禁止	<b>ストラップ類を首に巻きつけない</b> 事故の原因になります。
○ 禁止	指定外の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルは使わない 指定の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルを使う際は、 以下の点に注意する ・ コードやケーブルを傷つけたり、加工したりしない。 重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、無理に曲げ たりしない ・ 海外旅行者用電子式変電圧器(トラベルコンバーター)や DC/ ACインバーターなどの電源に接続して使わない 発火、感電の原因になります。
│ 禁止	<b>充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグ に触らない</b> 感電の原因になります。
<b>⑧</b> 接触 禁止	<b>高温環境や低温環境では、直接触らない</b> やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。
○ 禁止	レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない 集光して、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。 逆光撮影では、太陽を画角から十分にずらしてください。



安全上のご注意

vii



注意



使用が禁止されている場所では、電源をOFFにする 無線通信が禁止されている場所では、無線通信機能が作動しな いようにする

医療機関や航空機内では、本機器が出す電磁波が、周囲の機器に 悪影響を与えるおそれがあります。



**長時間使わないときは、電池やACアダプターを取り外す** 故障や発火の原因になります。

- 接触 レンズなどの可動部には触らない
  - 禁止 けがの原因になります。



接触 フラッシュを人体やものに密着させて発光させない 禁止やけどや発火の原因になります。



禁止 夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない 故障や発火の原因になります。



#### 電池は誤った使い方をしない

注意事項を無視してお使いになると、液もれ、発熱、破裂、発火の 原因になります。

- ・充電池は、専用の充電池以外を使わない
- **禁止**・電池を火の中に入れたり、加熱したりしない ・電池を分解しない
  - 電池をネックレスやヘアピンなどの金属類に接触させて ショート(短絡)しない
  - 電池、または電池を入れたカメラに強い衝撃を与えたり、投げたりしない



放置すると、目に傷害を与える原因になります。



安全上のご注意

viii





$\bigcirc$	禁止	電池を乳幼児の手の届く所に置かない 飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。
$\bigcirc$	禁止	<b>水につけたり、雨にぬらしたりしない</b> 発火や故障の原因になります。 ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってくだ さい。
$\bigcirc$	禁止	変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない 所定の時間を超えても充電が完了しなければ、充電を中止する 放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
0	実行	<b>電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニー ルテーブなどで接点部を絶縁する</b> 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。 ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただく か、自治体の規則に従って廃棄してください。
	実行	電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水 で洗い流す 放置すると、皮膚のかぶれなどの原因になります。



安全上のご注意



# 目次

<b>見たいページを探す ii</b> 目次項目から探す ii 目的から探す ii Ii
はじめに
各部の名称       1         カメラ本体       2         操作部別機能一覧       4         画像モニター / 電子ビューファインダーの表示内容       7         表示する情報を切り換える(DISPボタン)       7         撮影画面の表示内容       8         再生画面の表示内容       11
撮影の準備       13         ストラップとレンズキャップの取り付け方       14         電池とメモリーカードを入れる       15         電池やメモリーカードを取り出すには       15         電池を充電する       16         画像モニターを開く       17         電源を ON にして、カメラをセットアップする       18
撮影と再生の基本操作       20         画像を撮影する       21         フラッシュを使う       23         動画を撮影する       23         画像を目とする       23         画像を再生する       25         画像を削除する       26         削除画像選択画面の操作方法       27
スマートフォンとの接続(SnapBridge)



•

カメラとスマートフォンを接続する	30
接続を一時停止/再開するには	33
画像送信とリモート撮影について	34
画像送信について	34
リモート撮影について	35
iOSでWi-Fi接続に関するダイアログが表示されたら	35
画像がうまく送信できないときは	36
いろいろな撮影	37
撮影モードを選ぶ	
▲ (オート撮影) モード	39
シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)	40
シーンモードのヒントとで注音	41
美田機能について	48
かんたんパノラマの撮影方法	49
かんたんパノラマの再生方法	51
クリエイティブモード(効果を付けて撮影する)	52
P. S. A. Mモード (露出を設定して撮影する)	54
露出設定のヒント	
シャッタースピードの制御範囲(P、S、A、Mモード時)	
U(ユーザーセッティング)モード	58
Uモードに設定を登録する(User Setting 登録)	59
マルチセレクターで設定する撮影機能	60
フラッシュモード	61
セルフタイマー	64
笑顔自動シャッター (笑顔を自動撮影する)	65
フォーカスモード	66
マニュアルフォーカスの使い方	68
露出補正(明るさを調節する)	70
Fn1(ファンクション 1)/Fn2(ファンクション 2)ボタンを使う	71
ズームを使う	72
ピント合わせについて	74
シャッターボタンの半押しと全押し	74
ターゲットファインドAFについて	74
顔認識撮影について	75
オートフォーカスが苦手な被写体	76
フォーカスロック撮影	77
フラッシュ、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定一覧	78
撮影時に組み合わせて使えない機能	80



目次

いろいろな再生	84
拡大表示	85
サムネイル表示 / カレンダー表示	86
連写した画像(連写グループ)の再生と削除	87
連写グループの再生方法	87
連写グループの画像を削除する	88
画像の編集(静止画)	88
画像編集の前に	88
簡単レタッチ (コントラストと鮮やかさを高める)	89
D- ライティング(画像の暗い部分を明るく補正する)	89
美肌 (肌をなめらかにする)	
フィルター効果(デジタルフィルター)	
スモールピクチャー (画像サイズを小さくする)	
トリミング (画像の一部を切り抜く)	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

動面	
➡ ■ ■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	
動画撮影中に静止画を記録する	
タイムラプス動画を撮影する	
スーパーラプス動画を撮影する	101
動画再生中の操作	102
動画の編集	103
動画の必要な部分だけを切り出す	103
動画の1フレームを静止画として保存する	104

テレビ、プリンター、パソコンとの接続	105
画像の活用方法	106
テレビで鑑賞する	107
パソコンを使わずにプリントする	108
カメラとプリンターを接続する	108
1コマずつプリントする	109
複数の画像をプリントする	110
パソコンに画像を取り込む(ViewNX-i)	112
ViewNX-iをインストールする	112
パソコンに画像を取り込む	112

メニューを使っ	115
メニューの操作方法	116
画像選択画面の操作方法	118
メニュー項目一覧	119
撮影メニュー	119



動画メニュー	120
再生メニュー	120
通信メニュー	121
セットアップメニュー	122
撮影メニュー (撮影モード共通)	123
画質	123
画像サイズ	125
撮影メニュー (P、S、A、M モード)	126
Picture Control (COOLPIXピクチャーコントロール)	126
CSM Picture Control (COOLPIXカスタムピクチャーコントロール)	130
ホワイトバランス (色合いの調整)	131
測光方式	134
連写	135
ISO感度設定	139
AEブラケティング	140
AFエリア選択	141
	144
調光補下	144
ノイズ低減フィルター	145
アクティブ D- ライティング	145
多重露出	146
ジェニュージェー	148
記動ポジション設定	149
Mモード露出反映表示	149
動画メニュー	150
助面設定	150
AFモード	153
雷子手ブレ補正	154
電子 5 5 6 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	154
ユ(の) ジロ (20%)	155
フレート設定	155
<u>再生メー</u> コー	156
ウエン・ニュー	156
スライドシュー	157
プロテクト設定	158
クログクイ 改定	158
画像回報	150
连 テ ク ル ク 2 3 1 0 1 2 4 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	150
	160
文字 λ カ 南 南 の 操作 方法	161
ステハリ回回ジホドリム	167
ビノーフ フノアーユ	162
	102





カードなし時レリーズ	164
モニター設定	165
EVFの自動切り換え(電子ビューファインダーの自動切り換え)	166
日付写し込み	166
手ブレ補正	167
AF補助光	168
電子ズーム	168
サイドズームレバー設定	169
操作音	169
オートパワーオフ	170
カードの初期化 (フォーマット)	170
言語 /Language	170
パソコン接続充電	171
画像コメント	172
著作権情報	173
位置情報	174
Av/Tv 操作切り換え	174
連番リセット	175
ピーキング	176
設定クリアー	176
バージョン情報	176

無線通信機能についてのご注意12	78 30
The factor of the second states and the seco	80
取り扱い上のご注意	
カメラについて	80
電池について	81
本体充電ACアダプターについて18	82
メモリーカードについて18	83
お手入れ方法	84
クリーニングについて	84
保管について	84
警告メッセージ	85
故障かな?と思ったら18	88
記録データのファイル名19	96
使用できるアクセサリー	97
主な仕様19	98
使用できるメモリーカード	02
索引	04
修理サービスのご案内	08
ニコンプラザについて	09



**⑤** 目次

# 各部の名称

カメラ本体	2
操作部別機能一覧	4
画像モニター / 電子ビューファインダーの表示内容	7







1	ストラップ取り付け部14
2	電源スイッチ/電源ランプ (充電ランプ)16、18、23
3	Fn1 (ファンクション1) ボタン
4	撮影モードダイヤル21、38
5	マイク (ステレオ)95、155
6	フラッシュ23、61
7	
8	Micro-USB端子16、106
9	HDMIマイクロ端子(Type D) 106
10	端子カバー16、106

11	Nマーク(NFCアンテナ部)	30
12	パワーコネクターカバー( ACアダプター用)	別売 197
13	シャッターボタン22、	74
14	ズームレバー ₩:広角ズーム T:望遠ズーム 2:サムネイル表示 Q:拡大	72 72 72 86 85
15	セルフタイマーランプ 赤目軽減ランプ AF補助光	64 63 168
16	レンズ	



2



カメラ本体



1	渓(クイックバックズーム)ボ	11	画像モニター7、17
_	サイドズームレバー <b>72</b>	12	Fn2 (ファンクション2) ボタン 71
2	₩:広角ズーム72 〒:望遠ズーム72	13	▶ (再生) ボタン25
3	スピーカー <b>102、169</b>	14	MENU (メニュー) ボタン 116 119
4	視度調節ダイヤル24	15	<b>前</b> (削除)ボタン
5	電子ビューファインダー24	16	🐼 (決定) ボタン116
6	アイセンサー24		ロータリーマルチセレクター
7	<b>ロ</b> (モニター)ボタン24	17	(マルチセレクター)*
8	DISP(表示切り換え)ボタン 7	18	
9	●( <b>*果</b> 動画撮影)ボタン 23、95	19	電池/メモリーカードカバー 15
10	コマンドダイヤル54		

※ 本書では「マルチセレクター」と表記することがあります。



カメラ本体

3



# 操作部別機能一覧

操作部	主な機能		
していたいです。 ほんです。 ほんです。 ほんです。 この していたいです。 していたいです。 ほんです。 していたいででのです。 していたいでです。 していたいです。 していたいです。 していたいです。 していたいでする。 していたいです。 していたいです。 していたいでする。 していたいです。 していたいででいたいです。 していたいでででいたいでででいたいででででいたいででででいでででいたいででででででいでいでででででいでででいでいでででいたいでででででで	撮影時	撮影モードを選ぶ(口38)	
	撮影時	<ul> <li>▼(Q)(望遠)側で被写体を大きく、W</li> <li>(■)(広角)側で広い範囲を写す</li> </ul>	
<sub>q</sub> † w <sub>∞</sub> 	再生時	<ul> <li>▼(Q)側で拡大表示、W(国)側で サムネイル/カレンダー表示する</li> <li>動画再生の音量を調節する</li> </ul>	
<ul> <li>(クイックバック)</li> <li>ズームボタン</li> </ul>	撮影時	一時的に画角(見える範囲)を広げる	
<b>Т</b> <b>W</b> サイドズームレバー	撮影時	[サイドズームレバー設定] で割り当てた 機能を使う ・ ズームレバー(初期設定):▼(望遠) 側で被写体を大きく、W(広角)側で 広い範囲を写す ・ MFレバーフォーカスモードがMF(マ ニュアルフォーカス)時にピントを合 わせる	
	撮影時	半押し:ピントと露出を合わせる 全押し:シャッターをきる	
シャッターボタン	再生時	撮影に戻る	



操作部別機能一覧

操作部	主な機能		
	撮影時	動画撮影を開始/終了する	
● ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	再生時	撮影に戻る	
S CK	撮影時	<ul> <li>撮影画面の表示中:</li> <li>以下の設定画面を表示する</li> <li>上(▲): \$(フラッシュモード)</li> <li>左(◀): ②(セルフタイマー/笑顔 自動シャッター)</li> <li>下(▼): ¥(フォーカスモード)</li> <li>右(▶): 翌(露出補正)</li> <li>撮影モード A、M時: 回転して絞り値を設定する</li> </ul>	
マルチセレクター	再生時	<ul> <li>・ 再生画面の表示中:上(▲)、左(◀)、 下(▼)、右(►)、または回転で表示 画像を切り換える</li> <li>・ 拡大表示中:表示位置を移動する</li> </ul>	
	設定時	▲▼◀ ▶または回転で項目を選ぶ、 ®ボ タンで選択を決定する	
	再生時	<ul> <li>連写グループの画像を1コマずつ表示する(口26)</li> <li>かんたんパノラマで撮影した画像をスクロール再生する</li> <li>動画を再生する</li> <li>サムネイル表示/拡大表示から1コマ表示に戻る</li> </ul>	
● (決定) ボタノ	設定時	マルチセレクターで選んだ項目を、決定 する	
マンドダイヤル	撮影時	<ul> <li>撮影モード P時(①54): プログラム シフトを設定する</li> <li>撮影モード S、M時(①54): シャッ タースピードを設定する</li> </ul>	
	再生時	拡大した画像の倍率を切り換える	



操作部別機能一覧

操作部	主な機能		
(MENU) MENU (メニュー) ボタン	撮影時/再生時	メニューを表示/終了する(囗116)	
Fn1 (ファンクション1) ボタン Fn2 Fn2 Fn2 Fn2	撮影時	撮影モード <b>P、S、A、M、U</b> 時: [ <b>連写</b> ] や [ <b>手ブレ補正</b> ] などの設定メ ニューを表示/終了する	
FII2 (ファフラフョフ2) ボタン			
<ul><li>(ロ)</li><li>(モニター) ボタン</li></ul>	撮影時/再生時	画像モニターと電子ビューファインダー を切り換える(〇〇24)	
DISP DISP(表示切り換え)ボ タン	撮影時/再生時	画面に表示する情報を切り換える	
	撮影時	画像を再生する(囗25)	
<ul><li>(再生) ボタン</li></ul>	再生時	<ul> <li>電源 OFF 時に長押しして、再生モード で電源を ON にする(口25)</li> <li>撮影に戻る</li> </ul>	
	撮影時	最後に保存した画像を1 コマ削除する (口26)	
<b>山</b> <b>首</b> (削除)ボタン	再生時	画像を削除する(二)26)	





# 画像モニター /電子ビューファインダーの表示 内容

撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。

# 表示する情報を切り換える(DISPボタン)

DISP (表示切り換え) ボタンを押すたびに、 撮影時や再生時の画面に表示する情報を 切り換えられます。



撮影時



動画枠表示

動画の写る範囲を枠線 で表示します。

情報OFF

再生時



7



画像モニター /電子ビューファインダーの表示内容

レベル、撮影情報を表 示します(□12)。



## 撮影画面の表示内容



1	撮影モード	38
2	フラッシュモード	61
3	フォーカスモード	66
4	ズーム表示67、	72
5	AF表示	22
6	ズームメモリー1	48
7	動画設定(通常速度の動画) 1	50
8	動画設定(HS動画)1	51
9	画質1	23
10	画像サイズ1	25
11	かんたんパノラマ	49
12	ノイズ低減フィルター1	45
13	風切り音低減1	54
14	手ブレ補正表示1 電子手ブレ補正表示1	67 54

15	露出インジケーター56
16	調光補正144
17	露出補正值70
18	記録可能時間(動画)95、96
19	レディーライト61
20	記録可能コマ数(静止画)
21	カードなし時レリーズ許可表示 (メモリーカード未挿入時) 164、190
22	絞り値54
23	シャッタースピード54
24	ISO感度表示139
25	本体充電ACアダプター接続中 表示
26	電池残量表示

#### 8

ら 各部の名称

画像モニター/電子ビューファインダーの表示内容





27	訪問先162
28	日時未設定 162、189
29	日付写し込み166
30	Bluetooth通信表示161
31	Wi-Fi通信表示160
32	位置情報174
33	機内モード160
34	ホワイトバランス131
35	COOLPIX ピクチャーコント ロール126
36	アクティブD-ライティング 145
37	連写モード45、135
38	逆光(HDR)44

20	連写NR撮影/通常撮影
22	
40	タイムラプス動画 <b>99</b>
41	AEブラケティング140
42	手持ち撮影/三脚撮影41
43	再生倍速101
44	比較明合成47
45	効果グループ(クリエイティブ モード) 52
40	<u>  期</u> 囲   康   邦   中   の   伊   伊   伊   伊   伊   伊   伊   伊   伊
47	多重露出146
48	セルフタイマー





画像モニター/電子ビューファインダーの表示内容









- AFエリア (ターゲットファイン 49 |×AF)......74、142 AFエリア(中央/マニュアル) 50
- AFエリア(顔認識、ペット検出) 51
- AFエリア (ターゲット追尾) 52

53 スポット測光範囲......134 54 中央部重点測光範囲......134 55 ヒストグラム表示......165 フレーミング枠(シーンモード 56 の [月]、[鳥] またはクイック バックズーム時)......46、73





画像モニター /電子ビューファインダーの表示内容



## 再生画面の表示内容



1	プロテクト表示158
2	連写グループ表示([1枚ずつ] 設定時)159
3	美肌編集済み表示90
4	フィルター効果済み表示91
5	D-ライティング済み表示89
6	簡単レタッチ済み表示89
7	送信予約済み表示156
8	画像の番号/全画像数
9	動画の再生時間
10	音量表示102
11	カードなし時レリーズ許可表示 (メモリーカード未挿入時)
12	画質123
13	画像サイズ125

14	動画設定150
15	かんたんパノラマ表示51
16	スモールピクチャー <b>92</b>
17	トリミング93
	かんたんパノラマ再生ガイド
18	連写グループ再生ガイド87 動画再生ガイド95
19	撮影時刻
20	撮影日
21	本体充電ACアダプター接続中 表示
22	電池残量表示 21
23	ファイル名 <b>196</b>
24	位置情報記録済み表示174



6 各部の名称

画像モニター/電子ビューファインダーの表示内容

#### トーンレベルインフォメーション表示

ハイライト部の白とびや暗部の黒つぶれの状態を、ヒストグラム表示やトーン(明 暗)レベルごとの点滅表示などで確認できます。露出補正などで画像の明るさを 調節する際の目安になります。



1	画像の番号/全画像数	8	撮影時刻18、162
2	ヒストグラム <sup>※1</sup>	9	撮影日18、162
3	トーンレベル*2	10	ファイル名196
4	ISO感度139	11	露出補正值70
5	COOLPIX ピクチャーコント	12	撮影モード38
-	LI—//J126	13	シャッタースピード54
6	画質/画像サイズ123、125	14	絞り値54
7	ホワイトバランス131		

- ※1 ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。横軸は輝度を示し、左へ 行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
- ※2 トーンレベルは、明暗のレベルを表します。マルチセレクターの◀▶または回転で 確認するトーンレベルを選ぶと、選んだトーンレベルに対応する画像の部分が点滅 します。



画像モニター/電子ビューファインダーの表示内容

# 撮影の準備

ストラップとレンズキャップの取り付け方	14
電池とメモリーカードを入れる	15
電池を充電する	16
画像モニターを開く	17
電源を ON にして、カメラをセットアップする	18





# ストラップとレンズキャップの取り付け方

レンズキャップをストラップに取り付けてから、ストラップをカメラに取り付け ます。





2 カ所に取り付けます。

▶ レンズキャップについて

撮影しないときは、レンズキャップをレンズに取り付け、レンズを保護してください。



ストラップとレンズキャップの取り付け方



# 電池とメモリーカードを入れる



- 電池は、+と-を正しい向きにし、オレンジ色の電池ロックレバーをずらしながら(③)、奥まで差し込みます(④)。
- メモリーカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込みます(⑤)。
- 電池やメモリーカードの向きを間違えると、故障の原因になりますので、ご注意ください。

#### ▶ メモリーカードの初期化について

他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラ で初期化してください。

- メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。
   初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- メモリーカードをカメラに入れ、MENUボタンを押し、セットアップメニュー(□116)の[カードの初期化]を選びます。

### 電池やメモリーカードを取り出すには

電源をOFFにして、電源ランプと画面の消灯を確認してから、電池/メモリーカードカバーを開けます。

- 電池ロックレバーをずらすと、電池が押し出されます。
- メモリーカードを指で軽く押し込むと、メモリーカードが押し出されます。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、メモリーカードが熱くなっていること がありますので、ご注意ください。



電池とメモリーカードを入れる





電池を充雷する



- 電池を入れたカメラを、図のように家庭用コンセントに接続すると充電が始まります。充電中は電源ランプ(充電ランプ)がゆっくり点滅します。
- 充電が終わると、電源ランプが消灯します。コンセントから本体充電AC アダプ ターを外し、USBケーブルを外してください。
   充電時間は、残量がない電池の場合、約3時間です。
- 電源ランプが速い点滅を繰り返す場合は、充電できません。以下の原因が考えられます。
  - 充電可能な温度ではない。
  - USBケーブルまたは本体充電ACアダプターが正しく接続されていない。
  - 電池に異常がある。

#### ✔ USBケーブルについてのご注意

- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。

#### ▶ 充電についてのご注意

- 充電中もカメラを操作できますが、充電時間は長くなります。操作中は電源ランプ(充 電ランプ)は消灯します。
  - 充電中は動画を撮影できません。
- EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器 は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。



電池を充電する



画像モニターは、向きや角度を調節できます。通常は⑤の状態でお使いください。

• カメラを使わないときや持ち運ぶときは①の状態にしてください。

#### ▶ 画像モニターについてのご注意

画像モニターを動かすときは、接続部が破損しないよう、無理な力を加えず、可動範囲 内でゆっくりと動かしてください。





# 電源をONにして、カメラをセットアップする

#### 1 電源スイッチを押して、カメラの電源をONにする

• 設定項目の変更や決定には、マルチセレクターを使います。



- 言語選択の画面が表示されます。マルチセレク ターの▲▼で言語を選び、®ボタンを押して決 定します。
- ・ 言語はセットアップメニュー (□116) → [言語
   /Language] で変更できます。



- 右の画面が表示されたら、以下に従って MENUボタンまたは®ボタンを押す
  - スマートフォンと無線接続しない場合: MENUボタンを押して、手順3に進みます。
  - スマートフォンと無線接続する場合:

     ・ ボタンを押します。セットアップ手順は、「スマートフォンとの接続(SnapBridge)」(□28)
     をご覧ください。



3 [地域と日時を設定しますか?]と表示されたら、▲▼で[はい]を 選び、®ボタンを押す



電源をONにして、カメラをセットアップする

18

### 4 自宅のある地域(現在地)を選び、∞ ボ タンを押す

▲を押すと夏時間を設定できます。設定オンで時計が1時間早くなり、地図上部に%が表示されます。
 取り消すには▼を押します。



5 日付の表示順を▲▼で選び、∞ボタンを押す

## 6 日付と時刻を設定して、 ®ボタンを押す

- ◀▶で項目を選び、▲▼で日時を合わせます。
- [分]を選んで
   ・
   ・
   「タンを押し、
   設定を確認します。



## 7 確認画面が表示されたら [はい]を選び、 ®ボタンを押す

- セットアップが完了すると、撮影画面に切り換わります。
- 地域と日時は、セットアップメニュー(□116) → [地域と日時] で変更できます。



電源をONにして、カメラをセットアップする



# 撮影と再生の基本操作

画像を撮影する	
画像を再生する	25
画像を削除する	



# 画像を撮影する

●(オート撮影)モードを例に説明します。●(オート撮影)モードでは、さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。

1 撮影モードダイヤルを回して、 ●に合わせる



記録可能コマ数

- 電池残量表示
   (□):電池残量はあります。
   (□):電池残量が少なくなりました。
   DISP(表示切り換え)ボタンを押すたびに、画
- DISP (表示切り換え) ホタンを押すたひに、 面に表示される情報が切り換わります。



2 カメラを構える

レンズやフラッシュ、AF 補助光、マイク、スピーカーなどに、指などがかからないようにご注意ください。





画像を撮影する





## 3 構図を決める

- ズーム位置を変えるには、ズームレバーまたはサイドズームレバーを動かします。
- 望遠側で撮影中に被写体を見失ったときは、貸(クイックバックズーム)ボタン を押すと、見える範囲が一時的に広がり、被写体を捉えやすくなります。



4 シャッターボタンを半押しする

- 半押しとは、シャッターボタンを押し て、軽く抵抗を感じるところで止めたま まにすることをいいます。
- ピントが合うと、AFエリアまたはAF表 示が緑色に点灯します。
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。
- AFエリアまたはAF表示が点滅したとき はピントが合っていません。構図を変え て半押しをやり直してください。





AF エリア

### 5 シャッターボタンを半押ししたまま、全押 しして撮影する





画像を撮影する
### ▶ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または 動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取 り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメ モリーカードが壊れることがあります。

### 🖉 オートパワーオフについて

- カメラを操作しない状態が約1分続くと、画面が消灯して待機状態になり、電源ランプ が点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 待機中に画面を再点灯するには、電源スイッチやシャッターボタンなどを押します。

### 

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
   暗い場所でフラッシュが③(発光禁止)のとき
   ズーム位置が望遠側のとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐためセットアップメニュー(□116)の「手ブレ補正」を「しない」にしてください。

## フラッシュを使う

暗いところや逆光などでフラッシュが必要なとき は、\$ (フラッシュポップアップ)ボタンを押し、フ ラッシュをポップアップさせます。

 フラッシュを使わないときは、フラッシュを手で 軽く押し下げて、閉じてください。



## 動画を撮影する

撮影画面を表示し、●(\*▼動画撮影)ボタンを押す と撮影を開始します。終了するにはもう一度●(\*▼) ボタンを押します。





画像を撮影する



## 画像モニターと電子ビューファインダーを切り換える

日差しの強い屋外など、明るい場所で画像モニター が見えにくいときは、電子ビューファインダーの使 用をおすすめします。

- 電子ビューファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応し、電子ビューファインダーが点灯して、画像モニターが消灯します(初期設定)。
- 〇〇(モニター)ボタンを押しても、画像モニターまたは電子ビューファインダーに表示が切り換わります。

## ファインダーの視度調節

ファインダー内の像が見えにくいときは、ファイン ダーをのぞきながら、視度調節ダイヤルを回して調 節します。

爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。



電子ビューファインダー

視度調節ダイヤル

## ▶ ■像の色などの確認や調節をするときのご注意

電子ビューファインダーよりも色再現性の高い背面の画像モニターをお使いください。





## 画像を再生する

- (再生)ボタンを押して、再 生モードにする
  - 電源 OFF の状態で デボタンを長押し すると、再生モードで電源がONにな ります。



- 2 マルチセレクターで前後の画像を表示する 前の画像を表示
  - ▲▼< ▶を長押しすると、画像が速く切り換わります。</li>
  - マルチセレクターを回しても画像を選べます。
  - DISP (表示切り換え) ボタンを押すたびに、画面に表示される情報が切り換わります。

  - 撮影に戻るには、▶ ボタンまたはシャッターボ タンを押します。
  - 1コマ表示でズームレバーをT(Q)側 に動かすと、拡大表示されます。

 1コマ表示でズームレバーをW(■) 側に動かすと、画像を一覧できる「サ ムネイル表示」になります。

次の画像を表示







6 撮影と再生の基本操作

画像を再生する

## 画像を削除する

# 削除したい画像を表示して (削) 除)ボタンを押す



マルチセレクターの▲▼ で削除方法を選び、®ボタンを押す

• 削除をやめるには、MENUボタンを押します。



- 3 [はい]を選び、 ®ボタンを押す
  - 削除した画像は、元に戻せません。



### ✔ RAWとJPEGを同時記録した画像の削除についてのご注意

[画質](□119)の設定を [RAW+FINE] または [RAW+NORMAL] で撮影した画像 を、このカメラで削除すると、同時記録したRAWとJPEG画像が両方とも削除されます。 片方のみを削除することはできません。



- 連写した画像は「連写グループ」として保存され、再 生すると1コマ目(代表画像)のみを表示します(初 期設定)。
- 代表画像の表示中に 面 ボタンを押すと、その連写グ ループの画像すべてが削除されます。
- 連写グルーブ内の画像を個別に削除するときは、
   のボ タンを押して1コマずつに展開表示してから 面ボタン を押します。



### 

撮影モードで面ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。



画像を削除する

26



## 削除画像選択画面の操作方法

- マルチセレクターの◀▶または回転で、削除したい画像を選ぶ
  - ズームレバー (□2) をT (Q) 側に動かすと1コ マ表示に、W(■) 側に動かすと一覧表示に切 り換わります。

## 2 ▲▼でON/OFFを設定する

ONにすると、選択画像の下にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。





- 3 ®ボタンを押して画像選択を決定する
  - 確認画面が表示されます。表示内容に従って操作してください。



# スマートフォンとの接続 (SnapBridge)

SnapBridge アプリをインストールする	29
カメラとスマートフォンを接続する	30
画像送信とリモート撮影について	34

Aマートフォンとの接続(SnapBridge)

## SnapBridgeアプリをインストールする

SnapBridgeアプリをインストールして、SnapBridge対応カメラとス マートフォンを無線接続すると、カメラで撮影した画像をスマート フォンに取り込んだり、スマートフォンを使ってカメラのシャッター をきったりすることができます(1134)。



- SnapBridgeアプリバージョン2.0を使って説明しています。SnapBridgeアプ リは最新のバージョンをお使いください。カメラのファームウェアや SnapBridgeアプリのバージョン、またはスマートフォンのOSにより操作方法 などが異なる場合があります。
- スマートフォンの使い方については、スマートフォンの説明書をご覧ください。

#### 1 SnapBridgeアプリをスマートフォンにインストールする

• iOSはApple App Store®から、Android™はGoogle Play™からダウンロードしま す。「snapbridge」で検索し、インストールしてください。





- 対応OSのバージョンについては、各ダウンロードサイトでご確認ください。
- このカメラでは「SnapBridge 360/170アプリ」は使えません。
- 2 スマートフォンのBluetoothとWi-Fiの設定を有効にする
  - カメラとの接続はSnapBridgeアプリを使って行います。スマートフォンの Bluetooth設定画面からは接続できません。



### 

- ① ニコンからのお知らせや SnapBridge アプリのヘルプを 見たり、アプリの設定ができます。
- (2) キにスマートフォンとカメラの接続設定を行います。
- ③ カメラから取り込んだ画像を見たり、画像の削除や共有 を行ったりできます。





「スマートフォンとの接続 (SnapBridge)

SnapBridgeアプリをインストールする



## カメラとスマートフォンを接続する

- 途中で電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。
- 残量のあるメモリーカードをカメラに入れてください。
- <u>カメラ</u>: [通信メニュー] (□116) → [ス マートフォンと接続] を選び、®ボタン を押す
  - 初回電源ON時は、手順2の画面が表示されます。
     その場合、この手順は不要です。
- 2 <u>カメラ</u>:右の画面が表示されたら ® ボタ ンを押す
  - NFC機能を使用するかどうかを確認する画面が表示 されます。NFC機能を使用する場合は、カメラの N(Nマーク)にスマートフォンのNFCアンテナ 部をタッチしてください。スマートフォンに[ペ アリングを開始しますか?]と表示されたら、 [OK]をタッブして手順7にお進みください。NFC 機能を使用しない場合は®ボタンを押してくだ さい。
- 3 <u>カメラ</u>:右の画面が表示されていることを 確認する
  - スマートフォンを用意して次の手順に進んでく ださい。









30

S スマートフォンとの接続(SnapBridge)

カメラとスマートフォンを接続する

#### 4 スマートフォン:SnapBridgeアプリを起動し、 [カメラとペアリング] をタップする

- カメラを選択する画面が表示された場合は、接続するカ メラを選んでタップしてください。
- SnapBridge アプリを初めて起動したときに、カメラと 接続せずに画面右上の [Skip] をタップした場合は、□ タブの [カメラとペアリング] をタップして手順5にお 進みください。



#### 5 スマートフォン: [カメラとペアリング] 画面で カメラ名をタップする

 iOS の場合、接続するときに手順説明の画面が表示され たら、内容を確認して「確認しました」をタップします (表示されていない場合は、画面を下にスクロールしてく ださい)。アクセサリーを選択する画面が表示されたら、



再度カメラ名をタップします(カメラ名の表示に時間がかかることがあります)。

6 カメラ/<u>スマートフォン</u>: カメラとスマートフォ ンに同じ番号(6桁)が 表示されていることを 確認する

iOSの場合、OSのバージョ



- ンによっては、スマートフォンに番号が表示されないことがあります。その場合 は手順7へお進みください。
- 7 カメラ/スマートフォン:カメラの® ボタンとSnapBridgeアプリの [ペ ア設定する]を押す





S スマートフォンとの接続 (SnapBridge)

カメラとスマートフォンを接続する

## 8 <u>カメラ/スマートフォン</u>:接続設定を完了する

カメラ:右の画面が表示されたら、®ボタンを押し てください。 スマートフォン:ペアリング完了の画面が表示され たら、[OK]をタップしてください。



- 9 <u>カメラ</u>:画面の指示に従ってセットアップを完了する
  - [位置情報をスマートフォンから取得しますか?] で [はい] を選ぶと、撮影画 像に位置情報を記録できます。スマートフォン本体の位置情報機能を有効にし、 SnapBridgeアプリの □ タブ → [自動連携設定] → [位置情報を同期] を有効に してください。
  - ・[日時をスマートフォンと同期させますか?]で[はい]を選ぶと、カメラの内蔵
    時計の設定をスマートフォンの日時と同期させることができます。SnapBridgeア
     プリの
     ● ダブ
     ・「自動連携設定]
     ・
     [時刻情報を同期]を有効にしてください。

カメラとスマートフォンの接続が完了しました。 カメラで撮影した静止画がスマートフォンに自動送信されます。

SnapBridgeアプリについてもっと知りたいときは SnapBridgeアプリの詳しい使い方は、オンラインヘルプをご覧ください(接続後は、 SnapBridgeアプリのメニュー→[ヘルプ]で参照できます)。 http://nikonimglib.com/snbr/onlinehelp/ja/index.html



🕤 スマートフォンとの接続(SnapBridge)

カメラとスマートフォンを接続する

### 🖉 接続がうまくいかないときは

- 接続時、カメラの画面に [接続できませんでした。] と表示されたときは
  - もう一度接続を行う場合は、◎ボタンを押して「カメラとスマートフォンを接続する」の手順2(□30)からやり直してください。
  - 接続をキャンセルする場合は、MENUボタンを押してください。
- アプリを再起動することで、問題が解決する場合があります。SnapBridgeアプリを完全に終了し、再度アプリのアイコンをタップして起動してください。アプリが起動したら「カメラとスマートフォンを接続する」の手順1(□30)からやり直してください。
- iOSで接続できずにエラーが発生すると、iOS上にカメラがデバイス登録されていることがあります。その場合は、iOSの設定アプリを起動してデバイス(カメラ名)の登録を解除してください。



## 接続を一時停止/再開するには

以下のいずれかの方法で、接続を一時的に停止/再開できます。

- カメラの [通信メニュー] → [機内モード]の設定を切り換える。
   無線通信が禁止されている場所では、[する]に設定するとすべての通信機能を
   OFFにできます。
- カメラの [通信メニュー] → [Bluetooth] → [通信機能] の設定を切り換える。
- SnapBridgeアプリの
   「タブ → [自動連携設定] → [自動連携]
   の設定を切り
   換える。

   OFFにまるトーファートフィンの
   がまた切らること
   がまた切らること

OFFにすると、スマートフォンのバッテリー消費を抑えることができます。



ら スマートフォンとの接続(SnapBridge)

## 画像送信とリモート撮影について

## 画像送信について

画像送信には次の3つの方法があります。

RAW画像は送信できません。

撮影するたびに画像を	カメラの [通信メニュー] → [撮影時画像送信] → [静止画]
スマートフォンへ自動	を [する] に設定します。
送信する <sup>※1、2</sup>	動画は自動送信できません。
スマートフォンに取り	カメラの [ <b>再生メニュー</b> ] → [送信画像の指定] で画像を選
込みたい画像をカメラで	びます。
指定して送信する <sup>※1、2</sup>	動画は送信指定できません。
スマートフォンでカメ ラ内の画像を選んで取 り込む	SnapBridgeアプリの ● タブ → [画像取り込み] をタップします。 Wi-Fi接続に関するダイアログが表示されます。[OK] をタップし <sup>*3</sup> 、画像を選択します。

※1 画像は2Mサイズで送信されます。

- ※2 カメラの [通信メニュー] → [Bluetooth] → [電源オフ中の通信] を [する] に すると、カメラの電源がOFFのときでもスマートフォンに画像が自動送信されます。
- ※3 iOSのバージョンによっては、[OK] をタップしたときにカメラのSSIDを選ぶ必要 があります。「iOSでWi-Fi接続に関するダイアログが表示されたら」(口35)をご 覧ください。



- スマートフォンがスリープ状態になったり、SnapBridgeアプリから別のアプリに移動 したりすると、Wi-Fi接続が切断されます。
- Wi-Fi接続中は、SnapBridgeアプリの一部の機能が使用できません。Wi-Fi接続を解除するには▲タブ → マ → [はい]をタップしてください。



S スマートフォンとの接続(SnapBridge)

## リモート撮影について

SnapBridgeアプリの □ タブ → [リモート撮影] をタップすると、スマートフォ ンを使ってカメラのシャッターをきることができます。

- SnapBridgeアブリの指示に従ってWi-Fi接続に切り換えてください。iOSでは、 Wi-Fi接続に関するダイアログが表示される場合があります。その場合は、「iOS でWi-Fi接続に関するダイアログが表示されたら」(口35)をご覧ください。
- カメラにメモリーカードが入っていないときは、リモート撮影はできません。

## iOSでWi-Fi接続に関するダイアログが表示されたら

SnapBridgeアプリはカメラとスマートフォンを通常Bluetoothで接続していますが、[画像取り込み]やリモート撮影をするときはWi-Fi接続に切り換えてください。iOSのバージョンによっては、手動での切り換えが必要です。その場合は次の手順で設定を行ってください。

- スマートフォンの画面に表示されているカメラのSSID(初期値はカメラ名)とパスワードをメ モしてから、[設定画面を開く]をタップする
  - SSIDとパスワードは、カメラの [通信メニュー] → [Wi-Fi] → [接続設定] で変更できます。プライバシー保護 のため、パスワードは定期的に変更することをおすすめ します。変更するときは、無線接続を一時停止してくだ さい(□33)。

	<i><b>カメラ</b></i>	EWi-P	词接続	キャンセル
	( ) ·	<u> </u>		
	< Setting	200 W-0	-	
	10-0		0	
	Caraca,034	6678	4 * ③	
		-		
			۰0	
			۰۵	
	_		• (3)	
1.JPhoneの「設定」から「Wi-Fi」 斎香を聞い てください。 2. 「 」 を送択し、パスワード に「2000000000、を入力します。 3.接続が完了したら、SnapBridgeアプリに買 ります。				
REMMENC				

## 2 接続先リストから、手順1でメモしたSSIDを選ぶ

- はじめて接続するときは、手順1でメモしたパスワードを、大文字と小文字に注意して入力してください。2回目以降の接続時は、パスワードの入力は不要です。
- 右の画面のように、カメラのSSIDの横に↓が表示されたらWi-Fi接続は完了です。SnapBridgeアプリに戻り、アプリの操作を行ってください。



• ≈ ()



#### S スマートフォンとの接続(SnapBridge)



## 画像がうまく送信できないときは

- カメラの [撮影時画像送信] または [送信画像の指定] 機能での画像送信中に 接続が切断されたときは、カメラの電源を入れなおすと接続と画像送信が再開 されることがあります。
- 一度接続を解除してから再度接続をすることで送信できることがあります。SnapBridgeアプリの●タブ → m
   → [カメラの解除] → 接続を解除したいカメラ → [はい] \*\*をタップして接続を解除し、「カメラとスマート



フォンを接続する」(2230)に従って、再度接続してください。

※ iOSの場合は、デバイス登録についてのダイアログが表示されます。iOSの設定ア ブリを起動してデバイス(カメラ名)の登録を解除してください。



### ▶ ■像の送信およびリモート撮影についてのご注意

- カメラの操作中は、画像の送信機能およびリモート撮影が使えないことや、画像の送信が停止することがあります。
- カメラが以下の設定の場合は、画像の送信機能およびリモート撮影が使えません。設定を変更するか、再生モードにしてください。
  - シーンモードの [比較明合成]
  - [AEブラケティング] が [±0.3]、[±0.7] または [±1.0]
  - [**多重露出モード**] が [**する**]





# いろいろな撮影

撮影モードを選ぶ	38
✿(オート撮影)モード	39
シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)	40
クリエイティブモード(効果を付けて撮影する)	52
<b>P、S、A、M</b> モード(露出を設定して撮影する)	54
<b>U</b> (ユーザーセッティング)モード	58
マルチセレクターで設定する撮影機能	60
フラッシュモード	61
セルフタイマー	64
笑顔自動シャッター(笑顔を自動撮影する)	65
フォーカスモード	66
露出補正(明るさを調節する)7	70
Fn1(ファンクション 1)/Fn2(ファンクション 2)ボタンを使う	
	71
ズームを使う	72
ピント合わせについて	74
フラッシュ、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定一覧7	78
撮影時に組み合わせて使えない機能 8	80



らいろいろな撮影

## 撮影モードを選ぶ

撮影モードダイヤルを回し、指標に合わせます。



 ・

 ・
 (オート撮影)
 モード

さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。

- SCENE、 (マーン) モード 撮影状況に合わせてシーンモードを選ぶと、その状況に適した設定で撮影ができます。
  - SCENE: MENU ボタンを押して、シーンモードを選びます。[おまかセシーン] にす ると、構図を決めるだけでカメラが撮影状況を判別し、状況に適した撮影ができま す。
  - 🖬 (夜景): 夜景の撮影に使います。
  - 図(夜景ポートレート):
    夕景や夜景を背景にした人物撮影に使います。
  - 🖉 (風景):風景の撮影に使います。
- P、S、A、Mモード
   シャッタースピードや絞り値などを自分で決めて、より本格的な撮影を楽しめます。
- U(ユーザーセッティング)モード

P、S、A、Mモード撮影でよく使う設定を登録できます。登録した設定で撮影 するには、撮影モードダイヤルをUに合わせます。



**ら** いろいろな撮影

撮影モードを選ぶ

## 🗅 (オート撮影)モード

さまざまな撮影状況で標準的な撮影ができます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせ ます(ターゲットファインドAF)。カメラが人物 の顔を検出したときは、人物を優先します。
- 「ピント合わせについて」→□74



## ▲ (オート撮影) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (□61)
- セルフタイマー (□64)
- 笑顔自動シャッター(□65)
- フォーカスモード(□66)
- 露出補正(□70)
- 撮影メニュー (□123)





## シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)

撮影状況に合わせてシーンモードを選ぶと、その状況に適した設定で撮影ができ ます。



SCENE



MENUボタンを押してシーンメニューを表示し、マルチセレクターで以下のシーンモー ドを選びます。

ᅋ おまかせシーン(初期設定)(□42)	<b>劉</b> 逆光(〇144) <sup>※1</sup>
<b>え</b> ポートレート	ロ かんたんパノラマ (口49) <sup>※1</sup>
💐 スポーツ (🎞43) <sup>※1</sup>	<b>☆</b> ペット (□145)
<b>粱</b> パーティー (□143) <sup>※1</sup>	● 月 (囗46) *1 *2 *3
	▶ 鳥 (□146) *1
B 雪 <sup>※1</sup>	SOFT ソフト <sup>※1</sup>
▲ 夕焼け *1 *2 *3	🖋 セレクトカラー (🎞46) <sup>※1</sup>
當 トワイライト <sup>※1 ※2 ※3</sup>	<b>〗</b> 比較明合成(〇〇47) <sup>※3</sup>
🗱 クローズアップ (🛄43)	G タイムラプス動画(C1999)**3
¶ 料理(□144)	🗔 スーパーラプス動画(🛄101)*1
・ 打ち上げ花火( 山44) *3	

※1 ピントは画面中央のエリアで合わせます。エリアの位置は移動できません。

※2 ピントは遠景に合います。

※3 三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セット アップメニューの [**手ブレ補正**] (□□167)を [しない] にしてください。



40

6 いろいろな撮影

シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)

## シーンモードのヒントとご注意

#### ☑ 夜景

- MENU ボタンを押し、[夜景] から 崎 [手持ち撮影] または ♀ [三脚撮影] を選びます。
- ・ 〇 [手持ち撮影](初期設定):
  - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがぶれな いようにしっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電 源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
  - 撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
- ・ • [三脚撮影]:
  - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
  - セットアップメニューの [**手ブレ補正**] (□167)の設定にかかわらず、手ブレ 補正を行いません。

#### ☑ 夜景ポートレート

- MENU ボタンを押し、[夜景ポートレート]から 
   へ [手持ち撮影](初期設定)または

   �
   [三脚撮影]
   を選びます。
- スローシャッターで1コマ撮影します。
   □
   □
   マは、
   (た)
   □
   (た)
   □
   (た)
   □
   (た)
   (た
- [三脚撮影]の場合、セットアップメニューの[手ブレ補正](□167)の設定に かかわらず、手ブレ補正を行いません。
- フラッシュをポップアップさせてから撮影してください。
- ・撮影時に人物を検出すると、美肌機能で顔の肌をなめらかにします(□148)。



#### 🖌 風景

- MENU ボタンを押し、[風景] から [連写 NR 撮影] または [通常撮影] を選びます。
- [連写 NR 撮影]: ノイズを抑えたシャープな風景を撮影できます。
  - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがぶれな いようにしっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電 源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
     撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
- [通常撮影](初期設定):輪郭やコントラストを強調した画像を記録します。
  - シャッターボタンを全押しすると1コマ撮影します。

#### SCENE → \* おまかせシーン

• カメラを被写体に向けると、撮影状況に合わせた設定に自動的に切り換わります。

<u>Z</u> *	ポートレート (1~2人程度のアップ)
21	ポートレート(人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
<b>~</b> *	風景
2**	夜景ポートレート(1~2人程度のアップ)
2*¥	夜景ポートレート(人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
Ť	夜景 ・ ☑ (夜景)(□141)の [手持ち撮影] と同様に、連続で撮影して画像を重ね 合わせ、1 コマ記録します。
	クローズアップ
<b>~</b> 2*	逆光(人物以外の撮影)
<b>*2</b> 1	逆光(人物撮影)
Ξ¥	その他の撮影状況

 撮影状況によっては、意図した設定に切り換わらないことがあります。その場合は、 他の撮影モードに切り換えて撮影してください(□38)。

• 撮影時に人物を検出すると、美肌機能で顔の肌をなめらかにします(148)。



シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)



#### SCENE 🗲 👻 スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、連写します。
- 約5コマ/秒の速度で約5コマ連写できます。
- ・ 画質、画像サイズ、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 2コマ目以降のピント、露出および色合いは、1コマ目と同じ条件に固定されます。

#### SCENE → 深 パーティー

 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影 するときは、セットアップメニューの[手ブレ補正](□167)を[しない]にして ください。

#### SCENE → W クローズアップ

**隊 [クローズアップ**] を選ぶと表示される画面で、[**連写NR撮影**] または [通常撮影] を選びます。

- ・ [連写 NR 撮影]: ノイズを抑えたシャープな撮影ができます。
  - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがぶれな いようにしっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電 源を OFF にしないでください。
  - 連写中に被写体が動いたり、手ブレが大きかったりすると、画像がゆがんだり、 重なったり、ぼやけることがあります。
  - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
  - 撮影条件により、連続撮影されない場合があります。
- [通常撮影]:輪郭やコントラストを強調した画像を記録します。
   シャッターボタンを全押しすると1コマ撮影します。



### らいろいろな撮影

シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)

#### SCENE → ¶ 料理

- フォーカスモード(□166)が ♥ (マクロ AF)になり、 最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的 に移動します。
- 色合いをコマンドダイヤルで調節できます。色合いの 設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア(AF エリア)を移動できます。
   す。
   ・
   ボタンを押し、マルチセレクターの
   ▲▼▲ ▶
   または回転で移動し、
   ・
   ダ、ボタンで決定します。



- シャッタースピードは、4秒に固定されます。
- 露出補正は使えません(□70)。

#### SCENE → 劉 逆光

- ・
   (
   ビ先) を選ぶと表示される画面で、HDR(ハイダイナミックレンジ)合成の
   [す
   る] /
   [しない] を撮影状況に合わせて選びます。
- [しない]:人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。フラッシュをポップアップさせてから撮影してください。
- シャッターボタンを全押しすると、1 コマ撮影します。
- [する]:明暗差の大きい風景撮影に適しています。
  - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、以下の2コマを記録します。
    - HDR 合成していない画像
    - HDR合成した画像(白とびや黒つぶれを抑えた画像)
  - 記録可能コマ数が1コマの場合は、撮影時に D-ライティング(1189)で暗い部分を明るく補正し、1コマ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後は、静止画が表示されるまで、カメラがぶれな いようにしっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電 源を OFF にしないでください。
  - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
  - 撮影状況によっては、明るい被写体の周辺に暗い影が出たり、暗い被写体の周辺 が明るくなったりします。

### ▶ HDRについてのご注意

三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアッ プメニューの「**手ブレ補正**」(口167)を [しない] にしてください。



シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)



44



#### SCENE > Wペット

- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、 犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます(ペット自動シャッ ター)。
- ・ √ [ペット] を選ぶと表示される画面で、 S [単写] または □ [連写] を選びます。
   S [単写]: 犬または猫の顔を検出するたびに、1 コマ撮影します。
  - **□** [連写]: 犬または猫の顔を検出するたびに、3 コマ連写します。

## ✔ ペット自動シャッターについて

- マルチセレクターの◀(心)を押すと、[ペット自動シャッター]の設定を変更できます。
  - [圖]:犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます。
  - [OFF]:犬または猫の顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッター ボタンを押してください。[OFF]のときは、人物の顔も認識します。
- [ペット自動シャッター]は、連写で5回繰り返すと [OFF] になります。
- [ペット自動シャッター]の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影できます。

### AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い枠で囲まれます。二重枠のAFエ リア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色 に変わります。顔を検出していないときは、ピントは 画面中央のエリアで合わせます。
- 撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫 以外に枠が表示されることがあります。





#### **ら** いろいろな撮影

シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)

#### SCENE → ● 月

- 色合いをコマンドダイヤルで調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても 記憶されます。
- 月の満ち欠けなどの撮影状況や撮影意図などに応じて、露出補正(□70)で明るさを調節してください。

#### SCENE → 🔪 鳥

- 】 [鳥]を選ぶと表示される画面で、 ⑤ [単写] または 🕒 [連写] を選びます。
- ⑤ [単写]:1 コマずつ撮影します。
- ・□[連写]:シャッターボタンを全押ししている間、連写します。
   約5コマ/秒の速度で約5コマ連写できます。
- 広角側のズーム位置では、800 mm 相当(35mm 判換算)の撮影画角を示すフレー ミング枠が表示されます。枠内に鳥をおさめて ∞ ボタンを押すと、800mm 相当の 撮影画角になります。

#### SCENE > 🖋 セレクトカラー

ら いろいろな撮影

• 選択した色だけを残し、他の色は白黒にします。

シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)





#### SCENE → 🔊 比較明合成

- 動きのある被写体を一定間隔で自動撮影し、それぞれの画像を比較し明るい部分だけ を合成して1コマの画像として記録します。車のライトの流れや星の動きなど、光の 軌跡を撮影します。
- 図: [比較明合成] を選ぶと表示される画面で、図: [夜景と光跡] または 図: [星軌跡] を選びます。

項目	内容		
🗟 夜景と光跡	夜景を背景に、車のライトの流 れなどを撮影するのに適してい ます。 ・ コマンドダイヤルを回して撮 影間隔を設定できます。設定 した撮影間隔が、シャッター スピードになります。50 コマ 撮影すると自動終了します。 ・ 10 コマ撮影するごとに、撮影 開始時からの軌跡を合成した画像を、自動保存し	1000分析(1102/2006) 201 2.5m 0.8 時後000 ます。	
<b>頾 星軌跡</b>	<ul> <li>星の動きを撮影するのに適しています。</li> <li>30 秒ごとに、シャッタースピード 25 秒で撮影します。300 コマ撮影すると自動終了します。</li> <li>30 コマ撮影するごとに、撮影開始時からの軌跡を合成した画 像を、自動保存します。</li> </ul>		

- 撮影の合間は画面が消灯することがあります。画面の消灯中は、電源ランプが点滅します。
- お好みの軌跡を得られたら撮影を終了して下さい。撮影を続けると、合成部分が白とびすることがあります。
- ・飛行機や花火など、遠くの被写体を撮影するときは、▲(遠景 AF)や M(マニュア ルフォーカス)に設定することをおすすめします(□□67)。
- 露出補正は使えません(□70)。

### ▶ 比較明合成についてのご注意

- 撮影が終了するまで、撮影モードダイヤルを回したり、メモリーカードを交換したりしないでください。
- 途中で電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。



撮影が自動終了するまでの残り時間を、画面で確認でき ます。

22 12 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
e	四撮影終了

## 美肌機能について

☑ (夜景ポートレート)、[おまかセシーン]、[ポートレート]では、人物の顔を カメラが検出すると、画像処理で顔の肌をなめらかにして記録します(最大3人)。 再生時にも、記録した画像に美肌の編集ができます(□□90)。

## ▶ 美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理される ことがあります。



シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)



## かんたんパノラマの撮影方法

撮影モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン → 凵 かんたんパ ノラマ → 凾ボタン

- 】 撮影する範囲をは [標準(180°)]またははは[□01ド(360°)]から選び、®ボタンを押す
- 2 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッ ターボタンを半押ししてピントを合わせる
  - ズーム位置は、広角側に固定されます。
  - 画面中央でピントが合います。
- 3 シャッターボタンを全押しし、シャッター ボタンから指を離す
  - カメラを動かす方向を示す△▽〈D〉マークが表示 されます。
- 4 カメラを4方向のいずれかに、ガイドの終端まで動かす
  - カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
  - 設定の範囲を撮影し終えると撮影が終了します。
  - ピントと露出は、撮影終了まで固定されます。

シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)

ら いろいろな撮影













## カメラの動かし方の例

- 撮影者を軸にして、カメラをマーク(△▽<))と平行に、円弧を描くようにゆっくり動かします。</li>
- ガイドが端まで到達しないまま、撮影開始から約 15
   秒(ド)[標準(180°)]時)、または約30秒(トリー・ [ワイド(360°)]時)が経過すると撮影は終了します。



## ▶ かんたんパノラマ撮影時のご注意

- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいとき、または壁や暗闇など被写体に変化 が少ないときなどはエラーになります。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、 撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。

### 🖉 かんたんパノラマの画像サイズについて

画像サイズ (ピクセル)は、以下の4種類になります。

▶<sup>1</sup>[標準 (180°)] に設定時



#### └些 [ワイド (360°)] に設定時





## かんたんパノラマの再生方法

再生モードにして(凹25)、かんたんパノラマで撮影した画像を1コマ表示し、⑩ボタンを押すと、撮影したときと同じ方向でスクロールします。

マルチセレクターを回すと、早送り/巻き戻しができます。

再生中は、画面に操作パネルが表示されます。 マルチセレクターの◀ ▶で操作パネルのアイコンを 選び、∞ボタンを押すと以下の操作ができます。





機能	アイコン	内容	
巻き戻し	×	●ボタンを押している間、スクロールを巻き戻しします。*	
早送り	*	❷ボタンを押している間、スクロールを早送りします。※	
		一時傳	亭止します。一時停止中に以下の操作ができます。
			●ボタンを押している間、巻き戻しします。*
一时停止			●ボタンを押している間、スクロールします。*
			自動スクロールを再開します。
再生終了		1コマ表示に戻ります。	

※ マルチセレクターを回しても操作できます。

## ▶ かんたんパノラマ画像についてのご注意

- このカメラでは画像編集はできません。
- このカメラ以外のかんたんパノラマで撮影した画像は、スクロール再生や拡大表示が できないことがあります。

### ✔ パノラマ写真をプリントするときのご注意

プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリン ターによっては、プリントできないことがあります。



シーンモード(撮影状況に合わせて撮影する)





## クリエイティブモード(効果を付けて撮影する)

画像に効果を付けて撮影できます。

 [ライト](初期設定)、[デプス]、[メモリー]、[ク ラシック]、[ノワール]の5種類の効果グループか ら選べます。



- 1 ◎ ボタンを押す
  - 効果の選択画面が表示されます。
- 2 マルチセレクターの◀▶で効果を選ぶ
  - コマンドダイヤルを回すと、効果グループを切り 替えられます。
  - 中止するときは、▲を押します。



効果

# 3 効果を調整する場合は、▼を押す ・効果を調整しない場合は、®ボタンを押して手順

効果を調整しない場合は、Wボタンを押して手順
 6へ進んでください。





クリエイティブモード(効果を付けて撮影する)

## 4 調整する項目を◀▶で選び、▼を押す

「適応レベル」、「露出補正」、「コントラスト」、「色味」、「彩度」、「フィルター」、「周辺光量」から選びます。選べる項目は、グループによって異なります。



適応レベ<u>ル</u>

OX SP

5 度合いを◀▶で調整し、∞ボタンを押す

- 6 シャッターボタンまたは●(▼動画撮影)ボタンを押して撮影する
  - カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います(□275)。

### 効果グループと効果の選択について

手順1の画面でMENUボタンを押しても、効果グループと効果を選べます。

### クリエイティブモードで設定できる機能

- フラッシュモード(□61)
- セルフタイマー (□64)
- フォーカスモード (��66)
- 露出補正(①70)
- 撮影メニュー (□123)



クリエイティブモード(効果を付けて撮影する)

53



## P、S、A、Mモード(露出を設定して撮影する)

P、S、A、Mモードでは、撮影意図に応じて露出 (シャッタースピードや絞り値などの組み合わせ)を 自分で設定できます。さらに撮影メニュー([119)の項目を設定して、より本格的な撮影を楽しめます。



撮影モード		内容	
Ρ	ブログラムオート	<ul> <li>シャッタースピードと絞り値の設定をカメラまかせにして 撮影できます。</li> <li>コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードと絞り 値の組み合わせを変更できます(ブログラムシフト)。プ ログラムシフト中は画面左上に X(プログラムシフト マーク)が表示されます。</li> <li>ブログラムシフトを解除するには、Xが消えるまでコマ ンドダイヤルを設定時の逆方向に回すか、撮影モードを 切り換えるか、または電源を OFF にします。</li> </ul>	
S	シャッター 優先 オート	コマンドダイヤルを回してシャッタースピードを設定する と、絞り値をカメラが自動制御します。	
A	絞り優先オート	マルチセレクターを回して絞り値を設定すると、シャッター スピードをカメラが自動制御します。	
м	マニュアル露出	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。 シャッタースピードはコマンドダイヤルを回して設定しま す。絞り値はマルチセレクターを回して設定します。	

露出設定の操作部は、セットアップメニュー(□116)の[Av/Tv操作切り換え]で割り当てを変更できます。





54

6 いろいろな撮影

## 露出設定のヒント

同じ露出でもシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えると、被写体の流 動感や背景のぼかし具合が変わります。

#### シャッタースピードによる効果

動きの速い被写体を速いシャッタースピードで撮影して動きを止めたり、遅い シャッタースピードで動きを強調したりできます。



速くgる 1/1000秒

遅くする 1/30 秒

#### 絞り値による効果

ら いろいろな撮影

被写体を手前から奥まで鮮明に写したり、被写体の背景を意図的にぼかしたりで きます。



小さくする (絞りを開く) f/3.3



### 🖉 シャッタースピードと絞り値について

- シャッタースピードの制御範囲は、ズーム位置や絞り値、ISO感度の設定によって異なります。
- このカメラのレンズは、絞り値がズーム位置によっても変化します。
- 露出を設定した後にズーム操作をすると、露出の組み合わせや絞り値が変化すること があります。
- レンズの絞り値は、数値が小さくなるほど(絞りを開くほど)明るくなり、数値が大きくなるほど(絞りを絞るほど)暗くなります。数値が一番小さい状態を「開放絞り」、 一番大きい状態を「最小絞り」といいます。

55



## ▶ 露出設定についてのご注意

被写体が暗すぎたり明るすぎたりすると、適切な露出が得られない場合があります。このときにシャッターボタンを半押しすると、シャッタースピード表示や絞り値表示が点滅します(Mモード時を除く)。設定したシャッタースピード、または絞り値を変えてください。

## 露出インジケーターについて(Mモード時)

設定した露出値とカメラが測定した適正露出値の差が画面の露出インジケーターに表示されます。露出インジケーターは、-2 EVから+2 EV の範囲で1/3 EVごとに表示されます。



## ▼ ISO感度についてのご注意

Mモード時のISO感度は、[ISO感度設定](□119)を[オート](初期設定)または[感 度制限オート]に設定すると、ISO 100に固定されます。

## P、S、A、Mモードで設定できる機能

- フラッシュモード (□60)
- セルフタイマー (□60)
- ・ 笑顔自動シャッター(□60)
- フォーカスモード (□66)
- 露出補正 (□160)
- 撮影メニュー (□119)
- Fn1 (ファンクション 1) /Fn2 (ファンクション 2) ボタンで設定できる機能 (□117)

### ✓ AFエリアについて

ピント合わせをするエリアは、撮影メニューの [AF エリア選択] (□119)の設定に よって異なります。初期設定の [ターゲットファインドAF] では、カメラが主要な被写 体を検出し、ピントを合わせます。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先し ます。





## シャッタースピードの制御範囲(P、S、A、Mモード時)

シャッタースピードの制御範囲は、ズーム位置や絞り値、ISO感度の設定によって 異なります。さらに、以下の連写設定時は、制御範囲が変わります。

	設定	制御範囲(秒)
	オート <sup>※2</sup> 、 感度制限オート <sup>※2</sup>	1/4000 <sup>※3</sup> ~1 秒( <b>P、S、A</b> モード) 1/4000 <sup>※3</sup> ~15 秒( <b>M</b> モード)
	ISO 100	1/4000 <sup>※3</sup> ~8 秒( <b>P、S、A</b> モード) 1/4000 <sup>※3</sup> ~15 秒( <b>M</b> モード)
ISO感度設定 (□□139) <sup>※1</sup>	ISO 200	1/4000 <sup>※3</sup> ~4 秒( <b>P、S、A</b> モード) 1/4000 <sup>※3</sup> ~8 秒( <b>M</b> モード)
	ISO 400	1/4000 <sup>※3</sup> ~4 秒
	ISO 800	1/4000 <sup>※3</sup> ~2 秒
	ISO 1600	1/4000 <sup>※3</sup> ~1 秒
	ISO 3200	1/4000 <sup>※3</sup> ~1/2 秒
	連写 H、連写 L	1/4000 <sup>※3</sup> ~1/30 秒
連写(囗135)	先取り撮影、 高速連写 120 fps	1/4000~1/125 秒
	高速連写 60 fps	1/4000~1/60 秒
	インターバル撮影	[ <b>単写</b> ] 設定時と同じ

※1 連写の設定によっては、ISO感度の設定が制限されます(□182)。

※2 Mモードのときは、ISO 100に固定されます。

※3 ズームが最も広角側でかつ絞り値が最も大きい(最小絞り)ときの最高速です。ズームを望遠側にするほど、または絞り値を小さくする(絞りを開く)ほど最高速は遅くなります。例えば、ズームが最も望遠側で絞り値が最も大きい値(最小絞り)では、最高速は1/2500秒になります。



らいろいろな撮影

## **U(ユーザーセッティング)モード**

P (プログラムオート)、S (シャッター優先オート)、A (絞り優先オート) また はM(マニュアル露出)でよく使う設定の組み合わせをUに登録できます。

撮影モードダイヤルを回して、**U**に合わせると、 [User Setting 登録] で登録した設定になります。

 そのまま、構図を決めて撮影するか、必要に応じ て設定を変えて撮影します。

以下の設定内容を登録できます。

#### 基本設定

- ・ 撮影モードP、S、A、M(□54)
   ・ フォーカスモード(□66)
- ズーム位置(□172)
- フラッシュモード (□61)
- セルフタイマー (□164)

#### 撮影メニュー

- 画質(□123)
- 画像サイズ(□125)
- Picture Control (1126)
- CSM Picture Control (
   130)
- ホワイトバランス (□131)
- 測光方式(□134)
- 連写(□135)
- ⅠSO感度設定(□□139)
- AEブラケティング(□140)

- 露出補正(□170)
- Fnボタン設定(□171)
- AFエリア選択(□141)
- AFモード (□144)
- 調光補正(□144)
- ノイズ低減フィルター(□145)
- アクティブD-ライティング (□145)
- 多重露出(□146)
- ズームメモリー (□148)
- ・ 起動ポジション設定(□149)
- Mモード露出反映表示(□149)



58



Ⅱ (ユーザーセッティング) モード


## Uモードに設定を登録する(User Setting 登録)

**P、S、A、M**モード撮影でよく使う設定を登録できます。ご購入時は、**P**モードの初期設定が登録されています。

### 1 撮影モードダイヤルをP、S、A、MまたはUに合わせる

- 撮影モードを変更したいときは、P、S、A、Mに合わせます。
- 登録済みの撮影モードを変更しないときは、Uに合わせます。

### 2 撮影時の設定をよく使う組み合わせに変更する

- 登録内容は□158をご覧ください。
- プログラムシフトの設定(Pのとき)、シャッタースピード(S、Mのとき)、絞り値(A、Mのとき)の設定も記憶します。
- 3 MENU (メニュー)ボタンを押し、撮影メ ニューを表示する



4 マルチセレクターの▲▼で [User Setting
 登録]を選んで、 (Mボタンを押す

• Uモードの登録内容が、現在の設定内容に上書き されます。



#### **U**(ユーザーセッティング)のリセットについて

撮影メニューで [User Setting リセット] を選ぶと、ユーザーセッティングに登録された設定内容は、初期設定に戻ります。

#### ▶ 時計用電池のご注意

内蔵の時計用電池が切れると、**U**に登録した設定内容がリセットされます。重要な設定 はメモしておくことをおすすめします。



U (ユーザーセッティング) モード

## マルチセレクターで設定する撮影機能

撮影画面でマルチセレクターの▲ (\$) ◀ (ů) ▼ (ů) ▶ (凶) を押すと、以下 の機能を設定できます。



- 🖄 セルフタイマー /笑顔自動シャッター
  - セルフタイマー:10秒または2秒後に自動でシャッターがきれます。
  - 笑顔自動シャッター:カメラが人物の笑顔を検出すると自動でシャッターが きれます。
- ・ スフォーカスモード 被写体との距離によって、AF(通常AF)、、(マクロAF)、または▲(遠景AF) に設定できます。撮影モードがP、S、A、M、U、シーンモードの[スポー ツ]、[打ち上げ花火]、[鳥]、[ソフト]、[セレクトカラー]、[比較明合成]、[タ イムラブス動画](星空、星軌跡)または[スーパーラブス動画]のときは、MF (マニュアルフォーカス)に設定できます。
- 図露出補正 画像全体の明るさを調節できます。

設定できる機能は、撮影モードによって異なります。



マルチセレクターで設定する撮影機能



## フラッシュモード

フラッシュのポップアップ時に、発光モード(フラッシュモード)を撮影状況に 合わせて設定できます。



- 3 フラッシュモード(□62)を選び、®ボ タンを押す
  - ●ボタンを押さないと、選択はキャンセルされます。



▶ レディーライト (フラッシュ充電表示) について フラッシュの充電中は♂が点滅します。撮影できません。 充電が完了していると、シャッターボタンを半押しした ときに♂が点灯します。



レディーライト



61



フラッシュモード



#### フラッシュモードの種類

#### \$AITO 自動発光

暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。 ・ 撮影画面のフラッシュモードアイコンは、設定直後のみ表示されます。

#### \$◎ 赤目軽減自動発光/赤目軽減発光

フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します(□163)。 • [赤目軽減発光]では、常にフラッシュを発光します。

#### 

常にフラッシュを発光します。

#### \$10W スローシンクロ

タ景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。強制発光でメインの被写体 を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

#### 🐓 リアシンクロ

シャッターが閉じる直前にフラッシュを強制発光します。動いている被写体の 後方に流れる光や軌跡などを表現したいときなどに適しています。

#### ▼ フラッシュ撮影についてのご注意

ズーム位置が広角側で、フラッシュを使うと、撮影距離によっては画像の周辺部が暗く なることがあります。

望遠側に少しズーム操作すると、改善することがあります。



フラッシュモード

フラッシュモードの設定について

設定できるフラッシュモードは、撮影モードによって以下のように異なります。

フ	<b>/</b> ラッシュモード	<b>0</b> *1	SCENE、 🛋 、 🗹 、 🍽	ПС.	<b>P</b> <sup>*1</sup>	S*1	<b>A</b> <sup>∦1</sup>	<b>M</b> <sup>%1</sup>	
<b>\$</b> AUTO	自動発光	0		0	×	×	×	×	
\$®	赤目軽減自動発光	0	<b></b> *2	0	×	×	×	×	
	赤目軽減発光	×		×	0	0	0	0	
\$	強制発光	0		0	×	×	×	×	
	通常発光	×		×	0	0	0	0	
\$ SLOW	スローシンクロ	0		0	0	×	0	×	
4:	リアシンクロ	0		0	0	0	0	0	

※1 △ (オート撮影) モードで、\$● (赤目軽減自動発光) にして撮影した場合、およびP、S、A、Mモードで設定した場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。
※2 設定によって異なります。→「フラッシュ、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定一覧」(□78)

#### 赤目軽減自動発光/赤目軽減発光について

フラッシュが本発光する前に、赤目軽減ランプが発光し、赤目現象の発生を軽減します。 さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。 撮影する際は、以下にご注意ください。

- 赤目軽減ランプが発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきれる までに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- まれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。



## セルフタイマー

1

シャッターボタンを押してから10秒または2秒後にシャッターをきります。三脚 などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの[**手ブレ補正**](□167) を [**しない**] にしてください。

- マルチセレクターの **◀**(��)を押す
- 2 セルフタイマーモードを選び、 M ボタン を押す
  - [心10s] (10秒):記念撮影などに適しています。
  - [3] (2秒):手ブレの軽減に適しています。

  - 撮影モードがシーンモードの[ペット]のときは、
     (ペット自動シャッター)が表示されます
     (□45)。セルフタイマーは使えません。



4

٢

2

- 3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする
  - ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- カウントダウンが始まります。セルフ タイマーランプが点滅し、シャッター がきれる約1秒前になると、点灯に変わ ります。
- シャッターがきれると、セルフタイ マーは [OFF] になります。<sup>※</sup>
- カウントダウンを止めるには、もう一度シャッターボタンを押します。
- ※ 撮影モードがシーンモードの [月]の ときは、自動で [OFF] にはなりません。セルフタイマーを終了するには、 手順2で [OFF] を選んでください。





64

ら いろいろな撮影



## 笑顔自動シャッター(笑顔を自動撮影する)

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動で シャッターがきれます。

- 撮影モードが 
   (オート撮影)、P、S、A、M、U、シーンモードの [ポート レート] または [夜景ボートレート] のときに使えます。
  - マルチセレクターの◀(ご)を押す ・フラッシュモード、露出、撮影メニューなどを設 定するときは、▲を押す前に設定してください。
- 2 ☑ (笑顔自動シャッター)を選び、∞ ボ タンを押す
  - ・ Wボタンを押さないと、選択はキャンセルされます。

3 構図を決め、シャッターボタンを押さずに 笑顔を待つ

- 人物の顔にカメラを向けてください。
- カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出す ると、自動的にシャッターがきれます。
- ・ 笑顔を検出するたびに自動撮影を繰り返します。

#### 4 自動撮影を終了する

1

• 笑顔検出による自動撮影を終了するには、手順1に戻って [OFF] を選びます。

#### ▶ 笑顔自動シャッターについてのご注意

撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります(〇〇75)。 シャッターボタンを押しても撮影できます。

#### セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は 速く点滅します。

#### ら いろいろな撮影

笑顔自動シャッター (笑顔を自動撮影する)





笑顔白動シャッター

ර්10s රු2s

0FF

## フォーカスモード

撮影距離に適したフォーカスモードを選べます。

## 1 マルチセレクターの▼(♥)を押す



### フォーカスモード(□67)を選び、<sup>®</sup>ボ タンを押す

・ Wボタンを押さないと、選択はキャンセルされます。





フォーカスモード



#### フォーカスモードの種類

#### AF 通常AF

レンズから50 cm以上(最も望遠側の場合は2.0 m以上)離れた被写体を撮影 するときに使います。

• 撮影画面のフォーカスモードアイコンは、設定直後のみ表示されます。

#### マクロAF

被写体に近づいて撮影するときに設定します。 <sup>1</sup> マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cm の被写体から、△マークより広角のズーム位置ではレンズ前約1 cmの被写体 から、ピント合わせができます。

#### ▲ 遠景AF

窓越しの景色や風景、建物などを撮影するときに使います。 無限遠付近でピントを合わせます。

近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

#### 🗙 無限遠固定

空や打ち上げ花火などを撮影するときに使います。

#### MF マニュアルフォーカス

レンズ前約1cm~無限遠(∞)の任意の被写体にピントを合わせられます (□168)。最短撮影距離は、ズーム位置によって異なります。

#### 🖉 フォーカスモードの設定について

撮影モードによって、設定できないことがあります。

・ 撮影モードP、S、A、Mの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。



フォーカスモード

#### マニュアルフォーカスの使い方

撮影モードがP、S、A、M、U、シーンモードの[スポーツ]、[打ち上げ花火]、 [鳥]、[ソフト]、[セレクトカラー]、[比較明合成]、[タイムラプス動画](星空、 星軌跡)、[スーパーラプス動画]のときに使えます。

 マルチセレクターの▼(♥) を押し、MF(マニュアル フォーカス)を選んで、∞ ボタンを押す





- 拡大表示で確認しながら、マルチセレク ターでピントを合わせる
  - ・ 画像中央部が拡大表示されます。拡大率は、
     ◆を 押すと2倍または4倍に切り換わります。
  - マルチセレクターを時計回りに回すと近くに、反時計回りに回すと遠くにピントが合います。ゆっくり回すかコマンドダイヤルを回すと、より細かくピント合わせができます。



- ▶を押すと、画面中央の被写体にオートフォーカ スします。オートフォーカスでピントを合わせてから、マニュアルフォーカスの 操作ができます。
- ピントが合った箇所は、白色で強調(ピーキング)表示し、ピント合わせを補助します(□69)。▲▼を押すと、ピーキングレベルを調節できます。
- シャッターボタンを半押しすると構図を確認できます。そのまま全押しすると撮影ができます。

## 3 ®ボタンを押す

- 設定したピントに固定されます。
- シャッターボタンを全押しすると撮影できます。
- ・設定したピントを変更するときは、∞ボタンを押して手順2の画面を表示します。





ら いろいろな撮影

フォーカスモード

#### MF (マニュアルフォーカス) について

- 手順2で画面右のゲージに表示される数字は、ゲージを中央付近にしたときにピントが 合う距離の目安です。
- 実際にピントが合う範囲は、絞り値やズーム位置によって異なります。ピントが合っているかどうかは、撮影後の画像で確認してください。
- セットアップメニューの [サイドズームレバー設定] (□122) を [MFレバー] にすると、手順2でマルチセレクターのかわりにサイドズームレバーでもピント合わせができます。

### 🖉 ピーキングについて

- ピーキングレベルを調節すると、ピントが合っていると見なす範囲を変更できます。
   コントラストの高い被写体では弱めに、低い被写体では強めに設定すると効果的です。
- ピーキングでは、画像のコントラストが高い部分を白色で強調します。撮影条件によっては、適切に強調できないことや、ピントの合っていない部分を強調して表示することがあります。
- セットアップメニューの [ビーキング] (□122) でピーキング表示しない設定にできます。



## 露出補正(明るさを調節する)

画像全体の明るさを調節できます。

### 1 マルチセレクターの▶(図)を押す



### 2 補正値を選び、®ボタンを押す

- 明るくする:「+」側に設定します。
- 暗くする:「-」側に設定します。



ガイド

ヒストグラム表示

#### 夕 露出補正の設定について

- ・P、S、Aモードの場合、設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- 以下の撮影モードでは、露出補正は使えません。
  - シーンモード(□140)の[打ち上げ花火]、[比較明合成]、タイムラプス動画の[星空/150分間撮影]、[星軌跡/150分間撮影]
  - M (マニュアル露出) モード (口54)
- フラッシュ使用時に露出補正を設定した場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両 方が補正されます。

#### 🖉 ヒストグラム表示について

ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。フラッシュを使わない撮影で、 露出を補正するときの目安になります。

- 横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画 素数を示します。
- 露出補正を「+」側にすれば山が右側に寄り、「-」側にすれば山が左側に寄ります。



露出補正(明るさを調節する)



## Fn1 (ファンクション1) /Fn2 (ファンクショ ン2) ボタンを使う

P、S、A、M、UモードでFn1ボタンまたはFn2ボタンを押すと、あらかじめ登録したメニュー項目をすばやく設定できます。Fn1ボタン、Fn2ボタンのそれぞれに、メニュー項目を登録できます。

• 登録できるメニュー項目は以下のとおりです。

画質(囗123)	連写(囗135)
画像サイズ(〇125)	ISO感度設定(囗139)
Picture Control (1126)	AFエリア選択(〇〇141)
ホワイトバランス(印131)	手ブレ補正(〇〇167)
測光方式(〇134)	

1 撮影画面で、Fn1 (ファンクション1) またはFn2 (ファンクション2) ボタンを押す

登録したメニュー(初期設定は[連写])の設定項目と「[Fnボタン設定]を選べます。





- 2 マルチセレクターで設定項目を選び、®ボタン を押す
  - ●ボタンを押さないと、選択はキャンセルされます。
  - 設定を変更せずに撮影画面に戻るには、Fn1ボタン、 Fn2ボタンまたはシャッターボタンを押します。



 メニュー項目の登録を変更するには、 「「Fnボタン設定」を選んで®ボタンを 押します。登録したいメニュー項目を選び®ボタンを押すと、登録を変更します。



らいろいろな撮影

Fn1 (ファンクション1) /Fn2 (ファンクション2) ボタンを使う



## ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

- 大きく写す: T側
- 広い範囲を写す:₩側
- ズームレバーをいっぱいまで回すと、ズームが速くなります(動画撮影中を除く)。
- サイドズームレバーをTまたはW側に動かしても、ズームの操作ができます。
   サイドズームレバーの機能は、セットアップメニューの[サイドズームレバー設定](□169)で変更できます。
- ズームレバーを動かすと、撮影画面にズームの量 が表示されます。





#### 🖉 電子ズームについて

らいろいろな撮影 ズームを使う

電子ズームが作動するとズーム表示が青色に変わり、さらに倍率を上げると黄色に変わ ります。

- ズーム表示が青色のとき:ダイナミックファインズームにより、電子ズームによる画 質の劣化が抑えられます。
- ズーム表示が黄色のとき:画質の劣化が目立つことがあります。
- 青色の領域は、画像サイズが小さいほど広くなります。
- 連写の設定などによっては、ズーム表示が青色にならないことがあります。



### クイックバックズームを使う

望遠側で撮影中に被写体を見失ったときは、)(ク イックバックズーム)ボタンを押すと、見える範囲 が一時的に広がり、被写体を捉えやすくなります。

- 資ボタンを押したまま、撮影画面のフレーミング 枠内に被写体を捉えます。見える範囲をさらに広 げたいときは、資ボタンを押したまま、ズームレ バーを₩側に動かします。
- 資ボタンを離すと、元のズーム位置に戻ります。
- 動画撮影中はクイックバックズームを使えません。





フレーミング枠



ズームを使う

## ピント合わせについて

## シャッターボタンの半押しと全押し

≭押し ↓↓	<ul> <li>シャッターボタンを押して、軽く抵抗を感じるところで止めたままにすることを「半押し」といいます。</li> <li>・半押しするとピントと露出(シャッタースピードと絞り値)が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。</li> <li>・ピントを合わせる位置(AFエリア)は、撮影モードによって異なります。</li> </ul>
全押し	<ul> <li>シャッターボタンを深く押し込むことを「全押し」といいます。</li> <li>全押しするとシャッターがきれます。</li> <li>全押しするときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像が ぶれる(手ブレする)ことがあるので、ゆっくりと押し込ん でください。</li> </ul>

## ターゲットファインドAFについて

▲ (オート撮影) モード、またはP、S、A、M、Uモードのときに [AFエリア選択] (□141) が [ターゲットファインドAF] のときは、シャッターボタンを半押しすると、以下の動作でピントを合わせます。

カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。ピントが合うと、AFエリア表示が緑色に点灯します。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。



AFエリア

 カメラが主要な被写体を検出していないときは、9 つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとら えているAFエリアでピントが合います。ピントが 合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑 色に点灯します。

INろいろな撮影
 ビント合わせについて





#### V ターゲットファインドAFについてのご注意

- どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
- [ホワイトバランス]や[Picture Control]の設定によっては、主要被写体を検出で きないことがあります。
- 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
  - 被写体が非常に暗い、または明るい
  - 主要被写体の色に特徴が少ない
  - 主要被写体が画面の周辺部にある
  - 主要被写体が同じパターンを繰り返す

#### 顔認識撮影について

以下の設定では、人物の顔にカメラを向けると自動 的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

- シーンモード(□140)の図(夜景ポートレート)、
   [おまかせシーン]、[ポートレート]
- クリエイティブモード (□52)
- [AFエリア選択](□141)を[顔認識オート]に 設定時

複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、 AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しした場合:

- [おまかセシーン]では、カメラが判別した撮影状況によって AF エリアが変わります。
- クリエイティブモードや、[AFエリア選択]を[顔認識オート]に設定時は、最 も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

#### ▶ 顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている



ピント合わせについて







#### 

再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます([**連写**](〇135) または [AEブラケティング](〇140)で撮影した画像を除く)。

### オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないこと があります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っ ていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい(太陽が背景に入った日陰の人物など)
- 被写体にコントラストがない(白壁や背景と同色の服を着ている人物など)
- 遠いものと近いものが混在する被写体(オリの中の動物など)
- 同じパターンを繰り返す被写体(窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど)
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影(C277)をお試しください。

マニュアルフォーカスでピントを合わせることもできます(□67、68)。



ピント合わせについて

### フォーカスロック撮影

AF (オートフォーカス) エリアが画面中央でも、ピントを固定(フォーカスロック) する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。



- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に 点灯します。
- 露出も固定されます。
- 2 半押ししたまま構図を変える
  - 被写体との距離は変えないでください。





3 シャッターボタンを全押しして撮影する

#### ✔ AFエリアを任意の場所に移動するには

撮影モード**P、S、A、M**では、撮影メニューの[AFエリア選択](□141)をマニュア ルに設定すると、マルチセレクターでAFエリアを移動できます。



ピント合わせについて





## フラッシュ、セルフタイマー、フォーカスモー ドの初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュモード	セルフタイマー	フォーカスモード
	(\$\$\$60)	(🎞60)	(\$\$\$60)
▲ (オート撮影)	<b>\$</b> AUTO	OFF <sup>**1</sup>	AF <sup>*2</sup>
<b>立た</b> (クリエイティブ)	\$ AUTO	OFF	AF <sup>**3</sup>
Ρ. S. Α. Μ	\$	OFF <sup>**1</sup>	AF
<b>U</b> (ユーザーセッティング)	\$	OFF <sup>*1</sup>	AF
シーンモード			
■(夜景)	<b>③</b> <sup>≈4</sup>	OFF	<b>▲</b> <sup>**4</sup>
☑(夜景ポートレート)	\$® <sup>*5</sup>	OFF*1	AF <sup>∗4</sup>
■(風景)	<b>③</b> <sup>≈4</sup>	OFF	<b>▲</b> <sup>**4</sup>
ॼ ♥ (おまかせシーン)	\$AUTO <sup>**4</sup>	OFF	AF <sup>⋇4</sup>
え (ポートレート)	\$®	OFF <sup>*1</sup>	AF <sup>⋇4</sup>
💐 (スポーツ)	<b>S</b> <sup>*4</sup>	OFF <sup>**4</sup>	AF <sup>⋇6</sup>
🕱 (パーティー)	\$® <sup>**7</sup>	OFF	AF <sup>⋇4</sup>
🗟 (ビーチ)	\$ AUTO	OFF	AF <sup>⋇3</sup>
⑧ (雪)	\$ AUTO	OFF	AF <sup>⋇3</sup>
🚔 (夕焼け)	<b>③</b> <sup>**4</sup>	OFF	<b>▲</b> <sup>**4</sup>
🛓 (トワイライト)	<b>⊗</b> <sup>≈4</sup>	OFF	<b>▲</b> <sup>**4</sup>
(クローズアップ)	\$AUTO <sup>**8</sup>	OFF	\$**
<b>ff</b> (料理)	<b>③</b> <sup>**4</sup>	OFF	<b>₽</b> <sup>≈4</sup>
● (打ち上げ花火)	<b>③</b> <sup>**4</sup>	OFF <sup>**4</sup>	<b>∞</b> <sup>∗9</sup>
22(逆光)	<b>\$</b> ∕⊛ <sup>≋10</sup>	OFF	AF <sup>⋇4</sup>
🗖 (かんたんパノラマ)	<b>③</b> <sup>**4</sup>	OFF <sup>**4</sup>	AF <sup>⋇4</sup>
<b>・・</b> (ペット)	<b>③</b> <sup>**4</sup>	<sup>*11</sup>	AF <sup>⋇3</sup>
● (月)	<b>⊗</b> <sup>**4</sup>	ڻ2s	<b>▲</b> <sup>**4</sup>
▶ (鳥)	<b>③</b> <sup>∗4</sup>	OFF	<b>A</b> F <sup>⋇12</sup>
SOFT (ソフト)	\$ AUTO	OFF	AF

78

🕤 いろいろな撮影

フラッシュ、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定一覧



	フラッシュモード (囗60)	セルフタイマー (口60)	フォーカスモード (囗60)
🖋 (セレクトカラー)	\$AUTO	OFF	AF
🔊 (比較明合成)	<b>③</b> <sup>≈4</sup>	OFF	AF/ <b>CO</b> <sup>*13</sup>
😼 (タイムラプス動画)	<b>③</b> <sup>**4</sup>	OFF	AF/▲/∞ <sup>*14</sup>
🗔 (スーパーラプス動画)	<b>③</b> <sup>∗4</sup>	OFF	AF

※1 笑顔自動シャッターも選べます。

- ※2 MF (マニュアルフォーカス) は選べません。
- ※3 AF (通常AF) または♥ (マクロAF) に変更できます。
- ※4 変更できません。
- ※5 変更できません。[手持ち撮影]のときは赤目軽減スローシンクロで強制発光します。[三脚撮影]のときは赤目軽減スローシンクロで自動発光します。
- ※6 AF(通常AF)またはMF(マニュアルフォーカス)に変更できます。
- ※7 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。
- ※8 [連写NR撮影]の場合は、③(発光禁止)に固定されます。
- ※9 〇〇(無限遠固定)またはMF(マニュアルフォーカス)に変更できます。
- ※10 [HDR] が [しない] のときは \$ (強制発光) に、[HDR] が [する] のときは \$ (発光禁止) に固定されます。
- ※11 ペット自動シャッターのON/OFFを設定できます。セルフタイマーは使えません。
- ※12 AF(通常AF)、▲(遠景AF)またはMF(マニュアルフォーカス)から選べます。
- ※13 [夜景と光跡]の場合は、AF(通常 AF)、▲(遠景 AF)または MF(マニュアル フォーカス)に変更できます。[星軌跡]の場合は、○○(無限遠固定)またはMF (マニュアルフォーカス)に変更できます。
- ※14 [街中/10 分間撮影]の場合はAF(通常AF)に、[風景/25 分間撮影]、[夕焼け/50 分間撮影]の場合は▲(遠景AF)に固定されます。[星空/150 分間撮影]または [星軌跡/150 分間撮影]の場合は、○○(無限遠固定)またはMF(マニュアル フォーカス)に変更できます。



フラッシュ、セルフタイマー、フォーカスモードの初期設定一覧



## 撮影時に組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
	フォーカスモード (��66)	▲ (遠景AF) または ○○ (無限遠固定) に すると、フラッシュは使えません。
フラッシュモード	画質(囗123)	RAW画像で記録するときは、★●(赤目軽 減自動発光/赤目軽減発光)に設定していて も赤目軽減処理はされません (JPEG同時記 録時のJPEG画像を含む)。
	連写(囗135)	フラッシュは使えません([ <b>インターバル撮</b> 影]を除く)。
	AEブラケティング (囗140)	フラッシュは使えません。
セルフタイマー /	フォーカスモード (�� <b>66</b> )	AF (通常AF)以外にすると、笑顔自動シャッ ターは [OFF] になります。
笑顔自動シャッター	AFエリア選択 (口141)	[ <b>ターゲット追尾</b> ] にすると、セルフタイ マー /笑顔自動シャッターは使えません。
フューカフエード	笑顔自動シャッター (口65)	笑顔自動シャッターにすると、AF(通常AF) に固定されます。
73-774-1	AFエリア選択 (口141)	[ <b>ターゲット追尾</b> ]にすると、 <b>MF</b> (マニュ アルフォーカス)は設定できません。
画質	連写(囗囗135)	<ul> <li>「先取り撮影」にすると、「NORMAL」に 固定されます。</li> <li>「高速連写 120 fps]、「高速連写 60 fps] にすると、「RAW]、「RAW+FINE」また は [RAW+NORMAL] は使えません。</li> </ul>
	多重露出(囗146)	[多重露出モード]を[する]にすると、[RAW]、 [RAW+FINE] または [RAW+NORMAL] は使 えません。



6 いろいろな撮影

撮影時に組み合わせて使えない機能

制限される機能	設定	内容
	画質(囗123)	<ul> <li>[RAW] にすると、[画像サイズ] は 独 [5184×3888] に固定されます。</li> <li>[RAW+FINE]、[RAW+NORMAL] にす ると、JPEG 画像の [画像サイズ] を設 定できます。ただし、際 [5184×2920]、 級 [5184×3456]、協 [3888×3888] は 選べません。</li> </ul>
画像サイズ	連写(囗135)	連写の設定によって、[ <b>画像サイズ</b> ] は以下 に固定されます。 • [ <b>先取り撮影</b> ] 時: (1280×960 ピクセル) • [ <b>高速連写 120 fps</b> ] 時: 凹 (640×480 ピクセル) • [ <b>高速連写 60 fps</b> ] 時: 繋 (1920×1080 ピクセル)
	AFエリア選択 (口141)	[ <b>ターゲット追尾</b> ]にすると、[ <b>モノクロー</b> ム]を設定できません。
Picture Control	アクティブD-ライ ティング([ユ]145)	[アクティブD-ライティング]を使うときは、「手動調整」の[コントラスト]を調整できません。
ホワイトバランス	Picture Control (CC126)	[ <b>モノクローム</b> ] にすると、[ <b>ホワイトバラ</b> ンス] は [オート (標準)] に固定されます。
測光方式	アクティブD-ライ ティング(囗145)	[ <b>アクティブD-ライティング</b> ]を使うとき は、[ <b>測光方式</b> ] は [マルチパターン] にリ セットされます。



撮影時に組み合わせて使えない機能

制限される機能	設定	内容
	連写(口135)/ AEブラケティング (口140)/ 多重露出(口146)	[ <b>連写</b> ]、[ <b>AEブラケティング</b> ]、[ <b>多重露出</b> ] はいずれかひとつしか使えません。
連写	セルフタイマー (匚164)	<ul> <li>「連写 H]、「連写 L] または「先取り撮影」に設定しても、セルフタイマーを使うと1コマずつの撮影になります。インターバル撮影は、1コマで終了します。</li> <li>[AE ブラケティング] は使えません。</li> </ul>
AEブラケティング	笑顔自動シャッター (匚165)	<ul> <li>・ 笑顔検出してシャッターがきれた場合、</li> <li>1 コマのみの撮影になります。インターバル撮影は、1 コマで終了します。</li> <li>・ [AE ブラケティング] は使えません。</li> </ul>
	画質(囗123)	[RAW]、[RAW+FINE]または[RAW+NORMAL] にすると、[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、 [高速連写 60 fps] は使えません。
	Picture Control ( 126)	[ <b>モノクローム</b> ] にすると、[ <b>AEブラケティ ング</b> ] は使えません。
ISO感度設定	連写(囗135)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速 連写60 fps] にすると、[ISO感度設定] は [オート] に固定されます。
	笑顔自動シャッター (�� <b>65</b> )	[ <b>AFエリア選択</b> ] の設定にかかわらず、顔 認識撮影になります。
AFエリア選択	フォーカスモード (��66)	<ul> <li>「ターゲット追尾」以外に設定したときに フォーカスモードを▲(遠景 AF)にす ると、「AFエリア選択」の設定にかかわ らず、遠景にピントが合います。</li> <li>MF(マニュアルフォーカス)にすると、 [AFエリア選択]を設定できません。</li> </ul>
	Picture Control (CC126)	[ <b>モノクローム</b> ]にすると、[ <b>ターゲット追</b> <b>尾</b> ]を設定できません。
	ホワイトバランス (皿131)	[ターゲットファインドAF]時、[オート (標準)]以外に設定すると、顔、または9 つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体 をとらえているAFエリアでピントが合い ます。
۸ <b>۲ ۲</b>	笑顔自動シャッター (□□65)	笑顔自動シャッターのときは、[ <b>シングル</b> AF] で動作します。
AF C - P	フォーカスモード (��66)	フォーカスモードを▲(遠景AF)にする と、[ <b>シングルAF</b> ] で動作します。

🕤 いろいろな撮影

撮影時に組み合わせて使えない機能



制限される機能	設定	内容
	画質(囗123)	[RAW]、[RAW+FINE]または[RAW+NORMAL] のときは、[ <b>多重露出</b> ] が使えません。
多重露出	連写(印135)/ AEブラケティング (印140)	[ <b>連写</b> ]、[ <b>AEブラケティング</b> ]、[ <b>多重露出</b> ] はいずれかひとつしか使えません。
モニター設定	AFエリア選択 (囗141)	<ul> <li>「ターゲット追尾]にしてターゲット登録後(追尾中)は、ヒストグラムは表示されません。</li> <li>「ターゲットファインド AF]のときは、 ヒストグラムは表示されません。</li> </ul>
	画質(囗123)	[RAW]、[RAW+FINE]または[RAW+NORMAL] のときは、日付と時刻を写し込めません。
日付写し込み	連写(印135)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速 連写 60 fps] にすると、日付と時刻を写し 込めません。
	笑顔自動シャッター (口65)	笑顔自動シャッターにすると、電子ズーム は使えません。
<b>雨スブニ</b> ル	画質(囗123)	[RAW]、[RAW+FINE]または[RAW+NORMAL] にすると、電子ズームは使えません。
电ナスーム	AFエリア選択 (口141)	[ <b>ターゲット追尾</b> ]にすると、電子ズームは 使えません。
	ズームメモリー (囗148)	[ <b>ズームメモリー</b> ] を [ <b>する</b> ] にすると、電 子ズームは使えません。
シャッター音	連写(囗135)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps] または [高速連写 60 fps] にすると、シャッター 音は鳴りません。
	AEブラケティング (口140)	シャッター音は鳴りません。

### ▼ 電子ズームについてのご注意

• 撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません(□168)。

• 電子ズーム使用時は、AFエリア選択や測光方式などが制限されます。



撮影時に組み合わせて使えない機能



# いろいろな再生

拡大表示	85
サムネイル表示 / カレンダー表示	86
連写した画像(連写グループ)の再生と削除	87
画像の編集(静止画)	88



🕤 いろいろな再生

## 拡大表示

再生モードの1コマ表示(□□25)でズームレバーをT(Q 拡大表示)側に動かすと、拡大表示されます。





- ・ 拡大率を調節するには、ズームレバー(₩(図)/T(Q))を動かします。
   コマンドダイヤルを回しても操作できます。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀ ▶を押します。
- ・ 顔認識またはペット検出して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡 大表示します([連写] または [AE ブラケティング] で撮影した画像を除く)。 顔以外の位置を拡大するには、いったん拡大率を変更してから▲▼◀ ▶を押し ます。
- ・ 拡大表示中に図ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

#### 🖉 画像をトリミングするには

拡大表示中にMENUボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます(□□93)。

85



## サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示(□25)でズームレバーをW (■サムネイル表示)側に動かすと、画像を一覧できる 「サムネイル表示」になります。





- 表示コマ数は、ズームレバー(₩ (😫) /T (9))で変更できます。
- カレンダー表示で、▲▼◀ ▶または回転で、日付を選び@ボタンを押すと、その日に撮影した画像に移動して表示します。

#### ▶ カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2016年1月1日」の画像として 扱われます。



サムネイル表示/カレンダー表示



## 連写した画像(連写グループ)の再生と削除

### 連写グループの再生方法

連写した画像は「連写グループ」として保存されます。 1コマ表示やサムネイル表示では、グループ内の1コ マ目を代表画像として表示します(初期設定)。 グループ内の画像を1コマずつ表示するには、®ボタ ンを押します。

●ボタンを押した後の操作方法は、以下のとおりです。

- ・ 画像を切り換えるには、マルチセレクターを回す
   か、
   ◆ ▶を押します。
- 表示しているグループ以外の画像を見るには、▲ を押し、代表画像の表示に戻します。
- 連写グループ内の画像をサムネイル表示やスライドショーで再生するには、再生メニュー「連写グループ表示方法」(□159)を「1枚すつ」にしてください。

#### ▶ 連写グループの表示方法について

このカメラ以外で連写した画像は、連写グループとして表示できません。

#### ④ 連写グループで使える再生メニュー

- グループ内画像の1コマ表示中にMENUボタンを押すと、再生メニュー(□120)の機能 が選べます。
- 代表画像でMENUボタンを押すと、そのグループ内の画像すべてに、以下の設定ができます。
  - 送信画像の指定、プロテクト設定







#### **ら** いろいろな再生

連写した画像(連写グループ)の再生と削除

### 連写グループの画像を削除する

連写グループでは、**面**(削除)ボタンを押すと、表示している画像によって削除される対象が異なります。

- 代表画像の表示中:
  - [表示画像]:表示しているグループ内の画像をすべて削除します。
  - [削除画像選択]:削除画像の選択画面(□118)で代表画像を選ぶと、そのグループ内の画像をすべて削除します。
  - [全画像]:メモリーカード内の画像をすべて削除します。
- グループ内画像の1コマ表示中:
  - [表示画像]:表示している1コマを削除します。
  - [削除画像選択]:グループ内の画像を選択して削除します。
  - [表示グループ]:表示しているグループ内の画像をすべて削除します。

## 画像の編集(静止画)

## 画像編集の前に

このカメラでは画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異 なるファイル名で保存されます。

編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。

#### 画像編集の制限

- RAW画像は編集できません。
- JPEG画像は、10回まで編集できます。動画編集で作成した静止画は9回まで編集できます。
- 画像サイズや編集の種類によっては、編集できないことがあります。





## 簡単レタッチ(コントラストと鮮やかさを高める)

▶ ボタンを押す(再生モード)→ 画像を選ぶ → MENUボタン
 → 簡単レタッチ → ® ボタン

マルチセレクターの▲▼で効果の度合いを選 び、®ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、
   を押します。

## D-ライティング(画像の暗い部分を明るく補正する)

▶ ボタンを押す(再生モード)→ 画像を選ぶ → MENUボタン
 → D-ライティング → ®ボタン

マルチセレクターの▲▼で効果の度合いを選 び、®ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、 ◀を押します。







## 美肌(肌をなめらかにする)

▶ ボタンを押す(再生モード)→ 画像を選ぶ → MENUボタン
 → 美肌 → @ ボタン

 マルチセレクターの▲▼ で効果の度合い を選び、 ®ボタンを押す

中止するときは、
 を押します。



## 2 効果を確認し、®ボタンを押す

- 編集した顔が拡大表示されます。
- 編集した顔が複数あるときは、
   を切り換えられます。
- 効果の度合いを変えたいときは、MENUボタンを押して、手順1に戻ります。
- 編集画像が作成されます。



#### ▶ 美肌についてのご注意

- 画面の中央に近い顔から順に、最大12人の肌を編集できます。
- ・
   顔の向きや明るさなどによっては、
   適切に
   顔を検出
   できない
   ことや
   望ましい
   効果が
   られ
   ない
   ことが
   あります
   。
- 顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。



## フィルター効果(デジタルフィルター)

▶ ボタンを押す(再生モード)→ 画像を選ぶ → MENUボタン
 → フィルター効果 → ® ボタン

項目	内容
ソフトポートレート	人物の背景をぼかします。人物が認識できない場合は、画面中 央部を残し、そのまわりをぼかします。
セレクトカラー	選択した色だけを残し、他の色は白黒にします。
クロススクリーン	太陽の反射や街灯などの光源から、放射状に光の筋を伸ばしま す。夜景などを撮影した画像が適しています。
魚眼効果	魚眼レンズで撮影したような画像にします。マクロで撮影した 画像が適しています。
ミニチュア効果	ミニチュア(模型)を接写したように加工します。高いところ から見下ろして撮影した画像で、主要な被写体が画面中央付近 に写った画像が適しています。
絵画調	絵画のような雰囲気に加工します。
周辺減光	画像の中央部から外側の周辺光量を下げた加工をします。
フォトイラスト	輪郭を強調し、色数を減らすことでイラスト風の画像にします。
背景モノクロポート レート	人物の背景をモノクロにします。人物が認識できない場合は、 画面中央部を残し、そのまわりをモノクロにします。

# マルチセレクターの▲▼でフィルター効果の種類を選び、®ボタンを押す

• [セレクトカラー] 以外の場合 → 手順3





**6** いろいろな再生

2 ▲▼で残したい色合いを選び、 ® ボタン を押す



### 3 効果を確認し、®ボタンを押す

• 編集画像が作成されます。

中止するときは、◀を押します。



## スモールピクチャー(画像サイズを小さくする)

▶ボタンを押す(再生モード)→画像を選ぶ→MENUボタン →スモールピクチャー→®ボタン

### マルチセレクターの▲▼ でスモールピク チャーのサイズを選び、 ®ボタンを押す

- アスペクト比16:9の画像の場合は、640×360の サイズに固定です。∞ボタンを押して手順2へ 進んでください。
- スモールビクチャー

   (\*†)

   640×480

   320×240

   160×120
- 2 [はい]を選び、
  ®ボタンを押す
  - 編集画像が作成されます(圧縮率約1/8)。



#### ▼ スモールピクチャーについてのご注意 アスペクト比3:2および1:1の画像は編集できません。

6 いろいろな再生

画像の編集(静止画)



## トリミング(画像の一部を切り抜く)

- 1 ズームレバーで拡大表示する(□185)
- 切り抜きたい部分だけが表示されるよう に調節し、MENU (メニュー)ボタンを押す
  - ズームレバーをT(Q)またはW(図)側に動かして拡大率を調節します。図図が表示される拡大率にしてください。
  - マルチセレクターの▲▼< ▶で表示範囲を移動 します。
- 3 画像を確認し、®ボタンを押す
  - 切り抜きたい部分を選び直すには、
     ●を押して手順2に戻ります。
  - トリミング画像を保存せずに終了するには、MENU ボタンを押します。
- 4 [はい]を選び、®ボタンを押す
  - 編集画像が作成されます。

### 🖉 画像サイズについて

- トリミング後のアスペクト比(横:縦)は、元画像と同じです。
- トリミングして画像サイズが320×240以下になった画像は、再生画面で小さく表示されます。









🕤 いろいろな再生

動画

動画の基本的な撮影と再生	
動画撮影中に静止画を記録する	
タイムラプス動画を撮影する	
スーパーラプス動画を撮影する	101
動画再生中の操作	
動画の編集	




# 動画の基本的な撮影と再生

#### 撮影画面を表示する

- 記録できる時間を確認します。
- 動画の写る範囲を示す動画枠の表示をおすすめします(口96)。

動画枠



動画の記録可能時間

2 ● (♥ 動画撮影)ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。
- 動画撮影中にシャッターボタンを押すと、静止画を記録できます(□98)。





- 3 (▶ ) ボタンを押して、撮影を終了する
- 4 再生モードの1コマ表示で動画を選び、∞ ボタンを押して再生する
  - 動画設定のアイコンが表示されている画像が動 画です。





ら 動画

## 動画枠について

- 動画枠を表示するには、DISPボタンを押します(□7)。動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。
- 動画の写る範囲は、動画メニューの「動画設定」や「電子手ブレ補正」などの 設定によって異なります。

## ピントについて

- 動画撮影中のピントは、動画メニュー [AFモード] (□153)の設定によって以下のようになります。
  - AF-S [シングル AF](初期設定):動画撮影開始時に固定されます。動画撮影中に ピントをオートフォーカスで合わせたいときは、マルチセレクターの●を押します。
     - AF-F [常時AF]:動画撮影中もピント合わせを繰り返します。
- フォーカスモード(□66)が、MF(マニュアルフォーカス)のときは、手動でピントを合わせます。動画撮影中も、マルチセレクターを左に回すと遠くの被写体に、右に回すと近くの被写体にピントを合わせられます。

## 露出について

動画撮影中にマルチセレクターの▶を押すと、露出が固定されます。解除するには、もう一度▶を押します。

#### 動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、メモリーカードの残量が多いときでもファイルサイズ4GBまで、または最長29分までです。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することが あります。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、メモリーカードの種類によって 異なることがあります。
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします。動画のサイズ/フレームレートが[2160/30p]または[2160/25p](4K UHD)の場合は、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。



ら 動画

## ▶ カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの 温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中、カメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。自動終了までの残りの秒数(**a**10s)が画面に表示されます。
   自動終了後、電源もOFFになります。
   カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

## 動画撮影についてのご注意

## ▶ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または 動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取 り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメ モリーカードが壊れることがあります。

## ▶ 記録した動画についてのご注意

- 動画撮影中は、ズーム表示が表示されません。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。動画撮影中に光学ズームから電子ズームに切り換わるときは、ズーム動作がいったん止まります。
- ズームレバーなどの操作音、ズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中の画面の表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの 現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す 被写体(布地や建物の格子窓など)に色の付いた縞模様(干渉縞、モアレ)が現れる ことがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故 障ではありません。

#### ▶ オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」(口76)では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を撮影するときは、MF(マニュアルフォーカス)(口67、68)でピントを合わせるか、以下の方法をお試しください。

- 1.撮影前に動画メニューの [AFモード] を [シングルAF] (初期設定) にする。
- 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●(\*果)ボタンを押し、動画撮影を 開始してから構図を変える。



ら 動画

# 動画撮影中に静止画を記録する

動画の撮影中に、シャッターボタンを全押ししたと きの1フレームを静止画(JPEG画像)として記録で きます。静止画の記録中も動画撮影が続きます。

- 記録される静止画の画像サイズは、動画の画像サ イズ(①150)によって異なります。



### ▶ 動画撮影中の静止画記録についてのご注意

- 以下の場合は、動画撮影中の静止画記録はできません。
  - 動画撮影の一時停止中
  - 動画記録可能時間が5秒未満の場合
  - [動画設定] (□150) がHS動画の場合
- [動画設定] が 2016/30p] または 2016/25p] のときは、1回の動画撮影 中に記録できる静止画は最大20コマです。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかることがあります。
- 静止画を記録した瞬間の動画のフレームは、なめらかに再生されない場合があります。
- 撮影中の動画にシャッターボタンの操作音が録音されることがあります。
- シャッターボタンを押すときに、カメラが動いて画像がぶれることがあります。



# タイムラプス動画を撮影する

静止画を一定間隔で自動撮影し、時間の経過による被写体の変化を約10秒間の早送り動画にして記録します。

動画メニューの[フレームレート設定]が[30 fps (30p/60p)]時は、300コマ撮影し
 マ撮影し
 [1080/30p]で記録します。[25 fps (25p/50p)]時は、250コマ撮影し
 図録[1080/25p]で記録します。

撮影モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン → 応 タイムラプス 動画 → ®ボタン

<b>番粄/堤</b> 製武亜咕朗	撮影間隔	
"主效")取於 <b>所</b> 支时间	30 fps (30p/60p)	25 fps (25p/50p)
La。街中/10分間撮影 <sup>※1</sup> (初期設定)	2秒	2.4秒
🕼 風景/25 分間撮影 <sup>※1</sup>	5秒	6秒
醫。夕焼け/50 分間撮影 <sup>※1</sup>	10秒	12秒
星空/150分間撮影 <sup>※2</sup>	30秒	36秒
图。星軌跡/150分間撮影 <sup>※3</sup>	30秒	36秒

※1 ピントは画面中央のエリアで合わせます。

※2 星の動きなどに適しています。

※3 画像処理で星の動きを光の線で表現します。

## マルチセレクターの ▲▼ で種類を選び、 ●ボタンを押す



- 2 露出(明るさ)を固定するかどうかを選び、∞ボタンを押す(星空および星軌跡を除く)
  - [AE-Lする] にすると、露出を1コマ目で固定します。夕暮れなど、明るさの変化が激しいときは [AE-Lしない] をおすすめします。





3 三脚などでカメラを固定する

- 4 シャッターボタンを押し、1 コマ目を撮影 する
  - 露出補正(口70)は、1 コマ目のシャッターをきる前に設定してください( 屋空/150分間撮影) 、 (星軌跡/150分間撮影) では露出補正は使えません)。1コマ目を撮影した後は変更できません。ピントと色合いは、1コマ目の撮影時に固定されます。



- 2コマ目以降は自動でシャッターがきれます。
- 撮影の合間は、画面が消灯することがあります。
- 300コマまたは250コマ撮影すると自動終了します。
- ●ボタンを押すと、撮影所要時間が終わる前に撮影を終了し、タイムラブス動画を記録します。
- ・
   ・
   音声と静止画は記録されません。

## ▶ タイムラプス動画についてのご注意

- メモリーカードは、撮影を終了するまで交換しないでください。
- 途中で電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。
- ● (▶) ボタンを押しても、タイムラプス動画は撮影できません。
- 撮影が終了するまで、撮影モードダイヤルを回さないでください。
- セットアップメニューの [手ブレ補正] (□167)の設定にかかわらず、手ブレ補正を 行いません。



# スーパーラプス動画を撮影する

動画を撮影し、早送り動画(№ [1080/30p] または№ [1080/25p])にし て記録します。カメラを移動させながら撮影し、被写体の移り変わりを時間短縮 して記録するのに適しています。

撮影モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン → □。スーパー ラプス動画 → ®ボタン

## 1 マルチセレクターの ▲▼ で再生倍速を選 び、 ®ボタンを押す

- 初期設定の[2倍速]では、2分間撮影した場合、
   1分間の動画として再生されます。
- ファイルサイズが4GBに達するか、撮影時間が29 分を超えると、自動的に終了します。



- 撮影時間と再生時間を画面で確認できます。
- 動画の写る範囲を示す動画枠の表示をおすすめします(口96)。
- ・
   ・
   音声は記録されません。





撮影時間

再生時間

### ● 静止画撮影について ●

- ●(\*果 動画撮影)ボタンを押す前にシャッターボタンを押すと、静止画(繋(1920×1080 ピクセル))を撮影できます。
- 動画の撮影中に静止画を撮影できます(□198)。



スーパーラプス動画を撮影する



# 動画再生中の操作

音量を調節するには、再生中にズームレバー(□2)を動かします。 早送り/巻き戻しをするには、マルチセレクターまた はコマンドダイヤルを回します。

画面に操作パネルが表示されます。 マルチセレクターの◀▶でアイコンを選び、∞ボタ ンを押すと以下の操作ができます。 ■■■ <</li>
 ■■■ 
 ■■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ 
 ■■ <

機能	アイコン	内容
巻き戻し	¥	必ボタンを押している間、巻き戻します。
早送り	*	●ボタンを押している間、早送りします。
		一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができます。
		□マ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。*
一時停止	■ コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。*	
	■ 再生を再開します。	
		■ 撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別 ファイルとして保存します。
		■ 撮影した動画の1フレームを静止画として切り出して保存します。
再生終了		1コマ表示に戻ります。

※ マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを回してもコマ送り/コマ戻しできます。



# 動画の編集

動画の編集をするときは、編集中に電源が切れないよう、十分に残量のある電池 をお使いください。

## 動画の必要な部分だけを切り出す

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。

- 編集する動画を再生して、切り出したい先頭で一時停止する (□102)
- マルチセレクターの < ▶ で操作パネルの</li>
   図を選び、 図ボタンを押す

- 3 ▲▼で編集操作パネルの以(始点の設定) を選ぶ
  - ●またはコマンドダイヤルを回して、始点を 調節します。

## 4 ▲▼で以(終点の設定)を選ぶ

- ・ 
   ◆またはコマンドダイヤルを回して、終点を 調節します。
- 設定した範囲をプレビューするには、▲▼で を選び、◎ボタンを押します。プレビューを停止 するときは、もう一度◎ボタンを押します。



1m30





6 動画

動画の編集

# 5 ▲▼で白(保存)を選び、 ® ボタンを押す

• 画面に従って保存します。



## ▶ 動画の切り出しについてのご注意

- 編集で作成した動画は、再編集できません。
- 設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。
- 再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。

## 動画の1フレームを静止画として保存する

撮影した動画の1画面を静止画として切り出して保存します。

- 動画の再生を一時停止して、切り出したい画面を表示します(□102)。
- マルチセレクターの ◀ ▶ で操作パネルの 図 を選び、 ◎ ボタンを押します。
- 確認画面で [はい] を選び、 ® ボタンを押して保存します。
- 保存される静止画の画質は [NORMAL] です。画像サイズは元の動画の画像サイズ (□150) になります。



## ▶ 静止画切り出しの制限

HS動画で撮影した動画から静止画を切り出すことはできません。



ら 動画

動画の編集

# テレビ、プリンター、パソコンと の接続

画像の活用方法	
テレビで鑑賞する	107
パソコンを使わずにプリントする	108
パソコンに画像を取り込む(ViewNX-i)	





# 画像の活用方法

撮影した画像は、SnapBridgeアプリを使って楽しむだけでなく、以下の機器とカ メラを接続することで、さまざまな用途に活用できます。

#### テレビで鑑賞する



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。 接続方法:市販のHDMIケーブルをテレビのHDMI入力端子に接続 します。

#### パソコンを使わずにプリントする



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像 をプリントできます。 接続方法:USBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

#### パソコンに画像を取り込む (ViewNX-i)



パソコンに画像や動画を取り込んで、閲覧、編集ができます。 接続方法: USBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。 ・ パソコンと接続する前にViewNX-iをパソコンにインストールし てください。

▶ カメラにケーブルを接続するときのご注意



- プラグは形状と向きを確認して、必ずカメラの電源をOFF にしてから、まっすぐに抜き差ししてください。
- カメラの電池残量が十分にあることを確認してください。別売のACアダプターEH-67A を使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-67A以外のAC アダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。

106

## 「テレビ、プリンター、パソコンとの接続

# テレビで鑑賞する

## 1 カメラの電源をOFFにし、テレビに接続する

• プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。



- 2 テレビの入力を外部入力に切り換える
  - 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。
- 3 カメラの ▶ (再生) ボタンを長押しして 電源をONにする
  - 画像がテレビに表示されます。
  - カメラの画面は点灯しません。
  - [2160/30p]、[2160/25p]で記録した動画を4K UHD画質で再生するには、4Kに対応したテレビ およびHDMIケーブルをお使いください。





107

#### 🕤 テレビ、プリンター、パソコンとの接続

# パソコンを使わずにプリントする

PictBridge対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます(ダイレクトプリント)。

## カメラとプリンターを接続する

- 1 プリンターの電源をONにする
- 2 カメラの電源をOFFにし、USBケーブルでカメラとプリンターを接続する
  - プラグは形状と向きを確認して、まっすぐに抜き差ししてください。



- 3 カメラの電源が自動的にONになる
  - カメラの画面に [PictBridge] 画面(①) が表示された後、[プリント画像選択] 画面(②) が表示されます。



## V PictBridge画面が表示されないときは

プリンターによっては、[**バソコン接続充電**](□171)を[**オート**]にするとプリ ントできない場合があります。電源がONになってもPictBridge画面が表示されな いときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、[**バソコン接 続充電**]を[**しない**]に設定してから、再接続してください。

108



# 1コマずつプリントする

- マルチセレクターの ◀ ▶ でプリントする 画像を選び、 № ボタンを押す
  - ズームレバーを W(☎)側に動かすと一覧表示に、T(Q)側に動かすと1コマ表示に切り換わります。
- 2 ▲▼ で [プリント枚数設定] を選び、 W ボタンを押す
  - ▲▼でプリント枚数(9枚まで)を設定し、∞ボ タンを押します。



- プリンター側の用紙設定で印刷するには、[プリンターの設定]を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリン ターによって異なります。
- 4 [プリント実行]を選び、®ボタンを押す
  - プリントが始まります。

3











「テレビ、プリンター、パソコンとの接続

パソコンを使わずにプリントする

# 複数の画像をプリントする

## 1 [プリント画像選択] 画面が表示されたら、 MENU(メニュー)ボタンを押す



## マルチセレクターの▲▼で [用紙設定] を 選び、 ∞ ボタンを押す

- 用紙サイズを選び、
   のボタンを押します。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、[プリ ンターの設定]を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリン ターによって異なります。
- プリントメニューを終了したいときは、MENUボタンを押します。
- 3 [プリント選択] または [全画像プリント] を選んで、<sup>60</sup>ボタンを押す







## ₲ テレビ、プリンター、パソコンとの接続

#### プリント選択

プリントする画像(最大99コマまで)と、 プリント枚数(各9枚まで)を設定します。

- マルチセレクターの ◀▶ で画像を選び、
   ▲▼ でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、
   4とプリント 枚数が表示されます。選択をキャンセル するには、枚数を0にします。
- ズームレバーを▼(Q)側に動かすと1コマ 表示に、W(■)側に動かすと一覧表示に 切り換わります。



・設定が終了したら 
 ● ボタンを押します。プリント枚数の確認画面が表示されたら、[プリント実行]を選び、
 ● ボタンを押すと画像のプリントが始まります。

全画像プリント

メモリーカード内のすべての画像を1枚ずつプリントします。



「テレビ、プリンター、パソコンとの接続

# パソコンに画像を取り込む(ViewNX-i)

# ViewNX-iをインストールする

ViewNX-i は、画像や動画の取り込み、閲覧、編集ができる無償ソフトウェアです。 下記ウェブサイトから最新のインストーラーをダウンロードし、画面の指示に 従ってインストールしてください。

ViewNX-i : http://downloadcenter.nikonimglib.com

最新情報、動作環境は、当社ウェブサイトのサポート情報でご確認ください。

# パソコンに画像を取り込む

## 1 画像の入ったメモリーカードを用意する

メモリーカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- パソコンのカードスロット、またはパソコンに接続した市販のカードリーダーに メモリーカードを差し込む。
- メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルでカメラ とパソコンを接続する。 カメラの電源が自動的にONになります。





## ▶ パソコン接続時のご注意

パソコンから電源を供給するタイプの他のUSB 機器はパソコンから取り外してく ださい。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が 過大になり、カメラ、メモリーカードなどが壊れるおそれがあります。



パソコンに画像を取り込む(ViewNX-i)



起動するプログラム(ソフトウェア)を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、 Nikon Transfer 2 を選びます。

- Windows 7 をお使いの場合 右の画面が表示されたときは、次の 手順でNikon Transfer 2を選びます。
  - 1 [画像とビデオのインボート]の [プログラムの変更] をクリック すると表示される画面で、Nikon Transfer 2を選んで、[OK] をク リックする
  - 2 Nikon Transfer 2アイコンをダブルクリックする
- Windows 10またはWindows 8.1をお使いの場合 右のダイアログが表示されたときは、ダイアログ をクリックし、(画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2) をクリックします。





#### OS XまたはmacOSをお使いの場合 Nikon Transfer 2が自動起動しないときは、カメラとパソコンを接続した状態で、 Mac付属のアプリケーション[イメージキャプチャ]を起動し、カメラを接続時 に開くアプリケーションとしてNikon Transfer 2を設定してください。

メモリーカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる 場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

## V USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

## ViewNX-iの詳しい使い方は

ViewNX-iのヘルプを参照してください。



パソコンに画像を取り込む(ViewNX-i)



#### 2 Nikon Transfer 2が起動したら、[転送開始] をクリックする



• 画像の取り込みが始まり、完了すると ViewNX-i が起動して取り込んだ画像が表 示されます。

#### 3 接続を解除する

- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブル ディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはメモリーカードを取り 外してください。
- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFF にしてから、USB ケーブル を抜きます。

#### ℓ Capture NX-Dについて

Capture NX-Dは、カメラで撮影した画像を調整したり、RAW現像したりできるニコン のソフトウェアです。Capture NX-Dは下記ホームページからダウンロードしてインス トールできます。

http://nikonimglib.com/ncnxd/



パソコンに画像を取り込む(ViewNX-i)



# メニューを使う

メニューの操作方法	116
メニュー項目一覧	119
撮影メニュー(撮影モード共通)	123
撮影メニュー( <b>P、S、A、M</b> モード)	126
動画メニュー	150
再生メニュー	156
通信メニュー	160
セットアップメニュー	



S メニューを使う

# メニューの操作方法

MENU(メニュー)ボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。

- ・ ▲ 撮影メニュー<sup>※1、2</sup>
- ・ 東動画メニュー<sup>※1</sup>
- ▶ 再生メニュー<sup>※3</sup>
- ・ Ŵ 通信メニュー
- ・
   ・
   セットアップメニュー

※1 撮影画面でMENUボタンを押すと設定できます。

※2 メニューアイコンと設定できる項目は、撮影モードによって異なります。

※3 再生画面でMENUボタンを押すと設定できます。

- 1 MENU(メニュー)ボタンを押す
  - メニュー画面が表示されます。





メニューアイコンが黄色で表示されます。



3 メニューアイコンを選び、 ボタンを押す

> メニュー項目が選べるようになり ます。



P
 地域と日時
 カードなし時レリーズ
 モニター設定
 ドFの自動切り換え
 日付写し込み
 デリル補正





🕤 メニューを使う

メニューの操作方法

# 4 メニュー項目を選び、∞ ボタンを押す

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。
- マルチセレクターを回しても項目 を選べます。
- 5 設定内容を選び、 ® ボタンを 押す
  - 選んだ設定内容が決定します。
  - メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押してください。
  - メニュー画面から撮影画面にする には、シャッターボタンまたは●
     (\*果)ボタンを押してください。

Fn1 (ファンクション1) /Fn2 (ファンクション2) ボタンを使う

P、S、A、M、UモードでFn1ボタンまたはFn2 ボタンを押すと、あらかじめ登録したメニュー項 目をすばやく設定できます(初期設定は[連写] です)。メニュー項目の登録を変更するには、 [Fnボタン設定]を選び、表示されるメニュー項 目の中から登録したいメニュー項目を選びます。



地域と日時

カードなし時レリーズ モニター設定

EVFの自動切り換え

日付写し込み

手ブレ補正

LOCK

0FF







## 画像選択画面の操作方法

メニューの操作中に右のような画像選択画面が表示 されたときは、以下の手順で画像を選びます。



削除画像選択

# マルチセレクターの< ▶または回転で画像を選ぶ</li>

- ズームレバー(□2)をT(Q)側に動かすと1コマ表示に、W(■)側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- ・ [画像回転]、[連写の代表画像選択]の画像選択 では、1画像しか選べません。
   → 手順3へ
- 2 ▲▼でON/OFFを設定する
  - ONにすると、選択画像の下にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。
- 3 ®ボタンを押して画像選択を決定する
  - 確認画面が表示されたときは、表示内容に従って操作してください。





118



メニューの操作方法

# メニュー項目一覧

## 撮影メニュー

撮影画面にする → MENUボタン

#### 撮影モード共通

項目	初期設定	
画質 <sup>※</sup>	[NORMAL]	123
画像サイズ <sup>※</sup>	2∰ [5184×3888]	125

※ Fn1 (ファンクション1) ボタンまたは Fn2 (ファンクション2) ボタンを押しても 設定できます(□117)。

## P, S, A, M, $U = - \kappa$

項目	初期設定	m
Picture Control <sup>*</sup>	[スタンダード]	126
CSM Picture Control	-	130
ホワイトバランス*	[オート (標準)]	131
測光方式 <sup>※</sup>	[マルチパターン]	134
連写 <sup>※</sup>	[単写]	135
ISO感度設定 <sup>※</sup>	[オート]	139
AEブラケティング	[しない]	140
AFエリア選択 <sup>※</sup>	[ターゲットファインドAF]	141
AFモード	[プリAF]	144
調光補正	[0.0]	144
ノイズ低減フィルター	[標準]	145
アクティブD-ライティング	[しない]	145
多重露出	<ul> <li>多重露出モード: [しない]</li> <li>自動ゲイン補正: [する]</li> </ul>	146
User Setting 登録	-	59
User Setting リセット	-	59



メニュー項目一覧



項目	初期設定	
ズームメモリー	[しない]	148
起動ポジション設定	[24 mm]	149
Mモード露出反映表示	[しない]	149

※ Fn1 (ファンクション1) ボタンまたは Fn2 (ファンクション2) ボタンを押しても 設定できます(□117)。

## 動画メニュー

撮影画面にする → MENUボタン → 「果メニューアイコン → ® ボタン

項目	初期設定	m
動画設定	<u></u> ‱[1080/30p]または <u></u> ‰[1080/25p]	150
AFモード	[シングルAF]	153
電子手ブレ補正	[する]	154
風切り音低減	[しない]	154
ズームマイク	[する]	155
フレームレート設定	-	155

## 再生メニュー

▶ボタンを押す(再生モード)→ MENUボタン

項目	m
送信画像の指定 <sup>※1</sup>	156
簡単レタッチ <sup>※2</sup>	89
D-ライティング <sup>※2</sup>	89
美肌 <sup>※2</sup>	90
フィルター効果 <sup>※2</sup>	91
スライドショー	157



120

項目	m
プロテクト設定 <sup>※1</sup>	158
画像回転 <sup>※1</sup>	158
スモールピクチャー <sup>※2</sup>	92
連写グループ表示方法	159
連写の代表画像選択 ※1	159

※1 画像選択の画面で、画像を選びます。→「画像選択画面の操作方法」(□118)
※2 編集した画像は、元画像とは別に保存されます。画像によっては編集できない場合

があります。

## 通信メニュー

#### MENUボタンを押す → Ŵメニューアイコン → ®ボタン

項目	Ē
機内モード	160
スマートフォンと接続	160
撮影時画像送信	160
Wi-Fi	160
Bluetooth	161
設定の初期化	161



121

ら メニューを使う

メニュー項目一覧

セットアップメニュー

### MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → ®ボタン

項目	m
地域と日時	162
カードなし時レリーズ	164
モニター設定	165
EVFの自動切り換え	166
日付写し込み	166
手ブレ補正 <sup>※</sup>	167
AF補助光	168
電子ズーム	168
サイドズームレバー設定	169
操作音	169
オートパワーオフ	170
カードの初期化	170
言語/Language	170
パソコン接続充電	171
画像コメント	172
著作権情報	173
位置情報	174
Av/Tv操作切り換え	174
連番リセット	175
ピーキング	176
設定クリアー	176
バージョン情報	176

※ Fn1 (ファンクション1) ボタンまたは Fn2 (ファンクション2) ボタンを押しても 設定できます(□117)。



122

ら メニューを使う

メニュー項目一覧

# 撮影メニュー(撮影モード共通)

## 画質

撮影画面にする<sup>※</sup> → MENUボタン → 撮影モードメニューアイコン → 画質 → ®ボタン

※ どの撮影モードでも設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます(撮影 モードU、シーンモードの[かんたんパノラマ]を除く)。

記録する画質(画像の圧縮率)を設定します。

画質を高くするほど、画像の細部の描写が保たれますが、記録可能コマ数は少な くなります。

	項目	内容
FINE	FINE	[ <b>NORMAL</b> ]よりも精細な画質になります。 圧縮率:約1/4
NORM	NORMAL (初期設定)	一般的な撮影に適した画質モードです。 圧縮率:約1/8
RA₩	RAW	撮像素子の生データを記録します。撮影時に設定したホワ イトバランスやコントラストなどを、パソコン上で変更で きます。 ・ [画像サイズ] は 20 [5184×3888] に固定されます。 ファイル形式:RAW (NRW)、ニコン独自フォーマット
RAW+F	RAW+FINE	RAW とJPEG (FINE)の2 種類の画像を同時に記録します。
RAW+N	RAW+NORMAL	RAW とJPEG (NORMAL) の2 種類の画像を同時に記録します。

## ▶ 画質についてのご注意

- ・ 以下の撮影モードでは、RAW 画像を記録できません。
  - シーンモード
  - 夜景モード
  - 夜景ポートレートモード
  - 風景モード
  - クリエイティブモード

他の撮影モードでRAW 画像の記録を設定しているときに上記の撮影モードにすると、 画質は【FINE】または【NORMAL】に切り換わります。

• この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(1280)。



撮影メニュー(撮影モード共通)

## 🖉 このカメラのRAW画像について

- このカメラではRAW現像はできません。
- パソコンでRAW 画像を表示するには、ViewNX-i (□112)をインストールする必要 があります。
- RAW 画像は、画像編集やダイレクトプリントができません。RAW 画像をパソコンに 取り込んでから、Capture NX-D などのソフトウェアを使うと、画像の調整やRAW 現 像ができます(□114)。

#### ✓ RAW画像とJPEG画像の同時記録について

- ・同時記録したRAW画像とJPEG画像は、同じファイル番号で拡張子がそれぞれ「.NRW」 と「.JPG」になります(□196)。
- カメラでの再生時には、JPEG画像だけが表示されます。
- JPEG画像を削除すると、同時記録されたRAW画像も削除されますので、ご注意ください。

## 🖉 記録可能コマ数

- 記録可能なコマ数の目安は、撮影時の表示で確認できます(□□21)。
- 実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画質、画像サイズでも、JPEG圧縮の 性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。メモリーカードの種類によっても、 記録可能コマ数が異なることがあります。
- ・記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。



#### 6 メニューを使う

撮影メニュー(撮影モード共通)

撮影画面にする<sup>※</sup> → MENUボタン → 撮影モードメニューアイコン → 画像サイズ → ®ボタン

※ どの撮影モードでも設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます(撮影 モードU、シーンモードの(かんたんパノラマ)または[スーパーラブス動画]を除く)。 記するJPEG回線の大きで(記録画素数)を設定します。

画像サイズを大きくするほど、大きくプリントするのに適していますが、記録可 能コマ数は少なくなります。

	項目※	アスペクト比(横:縦)
<u>20</u> m	5184×3888(初期設定)	4:3
64	3264×2448	4:3
[4™	2272×1704	4:3
[2≝	1600×1200	4:3
16:9 15 M	5184×2920	16:9
3:2 18 M	5184×3456	3:2
1:1 15M	3888×3888	1:1

※ 数値は記録画素数を表しています。

例:2055184×3888:約20×ガピクセル=5184×3888ピクセル

#### ▶ 画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意

画像サイズを「1:1」にして撮影した画像をプリントするときは、プリンターの設定を 「フチあり」にしてください。

プリンターによっては、画像を1:1の縦横比でプリントできない場合があります。

#### ▶ 画像サイズについてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□280)。



撮影メニュー(撮影モード共通)



# 撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

 [User Setting登録]、[User Settingリセット] については、「U (ユーザーセッ ティング) モード」(ロ58) をご覧ください。

# Picture Control(COOLPIXピクチャーコントロール)

撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン → Picture Control → ®ボタン

撮影状況や好みに合わせて、記録する画像の画(え)作りを設定できます。輪郭強 調の度合い、コントラスト、色の濃さ(彩度)を細かく調整できます。

項目	内容
<ul> <li>四SD スタンダード (初期設定)</li> </ul>	鮮やかでバランスのとれた標準的な画像になります。ほと んどの撮影状況に適しています。
⊠NL ニュートラル	素材性を重視した自然な画像になります。撮影後に画像を 加工したいときに適しています。
EVI ビビッド	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。 青、赤、緑など、原色の色を強調したいときに適しています。
凹MC モノクローム	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
🖾 🕻 🖞 🗠 🖾	COOLPIXカスタムピクチャーコントロールで [カスタム1] に登録した設定にします。
<b>四C2</b> カスタム 2 <sup>※</sup>	COOLPIXカスタムピクチャーコントロールで [カスタム 2] に登録した設定にします。

※ [CSM Picture Control] (□130) でカスタマイズした設定を登録したときのみ表示されます。



- このカメラのCOOLPIXピクチャーコントロール機能は、他のカメラ、Capture NX-D やPicture Control Utility 2などのソフトウェアのピクチャーコントロール機能と相互 利用はできません。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□180)。



## COOLPIXピクチャーコントロールのカスタマイズ: クイック調 整と手動調整

COOLPIXピクチャーコントロールは、輪郭強調、コントラスト、色の濃さ(彩度) などの画(え)作りの要素をバランス良くまとめて調整できる「クイック調整」 と、要素ひとつひとつを細かく調整できる「手動調整」でカスタマイズできます。

- 1 マルチセレクターの▲▼でCOOLPIXピク チャーコントロールの種類を選び、®ボ タンを押す
  - マルチセレクターを回しても項目を選べます。
- 2 ▲▼で調整する項目(□128)を選び、
   ◆▶で値を設定する
  - ・ Mボタンを押すと、値が設定されます。

ら メニューを使う

撮影メニュー (P、S、A、M モード)

 [リセット]を選んでのボタンを押すと、調整値 は初期設定に戻ります。







## クイック調整と手動調整の種類

項目	内容
クイック調整 <sup>※1</sup>	輪郭強調、コントラスト、色の濃さ(彩度)のレベルを自動 的に調整します。 ー側にするとそれぞれのCOOLPIXピクチャーコントロールの 特徴を抑えた画像になり、+側にするとそれぞれのCOOLPIX ピクチャーコントロールの特徴を強調した画像になります。 ・ 初期設定: [0]
輪郭強調	<ul> <li>画像の輪郭の強調度合い(シャーブネス)を設定します。</li> <li>数字が大きいほどくっきりとした画像になり、小さいほどソフトな画像になります。</li> <li>[A] (オート)に設定すると、自動調整します。</li> <li>初期設定: [スタンダード] または [モノクローム]のとき</li> <li>[3]、[ニュートラル]のとき [2]、[ビビッド]のとき[4]</li> </ul>
コントラスト	<ul> <li>画像のコントラストを設定します。</li> <li>一側にすると軟調な画像になり、+側にすると硬調な画像になります。晴天時の人物撮影や白とびが気になる場合などは</li> <li>一側が、かすんだ遠景の撮影などには+側が適しています。</li> <li>[A] (オート)に設定すると、自動調整します。</li> <li>初期設定: [0]</li> </ul>
色の濃さ (彩度) <sup>※2</sup>	<ul> <li>画像の色の鮮やかさを設定します。</li> <li>一側にすると鮮やかさが抑えられ、+側にするとより鮮やかになります。</li> <li>[A] (オート)に設定すると、自動調整します。</li> <li>初期設定: [0]</li> </ul>
フィルター効果 <sup>※3</sup>	<ul> <li>白黒写真用カラーフィルターを通して撮影したときのような効果が得られます。</li> <li>[OFF]:フィルター効果を使用しません。</li> <li>[Y](黄色)、[O](オレンジ)、[R](赤): コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明る さを抑えたい場合などに使います。[Y]→[O]→[R]の 順にコントラストが強くなります。</li> <li>[G](緑): 肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。</li> <li>初期設定:[OFF]</li> </ul>



撮影メニュー (P、S、A、M モード)

ら メニューを使う

項目	内容
調色 <sup>※3</sup>	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整でき ます。調 色は [B&W] (白 黒)、[Sepia] (セピア 調)、 [Cyanotype] (青写真) から選べます。 [Sepia] または [Cyanotype] を選んでマルチセレクターの ▼を押すと、さらに色の濃淡を選べます。◀▶を押して選んで ください。 • 初期設定: [B&W] (白黒)

※1 [ニュートラル]、[モノクローム]、[カスタム 1] または [カスタム 2] の場合は、 クイック調整できません。

手動調整した後にクイック調整をすると、手動調整で設定した値は無効になります。 ※2 [モノクローム]の場合は、表示されません。

※3 [モノクローム] の場合のみ、表示されます。

## ▼ [輪郭強調] についてのご注意

ら メニューを使う

撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

[輪郭強調]の効果は、撮影時の画面では確認できません。画像を再生して確認してください。

## ▼ [コントラスト]、[色の濃さ(彩度)]の [A] (オート)についてのご注意

同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は 変化します。



## CSM Picture Control (COOLPIXカスタムピクチャーコントロール)

撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン → CSM Picture Control → ® ボタン

「COOLPIXピクチャーコントロール」(口127)の設定を調整(カスタマイズ)して、[Picture Control]の「カスタム1]または「カスタム2」に登録します。

- マルチセレクターの▲▼で[編集と登録] を選び、®ボタンを押す
  - 登録済みの COOLPIX カスタムピクチャーコント ロールを削除するには [登録削除] を選びます。



2 元にする COOLPIX ピクチャーコントロール(□126)を選び、∞ ボタンを押す

## 3 ▲▼で調整する項目を選び、 ◀ ▶ で値を設定する(□127)

- 項目の内容はCOOLPIXピクチャーコントロールの調整と同じです。
- 調整が終わったら、
   のボタンを押します。
- [リセット]を選んで∞ボタンを押すと、調整値は初期設定に戻ります。

## 4 登録先を選び、®ボタンを押す

- [Picture Control] または [CSM Picture Control] で、[カスタム1] または [カスタム2] を選べる ようになります。
- 調整値を変えるには、[Picture Control] または [CSM Picture Control] で [カスタム1] または [カスタム2] を選びます。







撮影メニュー(P、S、A、Mモード)
# ホワイトバランス(色合いの調整)

撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン → ホワイトバランス → ®ボタン

画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。

項目		内容	
AUTO1	オート(標準) (初期設定)	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。 [オート(電球色を残す)]を選ぶと、電球色の光源下で撮 影した際に暖かみのある画像の仕上がりになります。フ	
AUT02	オート(電球色 を残す)	ラッシュ使用時は、フラッシュ発光の条件に応じて調整されます。	
PRE	プリセットマ ニュアル	[オート (標準)]、[オート (電球色を残す)] や [電球] な どの設定では望ましい結果が得られない場合に使います (囗133)。	
*	晴天 <sup>※</sup>	晴天の屋外での撮影に適しています。	
*	<b>電</b> 球 <sup>※</sup>	白熱電球の下での撮影に適しています。	
*	蛍光灯	<ul> <li>蛍光灯の下での撮影に適しています。[1](白色蛍光灯)、</li> <li>[2](昼白色蛍光灯)、[3](昼光色蛍光灯)のいずれかを 選べます。</li> </ul>	
2	<b>曇天<sup>※</sup></b>	曇り空の屋外での撮影に適しています。	
\$	フラッシュ *	フラッシュを使う撮影に適しています。	
К	色温度設定	色温度(〇〇132)を直接指定できます。	

※7段階の微調整ができます。「+」方向で青み、「-」方向で赤みが増します。

#### ▶ ホワイトバランスについてのご注意

- [オート (標準)]、[オート (電球色を残す)]、[フラッシュ] 以外のホワイトバランス を選んだときは、フラッシュを閉じてください (□23)。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(口80)。



撮影メニュー(P、S、A、Mモード)



#### 🖉 色温度について

光の色を絶対温度(K:ケルビン)という客観的な数字で表したものが色温度です。色温 度が低くなるほど赤味を帯びた光色になります。色温度が高くなるほど青味を帯びた光 色になります。







#### プリセットマニュアルの使い方

以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

- 1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く
- マルチセレクターの▲▼で[プリセットマニュアル]を選び、®ボタンを押す
  - レンズが測定用のズーム位置になります。

# **3** [新規設定] を選ぶ

 前回の測定値を使いたいときは、「前回の設定」を 選びます。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写 体を収め、 ®ボタンを押して測定する

シャッターがきれて、新規設定が終了します(画像は記録されません)。

# 7リセットマニュアル 前回の設定 新規設定

測定窓

#### ✔ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[**ホワ** イトバランス]を [オート (標準)]、[オート (電球色を残す)]または [フラッシュ] に設定してください。



撮影メニュー(**P、S、A、M**モード)







# 測光方式

#### 撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン → 測光方式 → ®ボタン

露出を合わせるため、被写体の明るさを測ることを「測光」といいます。 カメラが 測光する方式を設定します。

項目		内容
	マルチパターン (初期設定)	画面の広い領域を測光します。 通常の撮影では、マルチパターン測光をおすすめします。
0	中央部重点	画面に表示される中央部重点測光範囲に重点を置いて測光 します。ポートレート撮影など、重点的に画面中央部に露出 を合わせたいときなどに使います。**
•	スポット	画面中央部に表示されているスポット測光範囲で測光しま す。被写体と背景の明るさが著しく異なるときなどに使いま す。被写体がスポット測光範囲に入るように撮影してくださ い。**

※ ピントと露出を合わせたい被写体が画面中央部にないときは、[AFエリア選択] をマ ニュアルにしてAFエリアを画面中央にし、フォーカスロック(ロ77)をお使いくだ さい。

#### ▶ 測光方式についてのご注意

• 電子ズーム作動中は、拡大倍率によって [中央部重点] または [スポット] になります。

• この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(口80)。

#### ✓ 撮影画面の表示について

[中央部重点] または [スポット] に設定すると、測光範囲のガイド (□10) が表示されます (電子ズーム使用時を除く)。



撮影メニュー(P、S、A、Mモード)



# 撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる $\rightarrow$ MENUボタン $\rightarrow$ P、S、A、M、Uメニューアイコン $\rightarrow$ 連写 $\rightarrow$ ®ボタン

項目		内容	
S	単写(初期設定)	1コマずつ撮影します。	
▣╢	連写 H	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 ・ 約5コマ / 秒の速度で約5コマ連写できます。	
٩L	連写L	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 ・ 約 2 コマ / 秒の速度で約 200 コマ連写できます。	
ġ.	先取り撮影	<ul> <li>シャッターボタンを半押しすると先取り撮影を開始します。</li> <li>シャッターチャンスで全押しすると、その直前の画像もさかのぼって記録します(口136)。シャッターチャンスを逃しにくくなります。</li> <li>約15 コマ/秒の速度で20 コマ(先取り撮影の最大5 コマを含む) 連写できます。</li> <li>画質は [NORMAL]、画像サイズは (1280×960 ピクセル)に固定されます。</li> </ul>	
⊒120	高速連写 120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 ・ 約 120 コマ / 秒の速度で 60 コマ連写できます。 ・ 画像サイズは 凹(640×480 ピクセル)に固定されます。	
₽60	高速連写 60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 ・ 約 60 コマ / 秒の速度で 60 コマ連写できます。 ・ 画像サイズは 繋(1920×1080 ピクセル)に固定されます。	
©	インターバル撮影	あらかじめ設定した撮影間隔(インターバル)で、静止画を 自動的に連続撮影します(口137)。	



🕤 メニューを使う

撮影メニュー (**P、S、A、M**モード)

#### ▶ 連写についてのご注意

- ・ ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかることがあります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- ・
   ・
   画質や画像サイズ、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります
   (RAW記録時など)。
- [高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]の場合、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いがばらついたりすることがあります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(口80)。

#### 分売取り撮影について

シャッターボタンの半押し/全押しと記録する画像の関係は以下のとおりです。



 シャッターボタンの半押し中は、撮影画面の先取り撮影アイコン(感)が緑色 に変わります。





#### 

ら メニューを使う

#### インターバル撮影を使った撮影方法

撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン → 連写 → ®ボタン

 マルチセレクターの▲▼で図[インター バル撮影]を選び、®ボタンを押す

- 2 撮影間隔を設定する
  - ◆ ●で項目を選び、▲▼で時間を設定します。
  - 設定が終了したら®ボタンを押します。



インターバル撮影

6

Ρ

- **3** MENU (メニュー) ボタンを押し、撮影画面にする
- 4 シャッターボタンを押し、1コマ目を撮影 する
  - 2コマ目以降は、撮影間隔の設定に従って自動で シャッターがきれます。
  - 撮影の合間は画面が消灯し、電源ランプが点滅します。



- 5 必要な画像を撮影し終わったら、シャッターボタンを押す
  - 撮影が終了します。
  - メモリーカードの残量がなくなると、撮影は自動終了します。



137



撮影メニュー(**P、S、A、M**モード)

# ▼ インターバル撮影についてのご注意

- 途中で電源が切れないように、十分に残量のある電池をお使いください。
- 別売のACアダプター EH-67A(□□197)を使うと、家庭用コンセントからこのカメラ へ電源を供給できます。EH-67A以外のACアダプターは絶対に使わないでください。 カメラの故障、発熱の原因となります。
- インターバル撮影中は、撮影モードダイヤルを回さないでください。
- 設定した撮影間隔に対して、シャッタースピードが遅く、1コマの記録にも時間がかか る場合は、途中の撮影がキャンセルされることがあります。



ら メニューを使う

撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

#### 撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン → ISO感度設定 → ®ボタン

ISO感度を高くすると、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによる ブレを軽減しやすくなります。

• ISO感度を高くすると、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容	
ISO感度設定	<ul> <li>【オート】(初期設定): ISO 100 ~ 1600 の範囲で自動設定します。</li> <li>【感度制限オート】:自動設定範囲を いいのである。</li> <li>【ISO 100-800】から選べます。</li> <li>【100】~ [3200]: ISO 感度を選んだ値に固定します。</li> </ul>	
低速限界設定	撮影モードがPまたはAのときに、ISO感度の自動制御が働き 始めるシャッタースピードを設定します。ここで設定した シャッタースピードでは露出不足となる場合、適正露出を得 るためにISO感度を自動的に高くします。 • [ISO感度設定]が「オート]、「感度制限オート]のときに 有効です。 • ISO感度が上がっても露出不足となる場合は、シャッタース ピードが遅くなります。 • 初期設定: [しない]	

#### ▶ ISO感度設定についてのご注意

- M (マニュアル露出) モードのときに [オート]、[ISO 100-400]、[ISO 100-800]
   に設定すると、ISO感度はISO 100に固定されます。
- ・ この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□180)。

#### 

- [オート] 時は、感度が上がったときにISOマークが表示されます。
- [ISO 100-400]、[ISO 100-800] 時は、感度の上限値が表示されます。



撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

# AEブラケティング

#### 撮影モードダイヤルをP、S、Aに合わせる → MENUボタン → P、S、Aメ ニューアイコン → AEブラケティング → ®ボタン

露出(明るさ)を自動的に変えながら連続撮影できます。画像の明るさの調節が 難しい場合の撮影に効果的です。

項目	内容
しない(初期設定)	AEブラケティングを行いません。
±0.3	シャッターボタンを全押しすると、0、-0.3、+0.3の順で自動 的に露出を変えながら、3コマを連続撮影します。
±0.7	シャッターボタンを全押しすると、0、-0.7、+0.7の順で自動 的に露出を変えながら、3コマを連続撮影します。
±1.0	シャッターボタンを全押しすると、0、-1.0、+1.0の順で自動 的に露出を変えながら、3コマを連続撮影します。

#### ✔ AEブラケティングについてのご注意

- M (マニュアル露出) モードの場合、[AEブラケティング] は使えません。
- 露出補正(①70)と[AEブラケティング]の[±0.3]、[±0.7]、[±1.0]のいずれかを同時に設定すると、補正量を加算します。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□180)。





#### 撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる $\rightarrow$ MENUボタン $\rightarrow$ P、S、A、M、Uメニューアイコン $\rightarrow$ AFエリア選択 $\rightarrow$ ®ボタン

#### オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を変更します。

項目	F	内容
(2) 顔認識オート	カメラが人物の顔を認 識すると、顔にピントが 合います(顔認識撮影に ついて→□75)。 人物以外の撮影や顔を 認識できない構図では、 9つあるAFエリアのう ち最も手前の被写体を とらえているエリアで ピントが合います。	
【□】 マニュアル(スポット) 【□】 マニュアル(標準) 【 1】 マニュアル(ワイド)	マルチセレクターの ▲▼◀ ▶または回転 で、AFエリアをピント を合わせたい位置に移 動できます。 マルチセレクターでフ ラッシュモードなどを 設定したいときは、 「オタンを押します。AF エリアの移動に戻るに は、もう一度®ポタン を押します。	移動可能エリア         ●



141

撮影メニュー (P、S、A、M モード)

ら メニューを使う

	項目		内容
Ð	ターゲット追尾	動く被写体の撮影に使 います。 ピントを合わせたい被 写体を登録すると、AF エリアが被写体を追い かけて移動します。→ 「ターゲット追尾の使 い方」(□143)	
(•)	ターゲットファインド AF(初期設定)	カメラが主要な被写体 を検出すると、その被写 体にピントが合います。 →「ターゲットファイン ドAFについて」([174)	1/230 F5.6 AF IU7

# ✔ AFエリア選択についてのご注意

- 電子ズーム使用時は、[AF エリア選択]の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(①80)。





#### ターゲット追尾の使い方

撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる  $\rightarrow$  MENUボタン  $\rightarrow$ P、S、A、M、Uメニューアイコン  $\rightarrow$  AFエリア選択  $\rightarrow$  ® ボタン  $\rightarrow$ (中) ターゲット追尾  $\rightarrow$  ® ボタン  $\rightarrow$  MENUボタン

#### 被写体を登録する

1

- ・ 追尾したい被写体を画面中央の枠に合わせ、∞ボ タンを押します。
- 被写体が登録されると、黄色い AF エリア表示で 囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- 登録できなかったときは、枠が赤色に表示されます。構図を変えて登録をやり直してください。
- 登録を解除したいときは、Wボタンを押します。
- カメラがターゲットを見失うと、AF エリア表示 が消えます。登録をやり直してください。



 AF エリアが表示されていない状態でシャッター ボタンを押すと、画面中央のエリアにピントが合います。

#### ✔ ターゲット追尾についてのご注意

- ターゲットの追尾中にズーム操作などを行うと、登録が解除されます。
- 撮影条件によっては、適切にターゲット追尾できないことがあります。



撮影メニュー(P、S、A、Mモード)







撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン→ AFモード → ®ボタン

静止画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF	シャッターボタンを半押ししたときのみピントを合わせます。
AF-F 常時AF	シャッターボタンを半押ししなくても、常にピントを合わせ ます。常に動作音がします。
PREAF プリAF (初期設定)	シャッターボタンを半押ししなくても、被写体の動きを検知 したときや構図が大きく変わったときなどに、ピントを合わ せます。

#### ✔ AFモードについてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□280)。

#### 🖉 動画のAFモードについて

動画撮影時のAFモードは、動画メニューの [AFモード] (□153) で設定します。

# 調光補正

#### 撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン → 調光補正 → ®ボタン

フラッシュの発光量を補正します。

フラッシュが明るすぎるときや暗すぎるときなどに使います。

項目	内容
+0.3~+2.0	0.3~2.0 EVまで、1/3段ごとにフラッシュの発光量が多くなります。構図の中心となる被写体をより明るく照らすように発光量を多くします。
0.0(初期設定)	調光補正を行いません。
-0.3~-2.0	-0.3~-2.0 EVまで、1/3段ごとにフラッシュの発光量が 少なくなります。被写体に光が強く当たりすぎないよう発光 量を少なくします。

144

\_\_\_\_\_ 撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

ら メニューを使う



# ノイズ低減フィルター

撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる  $\rightarrow$  MENUボタン  $\rightarrow$  P、S、A、M、Uメニューアイコン  $\rightarrow$  ノイズ低減フィルター  $\rightarrow$  ®ボタン

画像の記録時に通常行うノイズ低減機能の強さを設定します。

項目		内容
NR⁺	強め	ノイズ低減を標準よりも強めに行います。
NR	標準 (初期設定)	ノイズ低減を標準の強さで行います。
NR	弱め	ノイズ低減を標準よりも弱めに行います。

# アクティブD-ライティング

撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン → アクティブD-ライティング → ®ボタン

ハイライトの白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減し、見た目のコントラストに 近い仕上がりになります。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海 辺など明暗差の激しい景色を撮影するときに効果的です。

項目		内容
ΒäΗ	強め	
¤⊟ N	標準	効果の度合いを設定します。
啮L	弱め	
OFF	しない(初期設定)	アクティブD-ライティング処理をしません。

### ▼ アクティブ D-ライティングについてのご注意

• 撮影後の画像の記録に時間がかかります。

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□180)。

#### [アクティブD-ライティング] と [D-ライティング] の違い

- [アクティブ D- ライティング] は、白とびを抑えるように撮影し、記録時に階調を調節します。
- 再生メニューの [D-ライティング] (①89) は、記録した画像の階調を調節します。



145

撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

ら メニューを使う

撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン → 多重露出 → ®ボタン

2~3コマの画像を重ねて、1枚の画像として記録します。

項目	内容	
多重露出モード	[ <b>する</b> ] に設定すると、多重露出で撮影します。 • 重ねない画像も記録します。 • 初期設定: [ <b>しない</b> ]	
自動ゲイン補正	<ul> <li>重ねるときに、画像の明るさを自動調節するかどうかを設定します。</li> <li>初期設定: [する]</li> </ul>	

#### ▶ 多重露出についてのご注意

- 画像の合成に時間がかかることがあります。
- 撮影中にオートパワーオフ(□170)による待機状態になると、撮影が終了します。
   撮影間隔の長い撮影では、オートパワーオフの時間を長めに設定することをおすすめします。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□180)。
- 多重露出時にシャッタースピードが遅い場合、記録した画像にノイズ(白い点)が目 立つことがあります。

#### 多重露出を使った撮影方法

撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン → 多重露出 → ®ボタン

 マルチセレクターの▲▼で[多重露出モー ド]を選び、◎ボタンを押す



6 メニューを使う

撮影メニュー(**P、S、A、M**モード)

# 2 [する]を選び、®ボタンを押す



# **3** MENU (メニュー) ボタンを押し、撮影画面にする

4 シャッターボタンを押し、1コマ目を撮影 する



1080 Bo NURY

25m Os

P 🛈

- 5 シャッターボタンを押し、2コマ目を撮影 する
  - 半透明で表示される1コマ目の画像を見ながら、 構図を決めてください。
  - 2コマ目を撮影すると、1コマ目と2コマ目を重ね た画像が記録され、半透明で表示されます。
  - 2コマで多重露出を経了するには、[多重露出モー
     ド)を[しない]に設定するか、撮影モードダイヤルをP、S、A、M、U以外に切り換えます。

### **6** シャッターボタンを押し、3コマ目を撮影する

- 3コマを重ねた画像が記録され、多重露出が終了します。
- 3コマ目を撮影できるまで、時間がかかることがあります。



147

撮影メニュー(P、S、A、Mモード)

ら メニューを使う

# ズームメモリー

撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン → ズームメモリー → ®ボタン

項目	内容
する	<ul> <li>ズームレバーを動かすと、この設定でチェックボックスをオンにしたズーム位置(35mm判換算の焦点距離/撮影画角)に切り換わります。</li> <li>マルチセレクターの▲▼で焦点距離を選び、®ボタンを押してチェックボックスのオン[◆]/オフを設定します。[24 mm]、[28 mm]、[35 mm]、[50 mm]、[85 mm]、[105 mm]、[135 mm]、[200 mm]、[500 mm]、[500 mm]、[300 mm]、[1000 mm]、[100</li></ul>
しない(初期設定)	[する] で設定できるズーム位置以外にもズームを移動します。

#### ▼ ズーム操作についてのご注意

- 複数の焦点距離を設定した場合、ズームレバーを動かすと、操作前と一番近い焦点距
   離に切り換わります。他の焦点距離に切り換えるには、いったんズームレバーをはなしてください。
- 電子ズームを使うときは、[ズームメモリー]を [しない] に設定してください。



148

#### \_\_\_\_\_ 撮影メニュー(**P、S、A、M**モード)

S メニューを使う

# 起動ポジション設定

撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン → 起動ポジション設定 → ®ボタン

電源をONにしたときのズーム位置(35mm判換算の焦点距離/撮影画角)を設定します。

[24 mm](初期設定)、[28 mm]、[35 mm]、[50 mm]、[85 mm]、[105 mm] または [135 mm]に設定できます。

#### Mモード露出反映表示

撮影モードダイヤルをP、S、A、M、Uに合わせる → MENUボタン → P、S、A、M、Uメニューアイコン → Mモード露出反映表示 → ®ボタン

M(マニュアル露出)モードで露出を変えたときに、撮影画面にも明るさを反映 するかどうかを設定します。

項目	内容
する	撮影画面に明るさを反映します。
しない(初期設定)	撮影画面に明るさを反映しません。





# 動画メニュー

# 動画設定

# 撮影画面にする → MENUボタン → <br/> ▼メニューアイコン → 動画設定<br/> → ® ボタン

撮影する動画の種類を選びます。通常速度の動画と、再生するとスローモーショ ンや早送りになるHS(ハイスピード)動画(□151)があります。選べる項目は、 [フレームレート設定]によって異なります(□155)。

動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします(□202)。

#### 通常速度の動画

項目 L	(画像サイズ/フレーム レート、記録方式)	画像サイズ	アスペクト比 (横:縦)	最長撮影時間
2160 60 2 2160 60 2	2160/30p(4K UHD) 2160/25p(4K UHD)	3840×2160	16:9	約7分
1080 go 1 1080 go 1 1080 go 1 (	080/30p 080/25p 初期設定)	1920×1080	16:9	約26分
1080 m 1 1080 m 1	080/60p 080/50p	1920×1080	16:9	約13分
720 E0 7	720/30p 720/25p	1280×720	16:9	約29分
720 m 7	720/60p 720/50p	1280×720	16:9	約28分



150

S メニューを使う

動画メニュー

#### HS動画

撮影した動画を再生すると、スローモーションや早送りになります。

→「スローモーション再生と早送り再生について」(□152)

	項目	画像サイズ アスペクト比 (横:縦)	内容
480 izo 480 izo	HS 480/4 倍	640×480 4:3	1/4 の速度のスローモーション動画です。 ・ 最長撮影時間:7分15秒(再生時間:29 分)
720 50 720 50	HS 720/2 倍	1280×720 16:9	1/2 の速度のスローモーション動画です。 • 最長撮影時間:14分 30秒(再生時間: 29分)
1080 15 1080 15	HS 1080/0.5 倍	1920×1080 16:9	<ul> <li>2倍の速度の早送り動画です。</li> <li>最長撮影時間:29分(再生時間:14分 30秒)</li> </ul>

# ▶ HS動画についてのご注意

• 音声は記録されません。

• ズーム位置、ピント、露出、ホワイトバランスは、撮影開始時に固定されます。





#### スローモーション再生と早送り再生について 通常速度で撮影した場合:

撮影時間	10秒
再生時間	10秒

#### 100m [HS 480/4 倍] または 100m [HS 480/4 倍] で撮影した場合:

通常速度の4倍のハイスピードで撮影します。 再生時は、4倍の時間をかけてスローモーションで再生します。



#### 1000 [HS 1080/0.5 倍]または1000 [HS 1080/0.5 倍]で撮影した場合:

通常速度の	)1/2のスピードで撮影します。
再生時は、	2倍の速さで早送り再生します。

撮影時間		10秒
再生時間	5秒	
ļ	■▶ 呈送り重生	



# S メニューを使う

動画メニュー

#### 撮影画面にする $\rightarrow$ MENUボタン $\rightarrow$ $\mathbb{R}$ メニューアイコン $\rightarrow$ AFモード $\rightarrow$ ® ボタン

動画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	動画撮影開始時にピントを固定します。 撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適して います。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピ ントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音 が気になるときは、[シングルAF] での撮影をおすすめしま す。

### ✔ AFモードについてのご注意

• スーパーラプス動画のときは、[シングルAF] に固定されます。

• [動画設定] をHS動画に設定したときは、[シングルAF] に固定されます。

• この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります(□280)。



# 電子手ブレ補正

撮影画面にする → MENU ボタン → <br/>
・<br/>
果メニューアイコン → 電子手ブレ補正<br/>
→ <br/>
・<br/>
メニューアイコン → 電子手ブレ補正

動画撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定します。

項目	内容
する (初期設定)	電子手ブレ補正を行います。 • 画角(写る範囲)は狭くなります。 • セットアップメニューの [ <b>手ブレ補正</b> ](□167)を [NORMAL] または [ACTIVE] に設定している場合は、 光学式手ブレ補正も同時に行われます。
しない	電子手ブレ補正を行いません。

#### ▶ 電子手ブレ補正についてのご注意

- スーパーラプス動画のときは、[する] に固定されます。
- [動画設定] を [2160/30p]、[2160/25p]、またはHS動画に設定したときは、[しない] に固定されます。

# 風切り音低減

撮影画面にする → MENUボタン → 「栗メニューアイコン → 風切り音低減 → ®ボタン

項目	内容
する	動画撮影時にマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録しま す。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがあ ります。
しない (初期設定)	風切り音を低減しません。



154

🕤 メニューを使う

撮影画面にする → MENUボタン → 「栗メニューアイコン → ズームマイク → ® ボタン

項目	内容
する (初期設定)	画角(写る範囲)に応じて、広角側では広い範囲、望遠側で は狭い範囲の音を録音します。
しない	ズームマイクを無効にします。

# フレームレート設定

撮影画面にする → MENUボタン → ・ **果**メニューアイコン → フレームレート設定 → ® ボタン

動画撮影時のフレームレートを選びます。フレームレートの設定を切り換えると、 [動画設定] (□150) で選べる項目が変わります。

項目	内容
30 fps (30p/60p)	NTSC方式のテレビで再生するのに適しています。
25 fps (25p/50p)	PAL方式のテレビで再生するのに適しています。



S メニューを使う

動画メニュー

# 再生メニュー

画像編集機能については、「画像の編集(静止画)」(□88)をご覧ください。

# 送信画像の指定

▶ボタンを押す(再生モード)→MENUボタン→送信画像の指定→∞ボタン

カメラ内の静止画を選んで、SnapBridgeアプリで無線接続したスマートフォンに 送信します。

画像選択の画面(□118)で、送信画像の指定または解除をします。

- 取り込む画像サイズは2Mサイズに制限されます。オリジナルサイズで静止画を 取り込むには、SnapBridgeアプリの[画像取り込み]をお使いください。
- RAW画像および動画は指定できません。動画をスマートフォンに取り込むには、 SnapBridgeアプリの [画像取り込み] をお使いください。
- セットアップメニューの [設定クリアー] (□176) または通信メニューの [設定の初期化] (□161) を実行すると、送信画像の指定は解除されますので、ご注意ください。



再生メニュー

# スライドショー

▶ボタンを押す(再生モード)→ MENUボタン→ スライドショー→ ®ボタン

画像を1コマずつ順番に自動再生します。動画は1フレーム目だけを表示します。

1 マルチセレクターの▲▼で [開始] を選 び、®ボタンを押す

- スライドショーが始まります。
- ・ [開始]を選ぶ前に [インターバル設定]を選び∞
   ボタンを押すと、画像の表示時間を変更できます。
- 繰り返し再生するには、「開始」を選ぶ前に「エンドレス」を選んで®ボタンを押します。



 スライドショーの連続再生時間は、[エンドレス]に設定している場合も含め、最 大約30分です。

# 2 終了または再開する

再生終了後や一時停止中は、右の画面になります。
 終了するには、■を選び®ボタンを押します。
 再開するには、■を選び®ボタンを押します。



### 再生中の操作

- マルチセレクターの◀▶でコマ送りします。押し続けると早送りします。
- 一時停止または途中で終了したいときは、∞ボタンを押します。





# プロテクト設定

▶ボタンを押す(再生モード) → MENUボタン → プロテクト設定 → ® ボタン

大切な画像を誤って削除しないように保護します。

画像選択の画面(□118)で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。 メモリーカードを初期化(フォーマット、□170)すると、プロテクト設定した 画像も削除されますので、ご注意ください。

# 画像回転

▶ボタンを押す(再生モード)→ MENUボタン→ 画像回転→ ∞ボタン

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き(縦横位置)を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。

撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方向に 180度まで回転できます。

画像選択の画面(□118)で回転する画像を選ぶと、画像回転の画面が表示されます。マルチセレクターの◀▶または回転で、90度回転します。



●ボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。



158



再生メニュー

# 連写グループ表示方法

▶ ボタンを押す(再生モード) → MENU ボタン → 連写グループ表示方法 → ∞ ボタン

連写グループ(□87)の再生時の表示方法を設定します。

項目	内容
1枚ずつ	連写した画像を、常に1コマずつ表示します。再生画面で 墬が表示されます。
代表画像のみ(初期設定)	連写した画像を代表画像で表示します。

設定内容は、すべての連写グループに反映され、電源をOFFにしても記憶されます。

# 連写の代表画像選択

▶ ボタンを押す(再生モード)→代表画像を変更したい連写グループを表示する→MENUボタン→連写の代表画像選択→®ボタン

連写グループの代表画像をグループ内の他の画像に変更します。

• 代表画像の選択画面が表示されたら、画像を選びます(□118)。





再生メニュー

#### MENUボタンを押す → Ŵメニューアイコン → ® ボタン

カメラとスマートフォンを接続するため無線ネットワーク情報を設定します。

 無線接続中は設定を変更できない項目があります。変更するときは、無線接続 を一時停止してください。

項目		内容
機内モード		[ <b>する</b> ] にすると、すべての無線通信をOFFにします。
スマートフォ	ンと接続	SnapBridgeアプリを使用して、カメラとスマートフォンを 接続するときに選びます(口30)。
撮影時画像送信		画像をスマートフォンへ自動送信する条件を設定します。 • 取り込む画像サイズは 2M サイズに制限されます。オリ ジナルサイズで静止画を取り込むには、SnapBridge アプ りの〔 <b>画像取り込み</b> 〕をお使いください。
Wi-Fi	接続設定	SSID*:SSIDを変更できます。英数字の1~32桁で設定します。
		認証/暗号:スマートフォンと接続するときに、通信信号を 暗号化するかどうかを設定します。 [ <b>OPEN</b> ] のときは、暗号化しません。
		パスワード <sup>※</sup> :パスワードを設定します。英数字の8~36桁 で設定します。
		チャンネル:無線接続で使用するチャンネルを設定します。
		サブネットマスク : 通常は初期設定([ <b>255.255.255.0</b> ])の ままお使いください。
		DHCPサーバーIPアドレス:通常は初期設定([192.168.0.10]) のままお使いください。
	現在の設定	現在の設定を一覧表示します。



項	E	内容
	通信機能	[ <b>無効</b> ] にすると、Bluetoothの通信をOFFにします。
Bluetooth	ペアリング 済み機器	接続するスマートフォンの切り換えや、接続済みスマート フォンの削除をします。 このカメラは接続するスマートフォンを最大5台登録でき ます。ただし一度に接続できるのは1台のみです。
	電源オフ中 の通信	カメラが電源OFFのときや待機状態(口23)のときに、ス マートフォンと通信をするかどうか設定します。
設定の初期化		通信メニューのすべての設定を初期化します。

※ 英数字の入力方法は「文字入力画面の操作方法」(□161)をご覧ください。

# 文字入力画面の操作方法

- マルチセレクターの▲▼◀▶でキーボードの英数 字を選択します。®ボタンを押すと、選択した英 数字が文字列に追加されカーソルが次の桁に移動 します。
- 文字列のカーソル位置を移動するには、キーボードの←または→を選んで®ボタンを押します。
- 1文字削除するには、 面ボタンを押します。
- ・ 設定を確定するには、キーボードの↓を選んで

   ・ボタンを押します。



キーボード





# セットアップメニュー

# 地域と日時

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 地域と日時 → ® ボタン

内蔵時計の日時を設定します。

項目	内容
スマートフォンと同期	[ <b>する</b> ]を選ぶと、日時設定をスマートフォンと同期します。 SnapBridgeアプリの日時同期機能を有効にしてください。
日時の設定	[スマートフォンと同期] を [しない] にした場合に日時を 設定します。 ・ 項目を選ぶ:マルチセレク ターの ◀▶を押します。 ・ 日時を合わせる: ▲▼を押 します。マルチセレクター またはコマンドダイヤル を回しても変更できます。 ・ 設定を完了する: [分] を 選び、⑩ ボタンまたは ▶ を押します。
日付の表示順	[ <b>年/月/日</b> ]、[ <b>月/日/年</b> ]、[日/月/年]から選びます。
タイムゾーン	タイムゾーン(地域)や夏時間(サマータイム)を設定します。 • 自宅(♠)を設定してから、訪問先(♠)のタイムゾーン を設定すると、時差を自動計算し、撮影日時を訪問先の時 間で記録できます。



ら メニューを使う

セットアップメニュー

タイムゾーンの設定方法

マルチセレクターの▲▼で [タイムゾーン]を選び、®ボタンを押す



• 自宅か訪問先の日時に切り換わります。









### 4 ◀▶でタイムゾーンを選ぶ

- ▲を押すと夏時間(サマータイム)になり、%が 表示されます。解除するには、▼を押します。
- ・ GMボタンを押して、タイムゾーンを決定します。
- 自宅または訪問先のタイムゾーンの設定では、正しい時刻が表示されないときは、[日時の設定]で 合わせてください。







セットアップメニュー

# カードなし時レリーズ

MENUボタンを押す→ ¥メニューアイコン →カードなし時レリーズ → ®ボ タン

カメラにメモリーカードを入れなくてもシャッターがきれる設定にできます。

項目	内容
レリーズ禁止 (初期設定)	メモリーカードを入れないと、シャッターはきれません。
レリーズ許可	メモリーカードを入れていないときでも、シャッターがきれま す。ただし、メモリーカードが入っていないときに撮影した画 像は、画面に表示されますが、画像上に[デモモード]と表示 され、プリントやメモリーカードへの保存はできません。



セットアップメニュー



MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → モニター設定 → ® ボタン

項目	内容
撮影後の画像 表示	撮影直後に、撮影した画像を表示するかどうかを設定します。 • 初期設定: [する]
モニターの 調整	<ul> <li>画像モニターの明るさと色合いを調節します。</li> <li>マルチセレクターの▲▼で明るさを、▲ ▶ で色合いを調節し、 ∞ を押します。</li> <li>初期設定:明るさ [3]、色合い [0]</li> <li>電子ビューファインダーの使用中は設定できません。</li> </ul>
EVFの調整	電子ビューファインダーの明るさと色合いを調節します。 • マルチセレクターの ▲▼ で明るさを、◀ ▶ で色合いを調節し、 を押します。 • 初期設定:明るさ [2]、色合い [0] • 画像モニターの使用中は設定できません。
格子線表示※	撮影画面に構図を決めるための格子状のガイドを表示するかどうか を設定します。 • 初期設定: [しない] • 動画撮影中、MF(マニュアルフォーカス)の中央拡大表示中は、 格子線が表示されません。
ヒストグラム 表示 <sup>*</sup>	撮影画面に画像の明るさの分布を表すグラフ(囗10、70)を表示す るかどうかを設定します。 • 初期設定:[しない] • 以下の撮影モードでのみ表示できます。 - P、S、A、M モード([AF エリア選択]が[マニュアル(ス ポット)]、[マニュアル(標準)]または[マニュアル(ワイド)]時) - シーンモード([かんたんパノラマ]を除く) • 動画撮影中、MF(マニュアルフォーカス)の設定中は、ヒストグ ラムは表示されません。

※ [する] に設定して DISP (表示切り換え) ボタンを押すと、表示 / 非表示が切り換わります (□7)。



セットアップメニュー



# EVFの自動切り換え(電子ビューファインダーの自動 切り換え)

MENUボタンを押す→¥メニューアイコン→EVFの自動切り換え→®ボタン

項目	内容
する (初期設定)	電子ビューファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応し、画像モニターの表示が自動的に電子ビューファインダー の表示に切り換わります。
しない	電子ビューファインダーに顔を近づけても、電子ビューファイ ンダーの表示に切り換えません。

# 日付写し込み

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 日付写し込み → ® ボタン

撮影時に日付と時刻を画像に写し込んで記録します。



項目	内容
DATE 年・月・日	日付を写し込みます。
MEE 年・月・日・時刻	日付と時刻を写し込みます。
しない(初期設定)	日付、時刻のどちらも写し込みません。



166

5 メニューを使う

セットアップメニュー
### ▶ 日付写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日付と時刻を画像から消したり、撮影した後で日付と時刻を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日付と時刻を写し込めません。
  - シーンモードが [夜景] ([手持ち撮影] 時)、[夜景ポートレート] ([手持ち撮影]
     時)、[スポーツ]、[逆光] ([HDR] を [する] 設定時)、[かんたんパノラマ]、[ペット] ([連写] 設定時)、[島] ([連写] 設定時)、[比較明合成]
  - [画質] (□123) が [RAW]、[RAW+FINE] または [RAW+NORMAL]
  - [連写]の設定(□135)が[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]
  - 動画
  - 動画撮影中に記録した静止画
  - 動画再生中に切り出した静止画
- 画像サイズが小さいと、日付と時刻が読みにくいことがあります。

# 手ブレ補正

### MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 手ブレ補正 → ® ボタン

撮影時の手ブレ補正を設定します。

三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[しない] にしてください。

	項目	内容
(4)	NORMAL (初期設定)	望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時に起こりがちな 手ブレを補正します。また、流し撮りでは、カメラが流し撮りの 方向を自動的に検出し、手ブレによる揺れのみを補正します。 例えば、横方向に流し撮りするときには縦方向の手ブレだけが、 縦方向に流し撮りするときには横方向の手ブレだけが補正され ます。
(a) Act	ACTIVE	車上での撮影や足場の悪い状況での撮影など、比較的大きなブレ が起こりやすい撮影時に手ブレを補正します。
しない		補正をしません。

## ▶ 手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源を ON にした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、画面の画像が安定してから撮影してください。
- 撮影直後に画面の画像がずれて見えることがあります。
- 撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。



167

ら メニューを使う

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → AF補助光 → ®ボタン

項目	内容	
オート (初期設定)	暗い場所などでシャッターボタンを押すと、オートフォーカスの補助光が自動的に点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約4.0m、望遠側で約4.0mです。 • AF エリアの位置やシーンモードの種類によっては点灯しない場合があります。	
なし	AF補助光は点灯しません。	

## 電子ズーム

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 電子ズーム → のボタン

項目	内容
する (初期設定)	電子ズームが使えます。
しない	電子ズームは使えません。

## ▼ 電子ズームについてのご注意

- 以下のシーンモードでは、電子ズームを使えません。
- [夜景ポートレート]、[おまかせシーン]、[ポートレート]、[逆光]([HDR] 使用 時)、「かんたんパノラマ]、「ペット]、「タイムラブス動画]、「スーパーラブス動画]





168

S メニューを使う

# サイドズームレバー設定

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → サイドズームレバー設定 → ® ボタン

撮影時にサイドズームレバーを動かしたときの動作を設定します。

項目	内容		
ズームレバー (初期設定)	撮影時にサイドズームレバーで、ズーム操作ができます(口22)。		
MFレバー	フォーカスモードがMF(マニュアルフォーカス)のときに、サイ ドズームレバーでピント合わせができます(口68)。 • T方向に動かすと、遠くの被写体にピントが合います。 • W方向に動かすと、近くの被写体にピントが合います。		

# 操作音

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 操作音 → ® ボタン

項目	内容	
設定音	[あり](初期設定)にすると、操作時に設定音(電子音1回)、 焦音(電子音2回)および警告音(電子音3回)が鳴ります。 ・ シーンモードの [ペット] または [鳥] では鳴りません。	
シャッター音	[あり] (初期設定) にすると、シャッターをきったときに電子音が 鳴ります。 ・ 連写時([ <b>連写 H</b> ]、[ <b>連写 L</b> ] を除く) や動画撮影時、シーンモー ドの[かんたんパノラマ]、[ベット] または[ <b>鳥</b> ]では鳴りません。	



169

S メニューを使う

# オートパワーオフ

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → オートパワーオフ → ® ボタン

カメラが待機状態(口23)になるまでの時間を設定します。 [30 秒]、[1分](初期設定)、[5分]、[30分]から選べます。

### 🖉 オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態になるまでの時間は固定です。

メニュー表示中:3分(オートパワーオフを[30秒]または[1分]に設定した場合)
 ACアダプター接続中:30分

# カードの初期化(フォーマット)

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → カードの初期化 → ® ボタン

メモリーカードを初期化(フォーマット)します。

初期化すると、メモリーカード内のデータはすべて削除されます。削除したデー タは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに保存してく ださい。

表示された画面で[初期化する]を選びのボタンを押すと初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/メモリーカードカバーを開けたりしないでください。
- 無線接続中は選択できないことがあります。

# 言語/Language

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 言語/Language → ®ボタン

画面に表示する言語を設定します。



セットアップメニュー



パソコン接続充電

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → パソコン接続充電 → ® ボタン

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	<ul> <li>起動済みのパソコンに接続すると(□106)、パソコンからの電 力供給状態に応じて、カメラ内の電池を充電します。</li> <li>充電中は電源ランプがゆっくり点滅します。充電が完了する と、電源ランプが点滅から点灯に変わります。</li> </ul>
しない	パソコンに接続しても、カメラ内の電池を充電しません。

### ✔ パソコンで充電するときのご注意

- パソコンに接続するとカメラの電源がONになり、充電が始まります。カメラの電源を OFFにすると、充電は中止されます。
- 残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約5時間30分です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的に OFFになります。

### ▶ 電源ランプ(充電ランプ)が速く点滅したときは

充電できません。以下の可能性があります。

- ・ 充電可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃~35℃の室内で充電してください。
- USB ケーブルが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直すか、 電池を交換してください。
- パソコンが休止状態(スリープ状態)で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。
- パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。



ら メニューを使う

# 画像コメント

### MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 画像コメント → ® ボタン

あらかじめ登録したコメントを、撮影する画像に添付できます。

添付されたコメントは、SnapBridgeアプリを使ってスマートフォンに送信する画像に写し込めます。詳しくは、SnapBridgeアプリのオンラインヘルプをご覧ください。

添付されたコメントは、ViewNX-iのメタデータでも確認できます。

項目	内容		
コメント添付	[コメント入力] で登録したコメント を画像に添付します。 ・ [コメント添付]を選んで @ ボタン を押し、チェックボックスをオン [♥] にします。その後撮影した画 像にコメントが添付されます。	۵ ۳.	画像コンント 図 コメント添付 コメント入力 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
コメント入力	<ul> <li>36文字までの英数字でコメントを登録できます。</li> <li>[コメント入力]を選んで ▶ を押すと、入力画面が表示されます。</li> <li>入力方法は、「文字入力画面の操作方法」(□161)をご覧ください。</li> </ul>		



### **5** メニューを使う

# 著作権情報

### MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 著作権情報 → ® ボタン

あらかじめ登録した著作権情報を、撮影する画像に添付できます。

添付された著作権情報は、SnapBridgeアプリを使ってスマートフォンに送信する 画像に写し込めます。詳しくは、SnapBridgeアプリのオンラインヘルプをご覧く ださい。

添付された著作権情報は、ViewNX-iのメタデータでも確認できます。

項目	内容	
著作権情報添付	[撮影者入力] および [著作権者名 入力] で登録した著作権情報を画像 (ご添付します。 ・ [著作権情報添付]を選んで ◎ ボ タンを押し、チェックボックスを オン [✔] にします。その後撮 影した画像に著作権情報が添付 されます。	
撮影者入力	36文字までの英数字で撮影者名を登録できます。 ・ [撮影者入力] を選んで ▶ を押すと、入力画面が表示されます。 入力方法は、「文字入力画面の操作方法」(□161) をご覧くだ さい。	
著作権者名入力	54文字までの英数字で著作権者名を登録できます。 • [著作権者名入力] を選んで ▶ を押すと、入力画面が表示されま す。入力方法は、「文字入力画面の操作方法」(□161) をご覧 ください。	

### ▶ 著作権情報についてのご注意

- カメラを貸したり譲渡したりする場合は、撮影者名や著作権者名の違法な使用を防ぐため、[著作権情報添付]の設定を必ず解除してください。また、撮影者名と著作権者名は空欄にしてください。
- [著作権情報]の使用によって生じたトラブルや損害など、当社は一切責任を負いません。

### ✓ 著作権情報の表示について

SnapBridgeアプリでは、[撮影者入力] と[著作権者名入力] の両方を入力した場合、 著作権者名のみが画像に写し込まれます。



セットアップメニュー

### MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 位置情報 → ® ボタン

撮影画像に位置情報を記録するかどうか設定します。

項目	内容	
スマートフォン から取得	[ <b>する</b> ]を選ぶと撮影画像にスマートフォンの位置情報が記録され ます。SnapBridgeアプリの位置情報機能を有効にしてください。	
情報表示	取得した位置情報を表示します。 • 表示中は更新されません。更新するには、[情報表示] をやり直 してください。	

# Av/Tv操作切り換え

MENUボタンを押す→¥メニューアイコン→Av/Tv操作切り換え→®ボタン

P、S、A、M、Uモードで露出を設定するときの操作部の割り当てを切り換えます。

項目	内容
切り換えない (初期設定)	コマンドダイヤルでプログラムシフトまたはシャッタースピー ドを、マルチセレクターで絞り値を設定します。
操作を切り換える	マルチセレクターでプログラムシフトまたはシャッタースピー ドを、コマンドダイヤルで絞り値を設定します。



S メニューを使う

# 連番リセット

### MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 連番リセット → ®ボタン

[はい] を選ぶと、ファイル番号の連番(□196)をリセットします。リセット すると新しい記録フォルダーが作られ、次に撮影する画像の連番は、「0001」から 始まります。

### ▶ 連番リセットのご注意

フォルダー番号が999に達し、そのフォルダー内にファイルがあるときは、「連番リセット」ができません。メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期化(□170)してください。

### 🖉 記録フォルダーについて

このカメラで撮影した静止画および動画は、メモリーカード内のフォルダーに記録され ます。

- フォルダー名には、100から999までの連番がつきます(フォルダー名は、カメラでは表示できません)。
- 以下のときは、新しいフォルダーが作成されます。
  - フォルダー内のファイル数が999に達したとき
  - フォルダー内のファイル番号が9999に達したとき
  - [連番リセット] したとき
- インターバル撮影の場合、撮影のたびに新しいフォルダーが作成され、ファイル番号 0001から始まる一連の画像が保存されます。





MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → ピーキング → ® ボタン

項目	内容	
する (初期設定)	MF (マニュアルフォーカス) 時の画面で、ピントが合った箇所 を白色で強調して、ピント合わせを補助します(□168、69)。	
しない	ピーキングをしません。	

# 設定クリアー

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → 設定クリアー → ®ボタン

[はい]を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

- 通信メニューの設定も初期化します。
- 「地域と日時」、「言語/Language」など、一部の設定はリセットされません。撮 影モードダイヤルUに登録したユーザーセッティングの設定はリセットされま せん。[User Setting リセット](□59)でリセットしてください。
- 無線接続中は選択できないことがあります。

### 🖉 ファイル番号の連番をリセットする

メモリーカード内の画像をすべて削除してから[設定クリアー]を行うと、連番は「0001」 からにリセットされます。[連番リセット]でも「0001」からにリセットできます (Q175)。

## バージョン情報

MENUボタンを押す → ¥メニューアイコン → バージョン情報 → ® ボタン

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

• 無線接続中は選択できないことがあります。





資料

중 資料

無線通信機能についてのご注意	
取り扱い上のご注意	
カメラについて	
電池について	
本体充電 AC アダプターについて	
メモリーカードについて	
お手入れ方法	
クリーニングについて	
保管について	184
警告メッセージ	
故障かな?と思ったら	
記録データのファイル名	196
使用できるアクセサリー	197
主な仕様	198
使用できるメモリーカード	
索引	204
修理サービスのご案内	
ニコンプラザについて	



# 無線通信機能についてのご注意

#### ● 電波に係わるご注意

 本製品はWi-Fi (無線LAN) およびBluetooth機能を搭載しています。国や地域 によって、法律によりWi-FiおよびBluetooth機能が使用できない場合がありま す。ご購入された国以外での使用については、本書の裏表紙に記載のニコンカ スタマーサポートセンターへお問い合わせください。

#### ● セキュリティーについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
  - 情報の漏洩:悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードなどの 個人情報が漏洩する可能性があります。
  - 不正アクセス:悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なり すまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品に セキュリティーを設定したにもかかわらず、Wi-FiおよびBluetoothの仕様 上、特殊な方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理 解の上ご使用ください。データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責 任を負いません。
- スマートフォンやタブレットに使用権限のないネットワークが表示されても、 接続しないでください。接続すると、不正アクセスとみなされるおそれがあり ます。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

### ● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報 を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱い で変化、消失する場合があります。
   必要な内容は、お客様の責任において控えを必ずおとりください。
   当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損 害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー(□116)の[設定クリアー]で、初期化してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

### ●本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は米国輸出管理規則 Export Administration Regulations (EAR) を含む米 国法の対象です。EAR の輸出規制国(キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シ リア:変更される可能性があります)以外への輸出や持ち出しは、米国政府の許 可は不要です。

6 資料

● Wi-Fi (無線LAN) 機能/Bluetooth機能のご注意

2.4 DS1/OF1 



- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
  - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
  - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
    - ① 構内無線局(免許を要する無線局)
    - ② 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
  - アマチュア無線局(免許を要する無線局)

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、 通信の途絶が双方に生じることがあります。

- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
  - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
  - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiア クセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
  - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面に記載されているニコンカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV 機器、OA 機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
  - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
  - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

### ● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-FiおよびBluetooth機器としてお使いください。

Wi-FiおよびBluetooth機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任 を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi およびBluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機シス テムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をし てください。



# 取り扱い上のご注意

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vi~□ix)をお守りください。

# カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れ たり、無理な力を加えたりしないでください。

#### ●水にぬらさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理 不能になることがあります。

#### ● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所(寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合)にカメラ を持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビ ニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

#### ● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録デー タが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

#### ● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。 過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、そ の際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

# ● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。

#### ● 画像モニターについて

- ・ 画像モニター(電子ビューファインダー含む)は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯(白、赤、青、緑)あるいは非点灯(黒)の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 画像モニターは、日差しの強い屋外などで見えにくいことがあります。
- 画像モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、画像モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでけがをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、ロに入ったりしないようご注意ください。



180



# 電池について

#### 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0℃~40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに 使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

#### ● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。 ・ 周囲の温度が5℃~35℃の室内で充電してください。

- 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、
   性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなっているときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。
   このカメラを本体充電ACアダプターまたはパソコンに接続して充電する場合、電池
- の温度が0℃以下、50℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

#### ● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があ ります。

#### ● 低温時には残量の十分な電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメ ラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温 し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温 に戻ると使える場合があります。

#### ● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚 れは、乾いた布で拭き取ってください。



ら 資料

#### ● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返 すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電 してからお使いください。

- 保管について
- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 電池は、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- ・電池は、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃~25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

電池を十分に充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい 電池をお買い求めください。

● リサイクルについて



充電を繰り返して劣化し、使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイク ルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁して から、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

- 数字の有無と数値は電池に よって異なります。

# 本体充電ACアダプターについて

- ・本体充電ACアダプター EH-73Pに対応している機器以外で使わないでください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- EH-73P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器 は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-73Pは、家庭用電源のAC 100-240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、 必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグア ダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。





ら 資料

# メモリーカードについて

#### ●使用上のご注意

- メモリーカードは、SD/SDHC/SDXCメモリーカード以外は使えません(Q202)。
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

#### ● 初期化について

- メモリーカードをパソコンで初期化(フォーマット)しないでください。
- 他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメ ラで初期化してください。
   未使用のメモリーカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。
   初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- メモリーカードを入れた後にカメラに [このカードは初期化されていません。初期化しますか?]の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、[いいえ]を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。メモリーカードを初期化してよければ、[はい]を選んで®ボタンを押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、 データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。
  - 電池/メモリーカードカバーを開けて、メモリーカードや電池を脱着する
  - カメラの電源を OFFにする
  - ACアダプターを外す

**ら** 資料



# お手入れ方法

## クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

#### レンズ/電子ビューファインダー

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意くださ い。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋 や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央 から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬 いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取 れないときは、レンズクリーナー液(市販)で湿らせた柔らかい布で軽く拭い てください。

#### 画像モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾 いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、 硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

#### カメラボディー

- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂 や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

#### ご注意:カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になりま す。この場合、当社の保証の対象外になります。

## 保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。 また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月 に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。 カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- ・ 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺

電池の保管は、「取り扱い上のご注意」の「電池について」の「● 保管について」 (□182)をお守りください。



警告メッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。

表示	考えられる原因や対処法	Ĺ	p
電池が高温です。 電源をOFFにします。	電源が自動的にOFFになります。 温度が下がるまでし		
カメラが高温です。 電源をOFFにします。	ばらく放置してからお使いください。		
カードがロック されています。	メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」さ れています。「Lock」を解除してください。	-	
このカードは 使えません。	メモリーカードへのアクセス異常です。 ・ 動作確認済みのカードを使ってください。		
カードに異常があり ます。	<ul> <li>カートの端子部分か汚れていないか確認してください。</li> <li>カードが正しく挿入されているか確認してください。</li> </ul>	15、	202
このカードは初期化 されていません。 初期化しますか?	メモリーカードが、このカメラ用に初期化されていま せん。 初期化するとカード内のデータはすべて削除される ため、カード内に必要なデータが残っているときは、 [いいえ] を選び、初期化する前にパソコンなどに保 存してください。[はい] を選んで®ボタンを押すと、 メモリーカードを初期化できます。	15、	183
メモリー残量が ありません。	不要な画像を削除するか、メモリーカードを交換して ください。	15、	26
画像を保存できませ ん。	画像記録中にエラーが発生しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期 化してください。	15、	170
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期 化してください。	15、	170
この画像は編集でき ません。	編集可能な条件を確認してください。	88、	193
動画記録できませ ん。	メモリーカードに動画を記録するのに時間がかかっ ています。 画像記録処理の速いメモリーカードに交換してくだ さい。	202	
連番リセットできま せん。	記録フォルダー名の連番が上限に達したため、リセッ トできません。 メモリーカードを交換するか、メモリーカードを初期 化してください。	15、	170



185



警告メッセージ

表示	考えられる原因や対処法	
撮影画像がありませ ん。	画像が記録されているメモリーカードを入れてくだ さい。	15
このファイルは 表示できません。	このカメラ以外で作成または編集したファイルです。 このカメラでは再生できません。 ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生 してください。	-
表示できる 画像がありません。	<ul> <li>スライドショーなどで表示できる画像がありません。</li> <li>削除画像選択画面に表示できる画像がありません。</li> </ul>	-
このファイルは 削除できません。	画像にプロテクトがかかっています。 プロテクトを解除してください。	158
フラッシュを上げて ください。	<ul> <li>シーンモードの [おまかセシーン] 時は、フラッシュを閉じたままでも撮影できますが、フラッシュは発光しません。</li> <li>[夜景ボートレート] または [逆光] の [HDR] が [しない] 時は、フラッシュを閉じたままでは撮影 できません。</li> </ul>	42 41、44
レンズの動作不良です。 電源 <b>OFF</b> 後、再度実行 してください。	エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご 連絡ください。	188
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。 カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をや り直してください。	108
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。 電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源を ONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコ ンサービス機関までご連絡ください。	188
プリンターエラー: プリンターを確認 してください。	エラーの原因を取り除いた後、「 <b>継続</b> ]を選んで <b>®</b> ボ タンを押し、プリントを再開してください。 <sup>※</sup>	-
プリンターエラー: 用紙を確認してくだ さい。	指定したサイズの用紙をセットした後、[ <b>継続</b> ] を選 んで <b>∞</b> ボタンを押し、プリントを再開してくださ い。 <sup>※</sup>	-
プリンターエラー: 紙詰まりです。	詰まった用紙を取り除いた後、[ <b>継続</b> ]を選んで∞ボ タンを押し、プリントを再開してください。 <sup>※</sup>	-
プリンターエラー: 用紙がありません。	指定したサイズの用紙をセットした後、[ <b>継続</b> ] を選 んで <b>∞</b> ボタンを押し、プリントを再開してくださ い。 <sup>※</sup>	_
プリンターエラー: インクを確認してく ださい。	インクに異常があります。 インクを確認した後、[ <b>継続</b> ]を選んで <b>®</b> ボタンを押 し、プリントを再開してください。 <sup>※</sup>	_



警告メッセージ

表示	考えられる原因や対処法	Ш.
プリンターエラー: インクがありませ ん。	インクを交換した後、[ <b>継続</b> ] を選んで <b>®</b> ボタンを押 し、プリントを再開してください。 <sup>※</sup>	_
プリンターエラー: ファイルが異常で す。	プリントする画像ファイルに異常があります。 [ <b>キャンセル</b> ]を選んで <b>®</b> ボタンを押し、プリントを 中止してください。	_

※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。



警告メッセージ



# 故障かな?と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

### 電源・表示・設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
電源 <b>ON</b> の状態で、 カメラの操作がで きない	<ul> <li>・ 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。</li> <li>・ 操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。</li> <li>電源が OFF にならない場合は、電池を入れ直してください。</li> <li>AC アダプター使用時は付け直してください。</li> <li>- 記録中であったデータは保存されません。</li> <li>- 保存済みのデータは電池や AC アダプターの取り外しでは失われません。</li> </ul>	-
電源を <b>ON</b> にでき ない	電池残量がありません。	15、16、 181
カメラの電源が突 然切れる	<ul> <li>オートパワーオフ機能が働きました。</li> <li>低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。</li> <li>カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。</li> </ul>	23 181 -
画像モニター /電子 ビューファインダー に何も映らない	<ul> <li>電源が入っていません。</li> <li>電池残量がありません。</li> <li>オートパワーオフ機能が働きました。</li> <li>画像モニターと電子ビューファインダーは同時に点灯しません。画像モニターと電子ビューファインダーの切り換えに時間がかかることがあります。</li> <li>カメラがテレビまたはパソコンと接続されています。</li> <li>インターバル撮影中、シーンモードの[比較明合成] ([星軌跡] 設定時)撮影中またはタイムラブス動画撮影中です。</li> </ul>	18 21 23 - -
カメラの温度が高 くなる	動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場 所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることが ありますが、故障ではありません。	-



188



こんなときは	考えられる原因や対処法	m
カメラ内の電池を 充電できない	<ul> <li>ブラグの接続状態を確認してください。</li> <li>パソコンで充電するときは、以下の原因が考えられます。</li> <li>セットアップメニュー [パソコン接続充電] が [しない] になっています。</li> </ul>	16 116、171
	<ul> <li>カメラの電源をOFF にすると、電池の充電は中止 されます。</li> <li>カメラの表示言語と日時を設定していないとき や、時計用電池が切れて日時がリセットされたと きは充電できません。本体充電 AC アダプターで 充電してください。</li> </ul>	 18
	- パソコンが休止状態(スリーブ状態)になると、 充電が中止されることがあります。 - パソコンの仕様、設定または状態によっては、充 電できないことがあります。	_
画像モニターがよ く見えない	<ul> <li>周囲が明るすぎます。</li> <li>暗い場所に移動してください。</li> <li>電子ビューファインダーをお使いください。</li> <li>画面の明るさを調節してください。</li> </ul>	24 165
電子ビューファイ ンダーがよく見え ない	<ul> <li>ファインダーの視度を調節してください。</li> <li>  ・ 面面の明るさを調節してください。</li></ul>	24 165
画面で❷が点滅す る	<ul> <li>内蔵時計の日時を設定しないと、撮影画面で 図 が点滅し、静止画の撮影日時が [0000/00/00 00:00]、動での場影に時ば [2016/01/01 00:00] と記録されま</li> </ul>	
撮影日時が正しく 表示されない	<ul> <li>         (国) 毎次「2010010010010010010010010010000] と記録されなす。         セットアップメニュー「地域と日時)で日時を正しく設定してください。         ・         (内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。     </li> </ul>	9、162
撮影情報や画像情 報が表示されない	撮影情報、画像情報を非表示にしている可能性があり ます。情報が表示されるまで、 <b>DISP</b> ボタンを押してく ださい。	7
[ <b>日付写し込み</b> ]が 選べない	セットアップメニュー[ <b>地域と日時</b> ]が設定されてい ません。	116、162
[日付写し込み]を 有効にしたのに、 日付が写し込まれ	<ul> <li>日付を写し込めない撮影モードになっています。</li> <li>日付写し込みが制限される他の機能の設定がされています。</li> <li>動画には写し込みできません。</li> </ul>	38、167 80



189

6 資料

こんなときは	考えられる原因や対処法	[	ŋ
電源を入れると地 域と日時の設定画 面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。 カメラを再設定してください。 • カメラの時計や一部の設定の保持には、内蔵の時計 用電池が使われています。時計用電池はカメラに電 池を入れるか AC アダプター(別売)を接続すると 約 10 時間で充電され、カメラの電池を取り出して も数日間動作します。		
設定内容が初期状 態に戻ってしまっ た		_	
[ <b>連番リセット</b> ] が できない	連番リセットなどを行うと、メモリーカード内に新し い記録用フォルダーが作成されますが、フォルダー名 の連番(カメラでは表示できません)が上限(999)に 達するとリセットできません。メモリーカードを交換 するか、メモリーカードを初期化してください。	15、 175	170、
カメラから音がす る	[AFモード]の[常時AF]時や、選んだ撮影モードに よっては、オートフォーカスの動作音が聞こえること があります。	38、 153	144、

## 撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	ш
撮影モードにでき ない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	106
撮影できない	<ul> <li>再生モードになっているときは、 ■ ボタン、シャッターボタンまたは ●(*果)ボタンを押してください。</li> <li>メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。</li> <li>シーンモードが [夜景ボートレート] または [逆光] の [HDR] が [しない] のときは、フラッシュをボップアップさせてください。</li> <li>𝔅 の点滅中は、フラッシュの充電中です。</li> <li>本体充電 AC アダプターに接続中は動画を撮影できません。</li> <li>電池残量がありません。</li> <li>残量のあるメモリーカードを入れてください。</li> </ul>	2、25 117 23、41、44 61 16 16、181



190



こんなときは	考えられる原因や対処法	m
ピントが合わない	<ul> <li>・ 被写体との距離が近すぎます。シーンモードの【おまかセシーン】、「クローズアップ】、またはフォーカスモードのマクロ AF での撮影をお試しください。</li> <li>・ フォーカスモードの設定が合っていません。設定を確認または変更してください。</li> <li>・ オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。</li> <li>・ セットアップメニュー【AF 補助光】を【オート】にしてください。</li> <li>・ シャッターボタンを半押ししたときに、被写体が AFエリア内に入っていません。</li> </ul>	38, 42, 43, 60, 67 66 76 116, 168 22, 141
	<ul> <li>フォーカスビードがMF(マニュアルフォーカス)に なっています。</li> <li>電源を入れ直してください。</li> </ul>	-
撮影時の画面に色 の付いた縞模様が 発生する	同じパターンを繰り返す被写体(窓のブラインドなど) に色の付いた縞模様(干渉編、モアレ)が現れること がありますが、故障ではありません。 記録される画像、動画にこの現象は残りません。ただ し、[高速連写 120 fps] と [HS 480/4 倍]では、記 録される画像、動画にこの現象が残ることがあります。	-
画像がぶれる	<ul> <li>フラッシュを使ってください。</li> <li>手ブレ補正機能を使ってください。</li> <li>三脚などでカメラを安定させてください(セルフタ イマーを併用すると、より効果的です)。</li> </ul>	23、61 154、167 64
フラッシュ撮影時 に、画像に白い点 が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り 込んでいます。フラッシュを閉じてください。	23、61
フラッシュが発光 しない	<ul> <li>フラッシュが発光しない撮影モードです。</li> <li>フラッシュが制限される他の機能の設定がされています。</li> </ul>	78 80
電子ズームが使え ない	<ul> <li>セットアップメニュー [電子ズーム] が [しない] になっています。</li> <li>撮影モードや他の機能の設定によっては電子ズーム を使えません。</li> </ul>	116、168 83、168
[ <b>画像サイズ</b> ]が選 べない	<ul> <li>「画像サイズ」が制限される他の機能の設定がされています。</li> <li>シーンモードが [かんたんパノラマ]のときは、画像サイズが固定されます。</li> </ul>	80 49
シャッター音が鳴 らない	セットアップメニュー [ <b>操作音</b> ] の [ <b>シャッター音</b> ] が [ <b>なし</b> ] になっています。[ <b>あり</b> ] にしていても、撮影 モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。	80、116、 169
<b>AF</b> 補助光が点灯 しない	セットアップメニュー[ <b>AF補助光</b> ]が[ <b>なし</b> ]になっ ています。[ <b>オート</b> ]に設定していても、AFエリアの 位置やシーンモードによっては点灯しない場合があり ます。	116、168





こんなときは	考えられる原因や対処法	m
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	184
画像の色合いが不 自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていま せん。	44、131
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなって いるか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。	23、61 139
多重露出時に画像 に白い点が発生す る	多重露出時にシャッタースピードが遅い場合、記録し た画像にノイズ(白い点)が目立つことがあります。	_
画像が暗すぎる (露出アンダー)	<ul> <li>フラッシュが指などでさえぎられています。</li> <li>被写体にフラッシュの光が届いていません。</li> <li>露出を補正してください。</li> <li>ISO感度を上げてください。</li> <li>逆光で撮影しています。フラッシュを使うか、シーンモードの[逆光]での撮影をお試しください。</li> </ul>	21 199 70 139 23、44
画像が明るすぎる (露出オーバー)	露出を補正してください。	70
赤目以外の部分が 補正された	[夜景ボートレート] 以外の撮影モードで、フラッシュ モードを\$●(赤目軽減自動発光/赤目軽減発光)以外 にして撮影してください。	61、78
美肌の効果が得ら れない	<ul> <li>撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られない ことがあります。</li> <li>4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー [美肌] をお試しください。</li> </ul>	48 90、116
画像の記録に時間 がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 ・ ノイズ低減機能が作動したとき ・ フラッシュを (金)(赤目軽減自動発光/赤目軽減発光) にして撮影したとき ・ 以下のシーンモードで撮影したとき - [夜景] の [手持ち撮影] - [風景]、[クローズアップ] の [連写 NR 撮影] - [沙光] の [HDR] が [する] - [かんたんパンラマ] ・ 撮影メニュー [連写] が [高速連写 120 fps] また は [高速運写 60 fps] のとき ・ 笑顔自動シャッターで撮影したとき ・ アクラィブ D- ライティング機能で撮影したとき ・ 多重露出機能で撮影したとき ・ [面質] が [RAW]、[RAW+FINE] または [RAW+NORMAL] のとき ・ [動画設定] が [2160/30p] または [2160/25p] で 動画撮影中に静止画を撮影したとき	- 62 41 42、43 44 49 116、135 65 145 146 123 98



故障かな?と思ったら

こんなときは	考えられる原因や対処法	- III
画面や撮影画像に リング状の帯や虹 色の縞模様が見え る	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にあ る撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様(ゴースト) などが写し込まれることがあります。 光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影 をお試しください。	_
設定が選べない/ 選んだ設定が有効 にならない	<ul> <li>撮影モードによっては、選べない項目があります。 選べないメニューはグレーで表示されます。</li> <li>選んだ機能が制限される他の機能の設定がされています。</li> </ul>	_

## 再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	Ē
再生できない	<ul> <li>このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。</li> <li>このカメラ以外で記録した RAW 画像、または動画は再生できません。</li> <li>パンコンで加工したデータは、再生できないことがあります。</li> <li>インターバル撮影中は再生できません。</li> </ul>	  135
画像の拡大表示が できない	<ul> <li>動画は拡大表示できません。</li> <li>このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。</li> <li>画像サイズの小さい画像は、画面の倍率表示と画像の拡大率が一致しないことがあります。</li> </ul>	_
画像編集ができな い	<ul> <li>画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。</li> <li>メモリーカードに空き容量がありません。</li> <li>このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。</li> <li>動画は、画像編集できません。</li> </ul>	51、88、 124  
画像を回転できな い	このカメラ以外で撮影した画像は回転できません。	-





## 外部機器関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	Ш Ш
スマートフォンと 無線接続できない <sup>※</sup>	<ul> <li>はじめて無線接続するときは、「スマートフォンとの 接続(SnapBridge)」をご覧ください。</li> <li>「接続がうまくいかないときは」もご覧ください。</li> <li>「接続が高みの場合、以下の操作をしてください。</li> <li>カメラの電源を入れ直してください。</li> <li>- の度接続を解除してから再度接続してください。</li> <li>- 「護先を解除してから再度接続してください。</li> <li>「機内モード」を[しない]にしてください。</li> <li>- [Bluetooth] → [通信機能] を「有効]にしてく 「してく     </li> </ul>	28 33 36 - 36 160
	<ul> <li>カメラの接続先に、2 台以上のスマートフォンを登録した場合、カメラの [通信メニュー] → [Bluetooth]</li> <li>「ペアリング済み機器] で、接続したいスマートフォンを選んでください。</li> <li>SnapBridgeアブリの接続先に2台以上のカメラを登録したときは、アブリ側で接続先を切り換えてください。</li> <li>十分に残量のある電池をお使いください。</li> <li>・十分に残量のある電池をお使いください。</li> <li>・ 十分に残量のある電池をお使いください。</li> <li>・ 十分に残量のある電池をお使いください。</li> <li>・ 十分に残量のある電池をお使いください。</li> <li>・ 十分に残量のある電池をお使いください。</li> <li>・ 十分に残量のある電池をお使いください。</li> <li>・ 十分に残量のある電池をお使いください。</li> <li>・ 日のMケーブルまたはUSBケーブルを外してください。</li> <li>・ 日のMケーブルまたはUSBケーブルを外してください。</li> <li>・ SnapBridge アブリの (クブ → [自動連携]を ON にしてください。OFF の場合、[画像取り込み] および [Jモート撮影] は使えます が、画像の自動送信はできません。</li> </ul>	- 15 106 -
SnapBridge アブリ で無線接続中のス マートフォンに画 像を送信できない <sup>※</sup>	<ul> <li>・ 自動送信するときは、以下の操作をしてください。</li> <li>・ カメラの「通信メニュー」→「撮影時画像送信」→ [静止画]を [する] にしてください。</li> <li>- SnapBridge アブリの △ タブ → [自動連携設定]         <ul> <li>→ [自動連携]を ON にしてください。</li> <li>- SnapBridge アブリの △ タブ → [自動連携設定]             <ul></ul></li></ul></li></ul>	160  161 15  36
	<ul> <li>「画像がうまく送信できないときは」もご覧ください。</li> </ul>	36



194

5 資料

こんなときは	考えられる原因や対処法	Ш Ш
SnapBridge アプ リで無線接続中の スマートフォンか らリモート撮影が できない <sup>※</sup>	<ul> <li>カメラにメモリーカードが入っていないときは、リ モート撮影はできません。メモリーカードを入れて ください。</li> <li>カメラの操作中は、リモート撮影が使えないことが あります。</li> <li>カメラの状態によっては、リモート撮影が使えない ことがあります。</li> </ul>	35  36
SnapBridge アプ リで、静止画をオ リジナルサイズで 送信できない <sup>※</sup>	カメラの [ <b>撮影時画像送信</b> ] および [ <b>送信画像の指定</b> ] で は、取り込む画像サイズは2Mサイズに制限されます。オ リジナルサイズで静止画を取り込むには、SnapBridgeア プリの [ <b>画像取り込み</b> ] をお使いください。	_
接続中のスマート フォンやパソコン に、カメラ内の画 像が表示されない	カメラ内のメモリーカードに保存された画像などが 10,000個を超えると、それ以降に撮影した画像は、接 続した機器に表示されないことがあります。 ・メモリーカード内の画像数を減らしてください。必 要な画像はパソコンなどに保存してください。	_
画像がテレビに映 らない	<ul> <li>パソコンまたはプリンターがカメラに接続されています。</li> <li>メモリーカードに画像が記録されていません。</li> </ul>	_
カメラをパソコン に 接 続 し て も、 Nikon Transfer 2 が自動起動しない	<ul> <li>カメラの電源が OFF になっています。</li> <li>電池残量がありません。</li> <li>USB ケーブルが正しく接続されていません。</li> <li>パソコンにカメラが正しく認識されていません。</li> <li>Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX-iのヘルプをご参照ください。</li> </ul>	_ 106、171 106、112 _ _
カメラをプリン ターに接続して も、 <b>PictBridge</b> 画 面が表示されない	PictBridge対応プリンターの種類によっては、セット アップメニュー [ <b>パソコン接続充電</b> ]を[ <b>オート</b> ]に 設定していると、PictBridge画面が表示されず、プリ ントできない場合があります。[ <b>パソコン接続充電</b> ]を [ <b>しない</b> ]にしてプリンターに接続し直してください。	116、171
プリントする画像 が表示されない	メモリーカードに画像が記録されていません。	_
カメラ側で用紙設 定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラ で「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サ イズを設定してください。 ・カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応 していません。 ・自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使って います。	-

※「スマートフォンとの接続(SnapBridge)」(□28)、およびSnapBridgeアプリのオ ンラインヘルプもあわせてご覧ください。



195



# 記録データのファイル名

このカメラで撮影した静止画および動画には、以下のようにファイル名が付けら れます。

#### ファイル名: DSCN0001.JPG

1 2 3

①識別子	カメラの画面には表示されません。 ・ DSCN: 編集していない静止画、動画、動画編集で作成した静止画 ・ SSCN:スモールピクチャー画像 ・ RSCN:トリミング画像 ・ FSCN:トリミングとスモールピクチャー以外の画像編集で作成 した画像、動画編集で作成した動画	
②ファイル番号	0001から9999までの連番で付けられます。 ・ インターバル撮影の場合、撮影のたびに新しいフォルダーが作成 され、ファイル番号 0001から始まる一連の画像が保存されます。	
③拡張子	ファイルの種類を示します。 • JPG : JPEG 静止画 • .NRW : RAW 静止画 • .MP4 : 動画	



[画質](□123)の設定を [RAW+FINE] または [RAW+NORMAL] にして撮影した 場合、同時に記録したRAW画像とJPEG画像は、同じ識別子とファイル番号になります。 画像は同じフォルダーに保存され、ファイル数は同時記録したRAW画像とJPEG画像を 合わせて1ファイルとカウントされます。



記録データのファイル名

# 使用できるアクセサリー



# \*\*1 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いくださ

- \*\* 日本国外では、必要に応じて市販の変換フラクアダフターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い 求めください。
- ※2 日本国内専用電源コード(AC 100 V 対応)付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。 また、オンラインショップ(ニコンダイレクト) http://shop.nikon-image.com/でもお求めいただけます。

国または地域によって、販売していない場合があります。 アクセサリーの最新情報は、当社ウェブサイトやカタログなどでご確認ください。



使用できるアクセサリー



# 主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX B700

푗	!式	コンパクトデジタルカメラ	
有	<b>河</b> 画素数	2029万画素(画像処理で減少することがあります)	
搧	像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数2114万画素	
ν	ッンズ	光学60倍ズーム、NIKKORレンズ	
	焦点距離	4.3-258 mm (35mm判換算24-1440 mm相当の撮影画角)	
	開放F値	f/3.3-6.5	
	レンズ構成	11群16枚(EDレンズ4枚、スーパー EDレンズ1枚)	
電	子ズーム倍率	最大4倍(35mm判換算で約5760mm相当の撮影画角) 動画設定が [2160/30p] または [2160/25p] のときは 最大2倍(35mm判換算で約2880mm相当の撮影画角)	
₹	ジレ補正機能	レンズシフト方式(静止画) レンズシフト方式と電子式の併用(動画)	
オ	ートフォーカス	コントラスト検出方式	
	撮影距離範囲	<ul> <li>・ 先端レンズ面中央から約 50 cm ~∞ (広角側)、約 2.0 m ~∞ (望遠側)</li> <li>・ マクロ AF 時は先端レンズ面中央から約 1 cm ~∞ (広角側)</li> </ul>	
	AFエリア	ターゲットファインドAF、顔認識オート、マニュアル (スポット)、マニュアル (標準)、マニュアル (ワイド)、 ターゲット追尾	
ファインダー		電子ビューファインダー、0.2型液晶、約92万ドット、視 度調節機能付き (-3~+1 m <sup>-1</sup> )	
	視野率(撮影時)	上下左右とも約100%(対実画面)	
	視野率(再生時)	上下左右とも約100%(対実画面)	
画像モニター		広視野角3型TFT液晶モニター、反射防止コート付き、約 92万ドット(RGBW)、輝度調節機能付き(6段階) バリアングル方式	
	視野率(撮影時)	上下左右とも約100%(対実画面)	
	視野率(再生時)	上下左右とも約100%(対実画面)	





記録方式	
記録媒体	SD/SDHC/SDXC メモリーカード
対応規格	DCF、Exif 2.3準拠
ファイル形式	静止画:JPEG、RAW (NRW) (ニコン独自フォーマット) 動画:MP4 (映像:H.264/MPEG-4 AVC、音声:AACス テレオ)
記録画素数 (画像サイズ)	<ul> <li>20 M [5184×3888]</li> <li>8 M [3264×2448]</li> <li>4 M [2272×1704]</li> <li>2 M [1600×1200]</li> <li>16:9 15M [5184×2920]</li> <li>3:2 18M [5184×3456]</li> <li>1:1 15M [3888×3888]</li> </ul>
ISO感度(標準出力感度)	<ul> <li>ISO 100 ~ 1600</li> <li>ISO 3200 (P、S、A、Mモード時に設定可能)</li> </ul>
露出	
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、スポット測光
露出制御	プログラムオート(プログラムシフト可能)、シャッター 優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、AEブラ ケティング可能、露出補正(±2段の範囲で1/3段刻み) 可能
シャッター方式	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
シャッタースピード	<ul> <li>• 1/4000<sup>※</sup> ~ 1 秒</li> <li>• 1/4000<sup>※</sup> ~ 15 秒 (M モードで ISO 100 時)</li> <li>• 25 秒 (シーンモードの [比較明合成] の [星軌跡])</li> <li>※ 広角側、f/7.6時</li> </ul>
絞り	電磁駆動による6枚羽根虹彩絞り
制御段数	8(1/3 EVステップ)(広角側)( <b>A、M</b> モード)
セルフタイマー	10秒、2秒
フラッシュ	
調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約0.5~7.0 m(広角側) 約1.5~3.4 m(望遠側)
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
調光補正	範囲-2~+2段、補正ステップ 1/3ステップ





外部	インターフェース	
		Micro-USB端子(付属のUC-E21以外のUSBケーブルは使
U	SB端子	わないでください)、Hi-Speed USB • ダイレクトプリント (PictBridge) 対応
н	IDMI出力端子	HDMIマイクロ端子 (Type D)
Wi-Fi (無線LAN)		
凖	<b>些拠規格</b>	IEEE 802.11b/g(無線LAN標準プロトコル)
唐	司波数範囲(中心周波数)	2412~2462 MHz (1~11 ch)
認	翻方式	オープンシステム、WPA2-PSK
Bluetooth		
通	通信方式	Bluetooth標準規格 Ver. 4.1
表示	言語	日本語、英語
		Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL23(リチウム
電源		イオン充電池:付属)×1個 AC アダプター EH-67A (別声)
充電	時間	約3時间(本体元電ACゲタンター ER-/3P 使用時、残重 のない状態からの充電時間)
電池	寿命 <sup>※1</sup>	
郬	争止画撮影時	約420コマ(EN-EL23使用時)
重 ()	协画撮影時 実撮影電池寿命) <sup>※2</sup>	約1時間30分(EN-EL23 使用時)
三脚	ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法	(幅×高さ×奥行き)	約125.0×85.0×106.5 mm(突起部除く)
質量		約570g(電池、メモリーカード含む)
動作	環境	
侵	使用温度	0℃~40℃
侵	使用湿度	85%以下(結露しないこと)
• 仕村	様データは、CIPA(カメ	(ラ映像機器工業会)の規格またはガイドラインに準拠して
しいき	ます。	

- ※1 電池寿命は、SnapBridge を使用していないときの値です。また、使用温度、撮影 間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。
- ※2 動画の連続撮影可能時間(1回の撮影で記録可能な時間)は、メモリーカードの残量が多いときでもファイルサイズ4GBまで、または最長29分までです。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。



## Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL23

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC 3.8 V、1850 mAh
使用温度	0℃~40℃
寸法(幅×高さ×奥行き)	約34.9×47×10.5 mm
質量	約34g

### 本体充電ACアダプター EH-73P

電源	AC 100-240 V、50/60 Hz、MAX 0.14 A
定格入力容量	12-18 VA
定格出力	DC 5.0 V、1.0 A
使用温度	0°C~40°C
寸法(幅×高さ×奥行き)	約55×22×54 mm
質量	約51g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。 ~ AC (交流)、--- DC (直流)、回 クラス I 機器 (二重絶縁構造)

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。



# 使用できるメモリーカード

SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードが使用できます。

- UHS-Iに対応しています。
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします。動画のサイズ/フレームレートが[2160/30p]または[2160/25p](4K UHD)の場合は、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。

### 商標説明

- Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商 標または商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録 商標であり、株式会社ニコンはこれらのマークをライセンスに基づいて使用し ています。
- Apple<sup>®</sup>、App Store<sup>®</sup>、Apple□ゴ、Mac、OS X、macOS、iPhone<sup>®</sup>、iPad<sup>®</sup>、 iPod touch<sup>®</sup>およびiBooksは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商 標または登録商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社(http://www.aiphone.co.jp/)のライセンスに基づき使用しています。
- AndroidとGoogle Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。Android ロボットは、Googleが作成、提供しているコンテンツから複製または変更した もので、クリエイティブ・コモンズ 3.0表示ライセンスに記載の条件に従って使 用しています。
- iOSの商標は、米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.のライセンス に基づき使用しています。
- Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシ ステムズ社)の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C,LLCの商標です。



PictBridgeロゴは商標です。


HDMI、HDMI□ゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

### ноті

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Nマークは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

"Made for iPod," "Made for iPhone," and "Made for iPad" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.

### AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。 (i) AVC 規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVC ビデオといいます) (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、または AVC ビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手した

AVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許 諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。 http://www.mpegla.comをご参照ください。

### FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2012 The FreeType Project (http://www.freetype.org)のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

### MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2016 The HarfBuzz Project(http:// www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz)のものです。すべての権利は その所有者に帰属します。



主な仕様

203



## 索引

### <u>マーク・英数</u>

₫ オート撮影モード	39
<b>立</b> クリエイティブモード 38、	52
SCENE シーンモード 38、	40
▲ 絞り優先オートモード 38、	54
S シャッター優先オートモード	
	54
🖬 風景モード 38、40、	42
<b>P</b> プログラムオートモード 38、	54
Мマニュアル露出モード	54
☑ 夜景ポートレートモード	
	41
🖬 夜景モード 38、40、	41
<b>U</b> ユーザーセッティングモード	
	58
Q 拡大表示	85
₩ 広角ズーム	72
💽 サムネイル表示25、	86
<b>T</b> 望遠ズーム	72
資 クイックバックズームボタン	
	73
◎ 決定ホタン	、5
● 再生ホタン	25
■ 削除ホタン 3、6、26、	88
●(■■11日間での「●(■■11日間での「■■11日間での」	
	95
<b>DISP</b> 表示切り換えホタン3、6	. /
Fni JrJJJJJJITAJ	
2, 6,	71
Fn2 Jr Jy Jy Jy Ja Z my J	
$1 = \frac{1}{2} + $	71
<b>ネ</b> ノフッシュホッノアッノホタノ	~ 1
	61 11C
$MENU \land = \_\_ = \_ \land \lor \lor$	110
[L] モニターハダノ	24
	יש
y−	60
	600
	01

🗹 露出補正 60、	70
N マーク 2、	30
1 コマ表示 11、25、85、	86
AC アダプター 106、	197
AE ブラケティング 119、	140
AF エリア 10、22、45、74、	141
AF エリア選択 71、119、	141
AF 表示 8、	22
AF 補助光	168
AF モード 119、120、144、	153
Av/Tv 操作切り換え 122、	174
Bluetooth 121、	161
Capture NX-D	114
COOLPIX カスタムピクチャーコ:	ント
ロール 119、	130
COOLPIX ピクチャーコントロール	
	126
CSM Picture Control 119、	130
D- ライティング 89、	120
EVF の自動切り換え 122、	166
EVF の調整	165
Fn ボタン設定 71、	117
HDMI マイクロ端子 2、	107
HDR	. 44
HS 動画151、	152
ISO 感度設定	139
Micro-USB 端子 2、16、108、	112
M モード露出反映表示 120、	149
PictBridge 106、	108
Picture Control 71、119、	126
SnapBridge アプリ	29
USB ケーブル 16、106、108、	112
User Setting 登録	59
User Setting リセット	59
ViewNX-i 106、	112
Wi-Fi 121、	160

ア

<u></u> アイセンサー 3、	24
赤目軽減自動発光	63





중 資料

赤目軽減発光 62、63
赤目軽減ランプ
アクティブ D- ライティング
アプリ
位置情報122、174
色温度132
色の濃さ(彩度)128
インターバル撮影 135、137
打ち上げ花火 🕲 40、44
笑顔自動シャッター
遠景 AF 67
オート撮影モード
オートパワーオフ
オートフォーカス
オートフォーカスモード
おまかせシーン ஊ*
音量102
カ
<u>ー</u> カードなし時レリーズ 122、164
カードの初期化 15 122 170
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
顔認識
拡大表示 25 85
拡張子
画質

#### サ

	05
円上	156
ウエハニュ	25
	20
91 FX-ADX	22
サイドズームレバー設定 122、	169
先取り撮影 135、	136
削除	88
撮影	95
撮影後の画像表示	165
撮影時画像送信121、	160
撮影情報	7
撮影メニュー 119、123、	126
撮影モード	38
撮影モードダイヤル2、4、21、	38
サマータイル 10	
リマーシーム	163
リマージョン	163 86
サムネイル表示	163 86 40
サムネイル表示	163 86 40 196
サムネイル表示	163 86 40 196 162
サムネイル表示	163 86 40 196 162 62
サムネイル表示	163 86 40 196 162 62 24
サムネイル表示	163 86 40 196 162 62 24 54
サムネイル表示	163 86 40 196 162 62 24 54 54
サムネイル表示	163 86 40 196 162 62 24 54 54 169
サムネイル表示	163 86 40 196 162 62 24 54 54 169 57
ウィンオン     9、       サムネイル表示     25、       シーンモード     38、       識別子     5       時差     6       自動発光     3、       被り値     3、       絞り値     38、       シャッター音     38、       シャッタースピード     54、       シャッターボタン     2、4、22、	163 86 40 196 162 24 54 54 169 57 74

205



シャッター優先オートモード… 38、54
充電器
充電式バッテリー16
充電ランプ 2、16
常時 AF119、120、144、153
使用できるアクセサリー
焦点距離
初期化15、122、170
シングル AF 119、120、144、153
スーパーラプス動画 🗔 40、101
ズーム
ズームマイク 120、155
ズームメモリー 120、148
ズームレバー 2、4、72
ストラップ取り付け部 2、14
スピーカー 3
スポーツ <b>Ҷ 4</b> 0、43
スマートフォンと接続 121、160
スマートフォンと同期162
スモールピクチャー
スライドショー 120、157
スローシンクロ 62
スローモーション動画 151、152
静止画の切り出し
設定音169
設定クリアー 122、176
設定の初期化121、161
セットアップメニュー 122、162
セルフタイマー
セルフタイマーランプ
セレクトカラー 🖋 40、46
操作音122、169
送信画像の指定 120、156
測光万式71、119、134
ソフト SUFT 40

ダイレクトプリント 106、	108
多重露出 119、	146
端子カバー	106
単写119、	135
地域と日時 18、122、	162
調光補正	144
調色	129
著作権情報122、	173
通常 AF	67
通常発光	62
通信メニュー 116、	160
月 ④ 40、	46
低速限界設定	139
手ブレ補正	167
テレビ	107
電源	18
電源スイッチ 2	、18
電源ランプ	23
電子ズーム	168
電子手ブレ補正120、	154
電子ビューファインダー	
	184
電池	200
電池残量	21
トーンレベル	12
トーンレベルインフォメーション	
	、12
動画冉生	95
動画撮影	95
動曲設定120、	150
動画編集	103
動画メニュー 120、	150
局 🖌 40、	46
トリミング 85.	93
トワイライト 當	. 40
+	

### <u>夕</u>

ターゲット追尾	142、	143
ターゲットファインド AF	74、	142
ダイナミックファインズーム.		72
タイムゾーン	. 19、	163
タイムラプス動画 뎞	40、	99

## 

<u>八</u> バージョン情報...... 122、176





索引

6 資料

/ /		. 40、	43
パソコン		106、	112
パソコン接続充電		122、	171
バッテリーチャージャー			197
早送り動画		151、	152
パワーコネクターカバー			2
半押し	4.	22、	74
ハンドストラップ			197
ピーキング		122、	176
ビーチ 😰			40
比較明合成 🔊		. 40、	47
ヒストグラム 12、	70、	122、	165
日付写し込み		122、	166
日付の表示順		19、	162
日付のプリント		122、	166
美肌		90、	120
美肌機能			48
ピント 22、74、96、1	41、	144、	153
ファイル名			196
フィルター効果	91、	120、	128
風景モード	38、	40.	42
			12
フォーカスモード		. 60、	66
フォーカスモード フォーカスロック撮影		. 60、	66 . 77
フォーカスモード フォーカスロック撮影 フォーマット		. 60、 	66 . 77 170
フォーカスモード フォーカスロック撮影 フォーマット フラッシュ	15、	. 60、  122、 2、	66 . 77 170 61
フォーカスモード フォーカスロック撮影 フォーマット フラッシュ フラッシュモード	15、	. 60、  122、 2、 60、	66 . 77 170 61 61
フォーカスモード フォーカスロック撮影 フォーマット フラッシュ フラッシュモード プリ AF	15、	. 60、  122、 2、 60、 119、	66 . 77 170 61 61 144
フォーカスモード フォーカスロック撮影 フォーマット フラッシュ フラッシュモード プリ AF プリセットマニュアル	15、	. 60、 122、 2、 60、 119、	66 . 77 170 61 61 144 133
フォーカスモード フォーカスロック撮影 フォーマット フラッシュード ブリ AF プリセットマニュアル プリンター	15、	. 60、 2、 2、 60、 119、 	66 . 77 170 61 61 144 133 108
フォーカスモード フォーカスロック撮影 フォーマット フラッシュード ブリ AF プリセットマニュアル プリンター プリント	15、	. 60, 122, 2, 60, 119, 106, 106,	66 .77 170 61 144 133 108 110
フォーカスモード フォーカスロック撮影 フォーマット フラッシュモード プリ AF プリセットマニュアル プリンター プリント	15、	. 60, 	66 . 77 170 61 144 133 108 110 155
フォーカスモード フォーカスロック撮影 フラッシュドリング フラッシュモード プリ AF プリセットマニュアル プリンター プリント フレームレート設定 プログラムオートモード	15、	. 60, 122, 2, 60, 119, 119, 106, 109, 120, . 38,	66 .77 170 61 144 133 108 110 155 54
フォーカスモード フォーカスロック撮影 フラッシュ フラッシュモード プリ AF プリセットマニュアル プリンター プリント フレームレート設定 プログラムオートモード プロテクト設定	15、	. 60, 2, 60, 119,  106, 109, 120, . 38, 121,	66 .77 170 61 144 133 108 110 155 54 158
フォーカスモード フォーカスロック撮影 フラッシュ フラッシュモード プリ AF プリセットマニュアル プリンター フレームレート設定 プログラムオートモード プロテクト設定 別売アクセサリー	15、	. 60, 2, 60, 119,  106, 109, 120, . 38, 121, 	66 . 77 170 61 144 133 108 110 155 54 158 197
フォーカスモード	15、	. 60, 	66 .77 170 61 144 133 108 110 155 54 158 197 45
フォーカスモード フォーカスロック撮影 フォーマット フラッシュ.モード ブリムF プリセットマニュアル プリンター プリント1 フレログラムオートモード プロテクト設定 別売アクセサリー ペットマート <b>え</b>	15、	. 60, 	66 . 77 170 61 144 133 108 110 155 54 158 197 45 . 40
フォーカスモード		. 60, . 60, . 122, 2, 60, 119, 	66 . 77 170 61 144 133 108 110 155 54 158 197 45 . 40 . 72
フォーカスモード	15、 	. 60, . 60, 	66 . 77 170 61 144 133 108 110 155 54 158 197 45 . 40 . 72 131
フォーカスモード	15、 		66 . 77 170 61 144 133 108 110 155 54 158 197 45 . 40 . 72 131 201

マクロ AF			67
マニュアルフォーカス		67	68
マニュアル露出モード		38	54
マルチセレクター		5.	60
無限遠固定			67
メモリーカード	15、	183、	202
メモリーカードの初期化			
	. 15、	122、	170
メモリー残量		21	95
モニター設定		122、	165
モニターの調整			165

<u>ヤ</u>	
夜景ポートレートモード… 38、40、	41
夜景モード 38、40、	41
ユーザーセッティングモード 38、	58
夕焼け 🚔	40
≞ 8	40
用紙設定 109、	110

### ラ

Jアシンクロ e	52
Jチウムイオン充電池 15、20	01
科理 ¶¶ 40、 4	4
倫郭強調12	28
ノディーライト	51
重写	35
重写グループ	37
車写グループ表示方法 121、15	59
重写の代表画像選択 121、15	59
ノンズ	98
ノンズキャップ <sup>,</sup>	14
重番リセット 122、17	75
コータリーマルチセレクター 5、6	50
露出補正60、7	70

### 207



索引

## 修理サービスのご案内

#### ■修理のご依頼

ニコンサービス機関(修理センター、ニコンプラザサービスセンター)、ご購入店、 または最寄りの販売店にご依頼ください。 ※修理品をお預けいただく場合のご注意

- ボディーキャップやレンズキャップが付属している製品の場合は、製品保護のため、装着してお預けください。
- 修理に必要と思われるもの以外の付属品は、ご自身で保管ください。
- カメラなどの修理では、受付や修理の過程で撮影データをやむを得ず消去する 場合があります。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。

#### ■インターネットでのお申込み

http://www.nikon-image.com/support/repair/

#### ■修理センター

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

# 修理センター ナビダイヤル 0570-02-8200

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26

営業時間:9:30~18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など 弊社定休日を除く毎日)

- 修理センターでは、「ニコンピックアップサービス」などの宅配便のみをお受けします。ご来所の方の受付はございません。ご了承ください。
- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。

#### ■ニコン ピックアップサービス

梱包資材のお届け・修理センターへのお引き取り、修理後のお届け・集金までを ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が一括して代行するサービスです。全国一 律の料金にて承ります(大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品も あります)。

http://www.nikon-image.com/support/repair/receipt/pickup/

# シング。ニコンビックアップサービス専用フリーダイヤル(ヤマト運輸にて承ります) 0120-02-8155

営業時間:9:00~18:00 (年末年始 12/29~1/4 を除く毎日)

※上記フリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。修 理内容に関するお問い合わせは、修理センターへ、製品に関するお問い合わせ は、カスタマーサポートセンターへお願いします。



208

修理サービスのご案内



#### 補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品(機能維持に必要な部品)の保有期間内(製造打ち切り後5年を 目安)を、修理可能期間とさせていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修 理できる場合もありますので、ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売 店にお問い合わせください。また、水没、火災、落下等による故障または破損で全 損と認められる場合は、保有期間内であっても修理できません。この故障や破損の 程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

### ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映 像製品の総合情報拠点です。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

#### ニコンブラザショールーム ナビダイヤル 0570-02-8080

**ら** 資料

ニコンプラザについて

#### ニコンブラザサービスセンター ナビダイヤル 0570-02-8060

音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。

ニコンプラザについては、当社ホームページの下記URLを ご覧ください。 http://www.nikon-image.com/support/showroom/





209

### http://www.nikon-image.com/support/contact/

23770-02-8000

営業時間:9:30~18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。
- ファクシミリは、(03) 5977-7499 にお送りください。

#### お問い合わせ時のお願い

おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「手順」、「現象(表示されたメッセージ)」、「発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。

#### ■ ニコンイメージングサポートページのご案内

### http://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報 をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、 定期的なアクセスをおすすめします。



株式会社ニコン 株式会社ニコンイメージングジャパン

CT7J06(10) 6MN65710-06

© 2016 Nikon Corporation